令和元年度
全国少年消防クラブ交流大会の記録

令和元年 7 月 31 日（水）～ 令和元年 8 月 2 日（金）

主催■消防庁

共催■徳島県、徳島市、（公財）徳島県消防協会、
（公財）日本消防協会、（一財）日本防火・防災協会

令和元年度 全国少年消防クラブ交流大会の記録

まえがき …… 4
交流大会の概要・スケジュール …… 6
参加クラブ一覧 …… 7
【第 1 日目】7 月 31 日（水） …… 8
【第 2 日目】8 月 1 日（木） …… 9
【第 3 日目】8 月 2 日（金） …… 13
合同訓練会場案内図（アスティとくしま） …… 14
参加クラブの記録（全 53 クラブ）
伏古本町ひまわり少年消防クラブ …… 16
西町少年消防クラブ …… 18
志津川中学校少年防災クラブ …… 20
山形市南沼原地区少年消防クラブ …… 22
三郷市少年消防クラブ …… 24
吉川松伏少年消防クラブ …… 26
西入間少年少女消防団 …… 28
浦安市少年消防団 …… 30
日本橋消防少年団 …… 32
芝消防少年団 …… 34
日本堤消防少年団 …… 36
大井消防少年団 …… 38
大森消防少年団 …… 40
矢口消防少年団 …… 42
蒲田消防少年団 …… 44
豊島消防少年団 …… 46
尾久消防少年団 …… 48
本田消防少年団 …… 50
昭島消防少年団 …… 52
町田消防少年団 …… 54
日野消防少年団 …… 56
秋川消防少年団 …… 58
Risk Watch Yokohama Fire Team …… 60
大和市少年消防団 …… 62
豊田市立御蔵小学校少年消防クラブ …… 64
尾張旭市少年少女消防団 …… 66
亀山市少年消防クラブ …… 68
城陽少年消防クラブ …… 70
河南町ファイアジュニア …… 72
魚崎ジュニア防災チーム …… 74
ひよどり台防災ジュニアチーム …… 76
東川崎防災ジュニアチーム …… 78
たつの・太子少年消防クラブ …… 80
青崎地区少年消防クラブ …… 82
比治山学区少年少女消防クラブ …… 84
元宇品少年消防クラブ …… 86
府中町少年少女消防クラブ …… 88
厚南地区少年消防クラブ …… 90
徳島市加茂名小学校少年消防クラブ …… 92
うずしお少年少女消防クラブ …… 94
穴吹少年少女消防クラブ …… 96
板野東部少年少女消防クラブ …… 98
久万中学校少年消防クラブ …… 100
美川中学校少年消防クラブ …… 102
南国市少年消防クラブ …… 104
赤岡町少年防災クラブ …… 106
吉川こども防災クラブ …… 108
くすばし少年消防クラブ …… 110
唐津市鏡少年消防クラブ …… 112
ひかり児童館少年消防クラブ …… 114
西瀬少年消防クラブ …… 116
赤江中学校消防クラブ …… 118
田皆少年消防クラブ …… 120
写真集
【第 1 日目】 …… 124
【第 2 日目】 …… 126
【第 3 日目】 …… 129

まえがき

少年消防クラブは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、小学生から高校生までの少年少女で結成されており、平成３０年５月１日現在、全国に約４千６百のクラブ、約４１万人のクラブ員が活動しています。

少年消防クラブ員は、防火や防災についての知識を身近な生活の中に見出すとともに、日ごろから防火・防災に関する様々な訓練の実施、講習会等への参加、火災予防ポスターの作成、防火パトロールや防火・防災に関する研究発表会の実施などを通じて、地域における防火・防災思想の普及に努めています。

地震や風水害など多くの自然災害が発生する我が国において、少年消防クラブ員には、家庭や学校あるいは地域で、防火・防災の輪を広げていくリーダーとしての活躍が期待されており、このことを踏まえ消防庁では、少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた合同訓練や避難所体験等を通じて、他地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、消防団等から被災経験、災害への備えなどについて学ぶ「少年消防クラブ交流大会」を平成２４年度から開催しています。平成２４年度は岩手県で東日本ブロック大会、平成２５年度は徳島県で西日本ブロック大会を開催し、平成２７年度以降は全国大会として実施しており、今年度は徳島県徳島市で開催しました（※平成２６年度は台風の影響により中止）。

今年度の交流大会には、全国の少年消防クラブから５３クラブ（クラブ員２７８名、指導員８６名、合計３６４名）が参加しました。昨年度に引き続き、熱中症を予防するため、「ヨーロッパ青少年消防オリンピック」の競技種目を参考とした合同訓練は、屋内施設を使用して、屋外の競技に準じた内容で実施しました。また、避難所体験では他のクラブ員とチームを組み、段ボールハウスを作って体育館に宿泊するなど、多くのクラブ員と親交を深める機会になりました。

その他に、徳島県内の小・中学校から防災活動の報告を受けるとともに、徳島県内の消防団の皆さんからは災害の教訓や日頃の活動などについて学び、それぞれの活動について理解を深めました。参加したクラブ員は真剣に耳を傾け、理解を深めていきました。

この交流大会で経験したことがクラブ員のさらなる意識高揚につながり、今後の少年消防クラブ活動において大いに活躍され、地域防災の担い手として成長されることを期待しています。

この記録誌は、交流大会に参加したクラブ員の感想等をまとめたものです。交流大会を通して感じたこと、今後の抱負など、クラブ員の熱い気持ちが綴られています。ぜひ、ご一読いただき、少年消防クラブ活動の参考としていただければ幸いです。

交流大会における各活動行事については、開催地である徳島県をはじめ、徳島市、県内の消防本部・消防団、婦人防火クラブ、徳島県消防協会、各施設の職員の方々や、参加クラブ（クラブ員・指導者、事務担当消防本部等）の皆さまなど多くの方々のご支援・ご協力により、すべての行程を無事に終えることができました。

結びに、交流大会の開催にあたりご尽力いただきました徳島県、徳島市、公益財団法人徳島県消防協会、公益財団法人日本消防協会、一般財団法人日本防火・防災協会の関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室

令和元年度

全国少年消防クラブ交流大会の記録

令和元年度 全国少年消防クラブ交流大会の概要

【 日 程 】 令和元年 7 月 31 日（水）～ 8 月 2 日（金）
【 主 催 】 消防庁
【 共 催 】 徳島県、徳島市、（公財）徳島県消防協会、
（公財）日本消防協会、（一財）日本防火・防災協会
【参加クラブ】 全国の少年消防クラブから応募のあった 53 クラブ
（クラブ員 278 名、指導者 86 名、計 364 名）

令和元年度 全国少年消防クラブ交流大会 スケジュール

7月31日（水）

時 間	内 容
15:00 ~ 16:30	受付 (各ホテル)
17:00 ~ 17:30	オリエンテーション
17:30 ~ 20:00	クラブ紹介、夕食、地元伝統芸能鑑賞

会 場
・受付；徳島グランヴィリオホテル (徳島市万代町 3-5-1)
ホテルサンシャイン徳島 (徳島市南出来島町 2-9)
・オリエンテーション、クラブ紹介等；徳島グランヴィリオホテル
・宿泊；徳島グランヴィリオホテル、ホテルサンシャイン徳島

8月1日（木）

時 間	内 容
08:00 ~ 08:30	宿泊施設発 ⇒アスティとくしま着
08:30 ~ 08:50	リハーサル
09:00 ~ 09:30	開会式
09:30 ~ 11:30	合同訓練 (午前の部)
11:30 ~ 12:30	昼食
12:30 ~ 13:45	合同訓練 (午後の部)
14:00 ~ 14:30	閉会式、荷造り
14:30 ~ 18:40	入浴・夕食
18:40 ~ 21:30	避難所訓練（避難所での口腔ケア、段ボールを使用した工作）
21:30 ~ 22:00	事務連絡、就寝準備
22:00 ~	就寝

会 場
・朝食 : 徳島グランヴィリオホテル、ホテルサンシャイン徳島
・合同訓練 : アスティとくしま（徳島市山城町東浜傍示 1 番地 1）
・夕食、避難所体験、宿泊 : アスティとくしま

8月2日（金）

時 間	内 容
08:30 ~ 10:30	徳島県内の小･中学校による防災活動の報告、消防団との交流
10:30 ~	解散式

会 場
・朝食、報告会 : アスティとくしま

参加クラブ一覧

No.	都道府県	市区町村	クラブ名
1	北海道	札幌市	伏古本町ひまわり少年消防クラブ
2		札幌市	西町少年消防クラブ
3	宮城県	本吉郡南三陸町	志津川中学校少年防災クラブ
4	山形県	山形市	山形市南沼原地区少年消防クラブ
5	埼玉県	三郷市	三郷市少年消防クラブ
6		吉川市	吉川松伏少年消防クラブ
7		入間郡毛呂山町	西入間少年少女消防団
8	千葉県	浦安市	浦安市少年消防団
9	東京都	中央区	日本橋消防少年団
10		港区	芝消防少年団
11		台東区	日本堤消防少年団
12		品川区	大井消防少年団
13		大田区	大森消防少年団
14		大田区	矢口消防少年団
15		大田区	蒲田消防少年団
16		豊島区	豊島消防少年団
17		荒川区	尾久消防少年団
18		葛飾区	本田消防少年団
19		昭島市	昭島消防少年団
20		町田市	町田消防少年団
21		日野市	日野消防少年団
22		あきる野市	秋川消防少年団
23	神奈川県	横浜市	Risk Watch Yokohama Fire Team
24		大和市	大和市少年消防団
25	愛知県	豊田市	豊田市立御蔵小学校少年消防クラブ
26		尾張旭市	尾張旭市少年少女消防団
27	三重県	亀山市	亀山市少年消防クラブ
28	京都府	城陽市	城陽少年消防クラブ
29	大阪府	南河内郡河南町	河南町ファイアジュニア
30	兵庫県	神戸市	魚崎ジュニア防災チーム
31		神戸市	ひよどり台防災ジュニアチーム
32		神戸市	東川崎防災ジュニアチーム
33		揖保郡太子町	たつの・太子少年消防クラブ
34	広島県	広島市	青崎地区少年消防クラブ
35		広島市	比治山学区少年少女消防クラブ
36		広島市	元宇品少年消防クラブ
37		安芸郡府中町	府中町少年少女消防クラブ
38	山口県	宇部市	厚南地区少年消防クラブ
39	徳島県	徳島市	徳島市加茂名小学校少年消防クラブ
40		鳴門市	うずしお少年少女消防クラブ
41		美馬市	穴吹少年少女消防クラブ
42		板野郡北島町	板野東部少年少女消防クラブ
43	愛媛県	上浮穴郡久万高原町	久万中学校少年消防クラブ
44		上浮穴郡久万高原町	美川中学校少年消防クラブ
45	高知県	南国市	南国市少年消防クラブ
46		香南市	赤岡町少年防災クラブ
47		香南市	吉川こども防災クラブ
48	福岡県	北九州市	くすばし少年消防クラブ
49	佐賀県	唐津市	唐津市鏡少年消防クラブ
50	熊本県	八代市	ひかり児童館少年消防クラブ
51		人吉市	西瀬少年消防クラブ
52	宮崎県	宮崎市	赤江中学校消防クラブ
53	鹿児島県	大島郡知名町	田皆少年消防クラブ

1日目
7月31日（水）

17:00～	【オリエンテーション】（説明会）
17:30～	【交流会開会】 ◦クラブごとの自己紹介 ◦伝統芸能鑑賞　阿波踊り連「娯茶平」演技披露

交流大会の１日目は、オリエンテーションと各クラブの自己紹介を行いました。また、地元徳島県の阿波踊り連「娯茶平」の方々に、阿波踊りの実演と踊り方についての御指導をいただき、参加者全員で阿波踊りを体験しました。

主催者挨拶
消防庁　田中 昇治　地域防災室長

来賓挨拶
徳島県　後藤田 博　副知事

● 地元芸能鑑賞　娯茶平（ごちゃへい）阿波踊り

● クラブ紹介

● 夕食

● 夕食

2日目
8月1日（木）

8:30～	【リハーサル】（訓練説明）
9:00～	【開会式】
9:30～	【合同訓練】クラブ対抗リレー
12:30～	【合同訓練】クラブ対抗障害物競走
14:00～	【閉会式】

２日目は、ヨーロッパ青少年消防オリンピックの競技種目を参考に、消防ホースの展張やロープの結索などの消防技術を取り入れた競技形式の合同訓練を行いました。昨年度に引き続き、熱中症予防に努めるため、合同訓練は、屋内施設を使用して、屋外の競技に準じた内容で実施しました。

開会式

主催者挨拶
消防庁
田中 昇治　地域防災室長

挨　拶
少年消防クラブ活性化推進会議
秋本 敏文　委員長

歓迎のことば
徳島県　飯泉 嘉門 知事

選手宣誓
徳島県
うずしお少年少女消防クラブ
古瀬 瑛大 さん

合同訓練

【クラブ対抗リレー】
午前中は、１クラブ５名により、筒先をバトンとして、各障害をクリアしていくリレー競技を実施しました。

【クラブ対抗障害物競走】
午後は、指揮者１名を含む５名により、コース上の障害物を越えながらホースを展張・延長し、全員でゴールを目指す競技を実施しました。
参加クラブの中には、地元の消防署や消防団の方から指導を受けて練習に励んできたクラブもあり、これまでの練習の成果が発揮できるよう一生懸命取り組んでいました。

閉会式

● 表彰

激励のことば
徳島県危機管理部
折野 好信 部長

決意表明
東京都 芝消防少年団
飯塚 翔太 さん

閉会のことば
公益財団法人徳島県消防協会
井住 正三 会長

入賞チーム

２種類の競技における総合得点に基づき、上位５クラブにはトロフィーのほか、共催団体である公益財団法人日本消防協会から副賞が贈呈されました。

● 第１位　浦安市少年消防団（千葉県）

● 第２位　志津川中学校少年防災クラブ（宮城県）

● 第３位　大和市少年消防団（神奈川県）

● 第４位　厚南地区少年消防クラブ（山口県）

● 第５位　三郷市少年消防クラブ（埼玉県）

2日目
8月１日（木）

18:40 ～	**避難所体験** ◦ 避難所での口腔内ケア ◦ 段ボールを使用した工作

合同訓練後には、歯科衛生士から避難生活における口腔内ケアの重要性について指導を受けるとともに、徳島県防災人材育成センター職員から段ボール工作について教わり、段ボールの強度や取り扱い時の留意点等を学びました。

● 避難所での口腔内ケア

● 段ボールを使用した工作

2日目
8月1日（木）

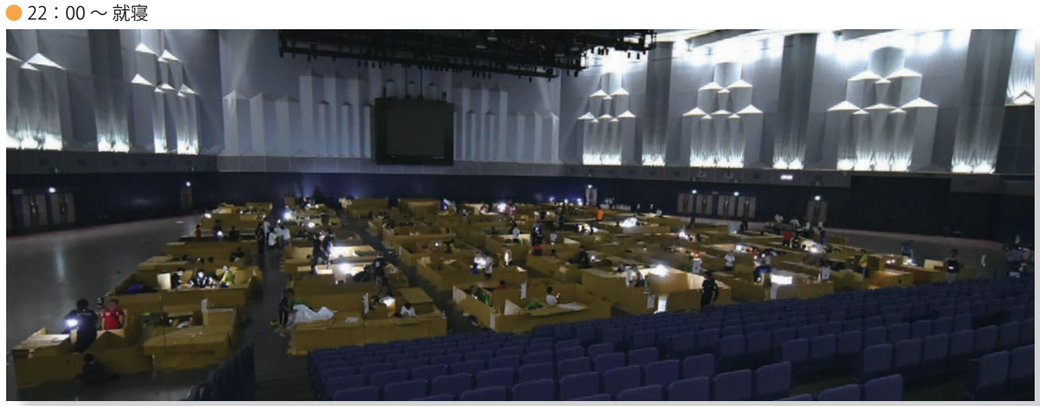
19:20 ～	**避難所体験** ◦段ボールハウス作成 ◦就寝準備

段ボール工作について学んだ後に、他のクラブ員とチームを組み、班毎に段ボールハウスを作る避難所体験を行いました。今回は、テントマットの代わりに気泡緩衝材を床に敷き、その上に段ボールハウスを組み立てました。

クラブ員たちでアイデアを出し合い、余った段ボールで部屋の仕切りを作るなど、様々な工夫が見られました。完成した段ボールハウスに宿泊することで、集団生活の大変さを理解するとともに、互いに協力し合うことの大切さを学びました。

● 段ボールハウス作成

● 22：00 ～ 就寝



3日目
8月2日（金）

7:00 ～	**片付け**
8:30 ～	**徳島県内の小・中学校による防災活動の報告** **消防団との交流、解散式**
11:00 ～	**解散**

最終日の３日目は、徳島県内の小・中学校から防災活動の報告を受けるとともに、徳島県内の消防団の皆さんから災害の教訓や日頃の活動などについて学び、それぞれの活動について理解を深めました。

交流大会に参加したクラブ員の皆さんには、交流大会での体験を活かし、今後の活動に更に励んでいただき、家庭や学校あるいは地域で、学んだことを共有し、防火・防災の輪を広げていくリーダーとして活躍されることを期待しています。

来賓挨拶
徳島市　遠藤 彰良 市長

クラブ員代表挨拶
千葉県 浦安市少年消防団
宝 桃子 さん

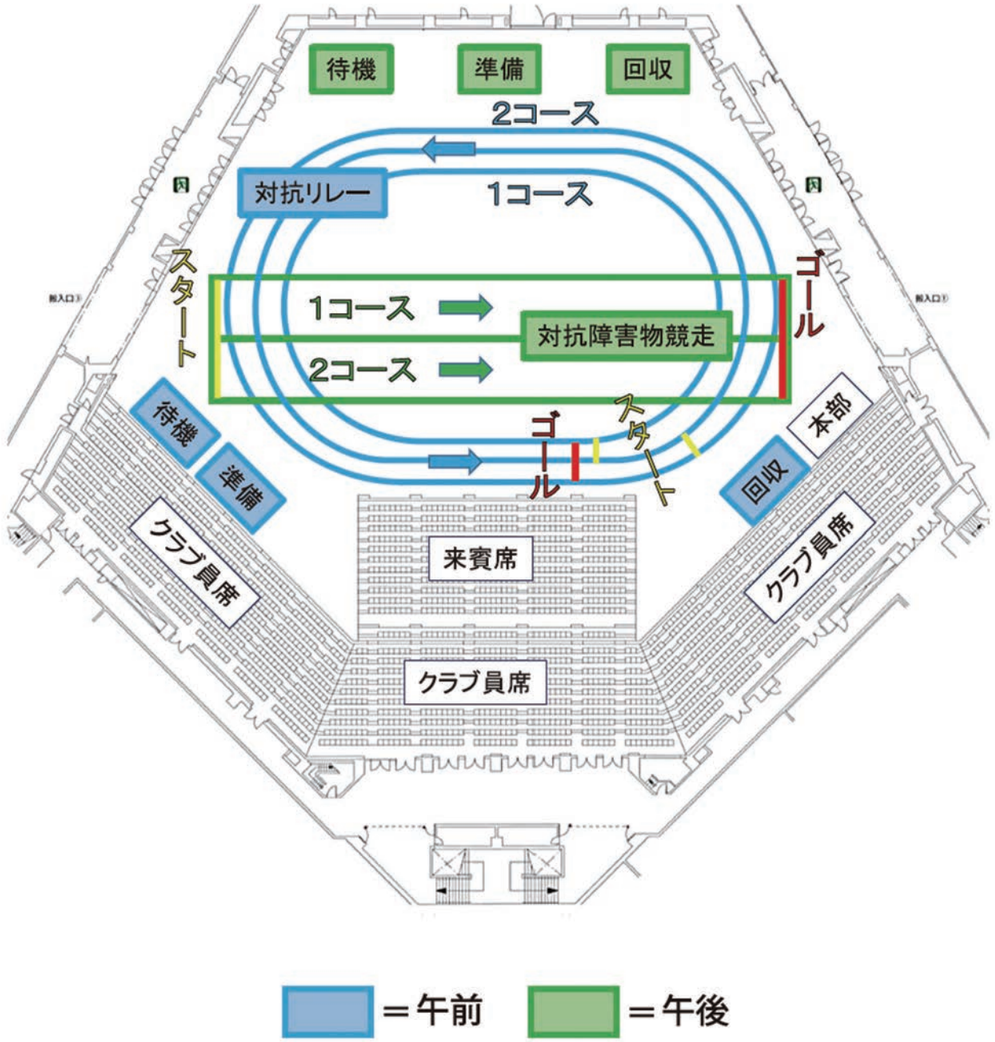
主催者挨拶
消防庁地域防災室
藤ノ木 大祐 課長補佐

● 防災活動報告 松茂町立長原小学校

● 防災活動報告 つるぎ町立貞光中学校

● 消防団員との交流　徳島県内消防団員のみなさん

合同訓練 会場案内図（アスティとくしま）



参加クラブの記録（全 53 クラブ）

1 伏古本町ひまわり少年消防クラブ

北海道札幌市東区

協力し合い頑張った夏～思い出に残った徳島～

伏古本町ひまわり少年消防クラブは、平成７年に発足し、小学校高学年から高校１年生で活動しています。

今回の交流会に指導者と中学生３名と小学生１名の合計５名で参加しました。直前で１名不参加となりましたが、横浜のクラブより応援してもらい、和気あいあいと競技を行うことができ、楽しく元気に活動することができました。

参加したクラブ員・役員さんに「ありがとう」

指導者　池本 章

私は交流会に毎回引率していますが、クラブ員全員が常に次に何をすべきかを考え、率先垂範の行動をとってくれたので楽でした。

また、決められた時間を守り責任ある行動をとっていたので、とても良かったと思います。最後の清掃の時は、多くのクラブ員たちの協力を得られ施設をきれいにすることができました。

また、今年も猛暑の中、多くの役員の方々が暑さに負けず、笑顔でクラブ員を励ましてくれたことに大変感謝します。

人生最後の交流大会

佐伯 幸星

僕は今回の交流大会の色々な場面で力を発揮することが出来たと思います。僕は、中学三年で、過去二回の経験を、バネに、リレーや競走で大きなミスをする事なく終えることができました。さらに、避難所体験では、ダンボールハウスを率先、協力して作る事が、出来たと思います。

僕に、とって最後の交流大会を悔いなく終えられたので、良かったです。

「全国大会で学んだこと」

平川 舜稀

今年の全国大会は、今まで参加したどの大会よりも学ぶ事がありました。

それは昨年の９月６日に起きた北海道胆振東部地震を経験したからです。

僕は初めてブラックアウトを経験し、当たり前の生活が出来ない不便さを知りました。

全国大会での避難所体験や地震の話がとても参考になりました。

今後、二度と起きては欲しくありませんが全国大会で学んだ事を忘れずに生活したいと思います。

貴重な三日間をありがとうございました。

貴重な体験が出来た三日間

佐伯 星哉

僕は、今回の交流大会を通して、思ったことは、クラブ対抗リレーでミスをしてしまったので、もっと、練習をしておいた方がいいと思いました。

もし、次回交流大会に、行けたなら、もっと、良い記録を出せる様に頑張りたいです。

「初めての全国交流会」

佐々木 陽平

僕は今回、全国交流会に初めて参加しました。たくさん思い出が出来ましたが、特に深く残っている事は２つあります。

１つ目はダンボールハウスを作った事です。ダンボールを切り、繋げて組み立てる作業は大変でしたが、とてもいい経験になりました。

２つ目は友達がたくさん出来たことです。普段はあまり知り合う機会の少ない違う県の友達と交流する事が出来ました。

これからも今回の経験を生かし、クラブ活動を頑張っていきたいです。

2 西町少年消防クラブ

北海道札幌市西区

～成長の３日間～

西町少年消防クラブは平成元年５月に発足して今年で 30 年目のクラブです。小学生 42 名、中学生６名、高校生５名の 53 名編成で活動しています。宿泊研修などで、災害から身を守ること、応急手当で命の大切さを学んでいます。地域の行事にも参加しＰＲ活動も実施しています。

笑顔のクラブ員

指導者　屋木 妙子

今年は、６年生チームで参加しました。
初めての徳島、緊張しながらの競技、力を出し切って終わりホットした笑顔。段ボールでの避難所体験はブロックごとのチームが工夫を凝らして快適さを研究していました。
元気な６年生が、全国のクラブ員との交流で大きく成長することに関わることができ幸いでした。
今後もこの体験を生かして、クラブ員の指導者としての活躍を期待しています。

貴重な時

指導者　新見 晴美

初めて交流会に参加させていただきました。
各チームの競技に対する意気込みのすごさに圧倒させられました。
また、段ボールハウスの作りの取り組みでは、アイデアを出し合い、強力・譲り合う、その姿勢は微笑ましい思いとたくましさを感じました。
２泊３日は貴重な時間を過ごさせていただきました。

初めての大会

新見 侑大

今回初めて大会に出場しました。
練習の時、対抗リレーの「壁のぼり」「トンネルくぐり」の実物がなく、イメージで練習してきたので、当日まで不安でした。
また、いままで障害物競走は完ぺきにゴールしたことがありませんでしたが、結果は 42.3 秒。２種目とも僕たちにとつてベストタイムとなりうれしかったです。5 人で協力して結果を残せて良い思い出を、今後の自信につながります。

２回目の全国大会

小泉 璃久

今回は、千葉の大会に続き２回目の参加でした。
去年は競技内容が変更になって出ることが出来なかったので、大会のことが分からなかったです。
今回は、チームワークが良く達成感があったのがとてもうれしかったです。
今回の障害物競走で出した 42.3 秒はチームの過去最高タイムでした。
もしも、次の大会に出ることが出来たら、42.3 秒より速くしたいという目標が出来ました。

初めての大会

伊藤 拓眞

初めて徳島に行って、初めて大会に出させてもらいました。
徳島は暑くて喉が渇いたりしました。１日目の夜はホテルで夕食を食べる前にクラブの自己紹介があって待つのが疲れました。次の日は、大会でトンネルくぐりをしましたが、思ったよりも小さくて通りづらくてぶっかつたりしました。
競技を見ていると早いなあ～と思うところもありました。
２個目の競技はフェージングを頑張りました。
とても楽しくて、また行きたいなと思いました。

ふり返り

吉田 心

今回は初めての参加した交流会で他のクラブの人と仲良く出来るか心配しました。けれど、最初はライバルでしたが友達として一緒に寝たりして仲良く出来ました。
大会の順位は真ん中の方だったけど私はみんなベストをつくせたので、最高の旅、最高の交流会が出来ました。

ふり返り

菊地 彩弓

今回初めての参加でした。大会では、27 位という結果になりました。友達もできたし、いっしょに寝てとても楽しかったです。
このように自分のベストを出すことが出来たし、みんなと仲間になれたのでいい大会になったと思います。

3 志津川中学校少年防災クラブ

宮城県本吉郡南三陸町

準優勝！～充実感と悔しさの３日間～

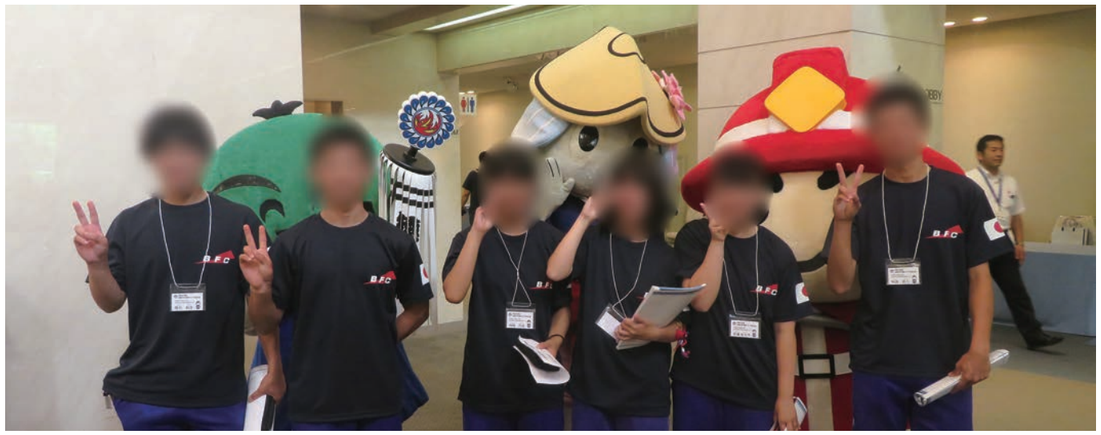
当クラブは，志津川中学校や地域の防災に関する活動において，リーダーとして活躍できる生徒を育成することを目的とし，平成２９年に設立されました。主に総合的な学習の時間を活用し，消防署の方々のご指導の下，規律訓練，応急手当，炊き出し訓練，避難所運営訓練等に取り組んでいます。また，文化・学習発表会の際には，通常点検，軽可搬ポンプ操法を発表し，生徒や保護者・地域の方々へ，防災に関する啓発を行っています。

勝負強い６名の精鋭たち

指導者　原 隼

当クラブは，全国少年消防クラブ交流大会へ初めて参加させていただきました。大会に臨む６名のメンバーを選抜し，短い練習期間の中で準備を重ねてきました。当日は，緊張した様子が見られましたが，総合で第２位というすばらしい結果を残すことができました。この本番の舞台で，練習以上の成果を出す６名は本当に勝負強く，指導者として誇らしく感じました。

この経験は，彼らの今後の人生に大きく役立ってくると思います。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



充実した３日間

三浦 誠矢

徳島県に行って，全国大会２位というすばらしい結果を残すことができて，とても嬉しかったです。チームで協力して成し遂げることは大変でしたが，充実した時間を過ごすことができました。他県のチームと交流もできて，楽しい思い出ができました。また，伝統芸能の阿波踊りを見ることができました。代表として壇上で踊ったときはとても緊張しましたが，楽しんで踊ることができました。

３日間の活動はどれもすべてがすばらしい思い出になりました。

大舞台での経験

阿部 祥大

今回徳島県に行って，自分たちの地域だけではなく，他県の様々な地域で，その地域にあった防災の取組を行っていることを知ることができました。各地域の防災に対する意識の高さにびっくりしました。交流大会では，全体の２位となり，準優勝することができました。二種目ともに，

自分たちのこれまでの練習の成果を発揮することが出来たと思います。優勝チームとは０．５秒差だったので，悔しい思いもありますが，全国大会という大きな舞台で結果を残すことができたので，よかったと思います。

協力し合うことの大切さ

熊谷 和貴

私は，少年防災クラブに入り，全国大会に向けて練習を重ねてきました。大会前の練習は３回のみでしたが，充実した練習をすることができたと思います。本番は，練習とは違う屋内だったため，違和感がありましたが，チームのみんなと協力し，練習の成果を発揮することができました。また，避難所体験では，他のクラブの方々と協力して段ボールハウスを作り，今までできなかったすばらしい体験をすることができました。今後の自分の人生に役立ってくると思います。３日間ありがとうございました。

全力で挑んだ３日間

三浦 和佳子

全国少年消防クラブ交流大会を振り返ると，嬉しい時間も悔しい時間もたくさんあった３日間でした。クラブ対抗リレーは緊張しながらも第１位。障害物リレーは焦ってしまい第３位という結果で悔しい思いをしましたが，総合で第２位という結果を残すことができました。交流大会以外の活動では，全国の少年防災クラブの方々と充実した交流をすることができたと思います。第２位という悔しい結果でしたが，みんなと全力で臨めたことはとても誇りに思いますし，大切な思い出です。

支えがあって

佐藤 妃万里

私は，全国少年消防クラブ交流大会を通して，様々なことを学ぶことができました。私たちは，たった３日間の練習で大会に臨みました。大会当日は，不安と緊張でいっぱいでしたが，チームのみんなが居てくれたおかげで，練習以上の力を発揮できたと思います。私たちが，第２位という結果を残すことができたのも，これまで練習のご指導をいただいた南三陸消防署員の方々や先生方が支えてくれたからだと思います。この３日間，徳島でたくさんの方々と交流したことで，良い思い出がたくさんできました。

知識を深めた３日間

西城 真羽

初めて出場した，全国少年消防クラブ交流大会はとても良い経験になりました。練習時間が短く，不安でいっぱいでしたが，私たちの順番になり，競技に入ると，不安がなくなり，対抗リレーでは第１位という結果を残すことができて，とても嬉しかったです。交流会では全国の様々なクラブの方々と交流することができました。この経験を通して，防災に対する意識が高まり，防災の知識が深まったと思います。たくさんのことを知ることができた３日間でした。

4 山形市南沼原地区少年消防クラブ

山形県山形市

完全燃焼！　～仲間との絆～

当クラブは、昭和６１年に設立され、今年で３３年目となります。社会問題である少子化に伴い、クラブ員が減少しておりますが、今年度よりクラブ員入会資格を小学生のみから、中学３年生まで拡大し、地域防災の担い手となる人材育成に力を入れ取り組んでいます。

交流会は、昨年に続き２度目の参加となりますが、この度の入会資格拡大に伴い、小中学生混合６名構成で参加させて頂きました。

入賞は出来なかったものの、得たものは多かったので、今後の活動に活かしたいと思います。

何事も基本が肝心

指導者　原田 直記

初出場の昨年は、クラブ員と共に手探り状態で競技に取り組んだ感じでしたが、今年は新たなメンバーを交え、練習を行っていく中で、学年を超えた団結が芽生え、競技に取り組む姿勢と、勝利への意欲が日々高まっていきました。結果は、惜しくも入賞出来なかったものの、消防の規律や資機材の取扱いなど、基本に忠実に向き合い挑んだ姿は、とても輝き、やり切った達成感に包まれていたと思います。

クラブ員には、この度の貴重な経験を今後の活動に活かし、将来の地域防災の担い手として活躍してくれる事を期待致します。

交流会で学んだこと

リーダー　海野 陽奈（中１）

私は交流会で学んだことがあります。失敗しても焦らないことです。午前の部のリレーで筒がなかなか入らなくて私に回ってくるまでは、みんなスピーディで順調でした。ですが、入らないことに焦ってしまい、何回も同じ繰り返しをして、最初は相手チームに勝っていたが最後の最後、目の前で抜かされてしまったのが苦痛でした。「焦らないで行っていなかったら・・・」など後悔するばかりで、でも仲間たちはあえて私の部分は何も言わず、思ったことをすぐに言うような人たちではなく、人の気持ちも考えられる仲間でとても嬉しかったです。

チームの力は無限大！

櫻井 倖誠（中１）

今回２回目の全国大会は、正直、たくさんの不安がありました。なぜなら、習い事の都合で、練習に参加できないときが多かったからです。練習で、納得できるタイムを出すことができないままでしたが、チームのみんなが応援してくれたおかげか、びっくりする速さで走ることができました。ぼくは、チームのみんなに感謝でいっぱいです。チームの力は無限大です！

チームワークが深まった交流会

栗原 優奈（小６）

私は、この三日間の交流会で、様々な体験ができました。その中でも競技では、チーム全員が「勝つぞ!!」と言う気持ちになり頑張れました。少しミスはあったけど、みんなが一つになり、練習より上手くできたと思います。

段ボールハウスで泊まった時は、最初一緒に泊まる子と仲良くなれるか心配だったけど、自己しょうかいをして仲良くなり、会うたび声をかけ合えるようになりました。

今回の交流会で、仲間の大切さや、普段の暮らしは「すばらしい」という事がわかり、貴重な体験ができました。

今回の交流会を通して

木村 優月（中１）

私は、今回の交流会で学んだことが２つあります。１つ目は、チームワークの大切さです。リレーの種目では、バトンパスが上手くいくのはチームワークがいいからだと思います。２つ目は、初めて会う人とも仲良くすることの大切さです。実際の救助では、初めて会う人ばかりですが、見ず知らずの人を助けるのが消防団の仕事だと思うので、とても大切だと思いました。

この経験を、これからの生活や部活動に活かしていきたいと思います。

３日間、とても楽しかったです。

仲間がいるから頑張れる

原田 泰駕（中１）

交流大会は二回目で、中学生として参加させてもらいました。

この交流大会にはたくさんの希望と不安がありましたが、悔いの無い大会にする事ができて良かったです。

三日間で一番感じた事は、仲間の存在は大きいという事でした。ロープ結索などで困っている人がいても「頑張れ～！」などの声が出ていて、その声が力となり、諦めない心に繋がっているんだと感じました。

また、三日間という短い間でしたが、全国のクラブ員のみなさんとたくさんの交流ができて良かったです。

思い出に残った事

柴田 小遥（小６）

私が思い出に残った事は、競技と段ボールハウス作りです。競技では、練習の成果を全て出し切る事は出来なかったけど、チームワークや協力の大事さが分かりました。段ボールハウス作りでは、最初は違うクラブの人とあまり話せなかったけど、夜になってからすごく仲良くなれてとても楽しかったです。自分でも満足のいく段ボールハウスが出来きたし、もし避難所生活をする事になったら、作り方が分かって良かったです。

5 三郷市少年消防クラブ

埼玉県三郷市

仲間と共に～絆～

三郷市少年消防クラブは平成 23 年 4 月 1 日に発足し、現在小学 5 年生から高校 3 年生まで計 118 名のクラブ員が活動しています。消防の基本となる規律や礼式を学ぶ基本訓練から始まり、ロープ降下・渡過訓練の救助体験などの様々な活動を通して消防防災について楽しく学んでいます。また、軽可搬ポンプ操法を消防フェアや総合防災訓練時に披露しています。

悔しさを糧に

指導者　小平 剛

消防競技の部では、惜しくも 5 位となってしまいましたが、悔しい思いをすることで、選手たちにとっても、三郷市少年消防クラブにとっても大きな財産になっていくと思います。

クラブ員たちは他県のクラブ員と交流をすることができ、終始楽しんでいる様子でした。交流会の本懐を果たせていたと思います。この 3 日間を通し、たくさんの方が携わってくれたことに感謝し、今後も積極的に消防・防災活動に参加し、地域防災の担い手としてさらに大きく成長していくことを期待します。

リーダーとして

結城 優

僕は全国大会を通じて日々指導してくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。練習初日から正直自分にリーダーが務まるか心配でした。練習を重ねるうちにチームの団結力が生まれてだんだん自信にも繋がって行きました。

残念ながら結果 5 位になり少しのミスで優勝を逃してしまいましたが消防の現場は正確さが大切だということミスはあってはならないということを改めて実感しました。来年は後輩を指導する立場になるかと思います。今回の経験を生かし今後も三郷市少年消防クラブでも頑張って行きたいと思います。全国交流会で出会った仲間と貴重な経験が出来てほんとに良かったです。

優勝を目指して

大石 紗楽

夏休みがはじまってから 7 月 30 日までの 10 日間、徳島県で行われた全国少年消防クラブ交流大会に向けて、チーム 6 人で訓練してきました。

わたしは、障害物競走の指揮者として結索はプルージックを担当しました。いかにはやく結索し、ゴールできるかを意識しました。優勝をめざして臨んだ本番。結果は惜しくも 5 位でしたが、メンバーと全力でたたかうことができてよかったです。メンバー 6 人とすごした 2 泊 3 日の時間はとてもいい経験になりました。

誇り

石井 夕翔

全国交流会メンバーの一員として誇りに思います。消防職員の方、クラブ員の先輩方、同級生の協力で無事、競技が出来ました。でも、5 位に終わってしまって悔しいです。優勝したかったです。いい経験しました。これからの人生に負けないでいきたいと思います。短い練習と 2 泊 3 日徳島県交流会、本当にありがとうございます。

人の優しさ

砂長 優良

この交流大会までの日々はとてもいい経験ができました。

この暑い中指導者、先輩方にアドバイスをいただき、そのアドバイスを参考に全力で練習してきました。始めの種目では、全力でやりとげることができました。

次の種目では、私の失敗で 5 位という結果でした。とても悔しかったです。それでも、チームのみんなは誰も私のことを責めませんでした。私は大変なことをしてしまったのにも関わらず、私のそばにいてくれました。この交流大会で人の優しさがこんなにも温かいんだと実感できる大会でした。

チームのみんなと過ごした 2 泊 3 日は、私にとって大切な宝物です。

最高の思い出

帆足 匠生

この交流大会で一番心に残ったことは、二日目の合同訓練（リレー・障害物競走）です。緊張して迎えた本番では、練習通りにいかず、たくさんミスをしてしまいました。目標の優勝にも手が届かず、とても悔しかったです。この経験を忘れず、これからの生活に活かしたいです。一緒に競い合った他クラブのクラブ員、そして共に練習してきた仲間、指導して下さった方々との絆を深められた全国交流大会は、僕にとって一生忘れることのない最高の思い出です。

楽しかった交流会

井上 温斗

交流会の競技本番は練習のようにいかず、5 位でとても悔しかったです。でもみんなと一緒に練習した時間はとても楽しく、回を重ねるごとにチームの絆が深まっていくように感じました。このチームで全力を出し切れた事を嬉しく思います。段ボールハウスの時は他のクラブ員の人達と協力して作って災害時の生活を体験でき、貴重な経験になりました。この 3 日間悔しい思いをしたけど他のクラブ員とも交流できて楽しかったです。

6 吉川松伏少年消防クラブ

埼玉県吉川市

大切な仲間と共に・・そしてＩ♥ＬＯＶＥ徳島

吉川松伏少年消防クラブは平成２４年４月に吉川市及び松伏町に在住の小学校５・６年生を対象に結成されました。現在はクラブ員24名、準指導者２９名の合計53名にて月に１回、規律訓練や消火・救急・救助訓練などを行っています。出初式では、分列行進や軽可搬ポンプによる一斉放水、はしご乗りを披露し、見学していただいた皆様より大きな拍手をいただきました。

これからもクラブ全員で団結して、地域防災のリーダーになれるよう、積極的に活動していきたいと思っています。

仲間と共に成長した夏

指導者　清水 万里

交流会に参加するにあたり入賞を目標と掲げ、猛暑の中練習を開始しました。今年のチーム構成は小学生３人、中学生３人で、雰囲気は明るく、優しいおっとりとした雰囲気のチームでした。思うようにタイムが伸びない時もありましたが、持ち前のチームワークで乗り切り、当日は全体で６位という結果でした。結果に満足できず全力で悔しがる姿を見て、おっとりとした中にも秘めた熱い想いがあったのだなと感じました。同じ目標に向かい仲間と団結したこの夏の経験はみんなをひと回り成長させてくれたと感じています。

全国のクラブ員・指導者の方々と交流ができ貴重な３日間でした。

ありがとうございました。

多くのことを学べた３日間

戸張 瑛仁

今年の交流会に参加して沢山の思い出ができました。１つ目は競技です。練習ではしなかったミスをしてしまった事が悔しいです。でもみんなで協力をして頑張りました。２つ目は段ボールハウスです。三郷のクラブ員と協力をして親交を深めることができました。３つ目は徳島の消防団の方の話です。徳島で行っている事を分かりやすく教えてもらえて、色々な事を知ることができました。とても貴重な３日間になりました。来年も参加して、チームのみんなで協力をして上位を目指すとともに、全国のクラブ員との交流をもっと深めたいです。

ありがとう！すだちくん

金田 悠希

僕は、初めての飛行機で緊張してしまい酔ってしまいました。でも無事に到着し全国から集まったクラブ員と交流し、美味しいご飯を食べる頃にはすっかり緊張もほぐれて楽しく初日を終えることが出来ました。僕が全国交流会に参加するのは今年で２度目です。競技会では今年は惜しくも６位という結果でした。

もし、来年も参加することができたら、優勝目指して頑張りたいです。

徳島のゆるキャラのすだちくんとチームみんなで記念写真が撮れてとても嬉しかったです。

とても緊張！交流会の思い出

田原 颯太

僕は初めての全国交流会だったので、緊張の中１日目を迎えました。飛行機移動のあと、ホテルへ到着し、クラブ紹介、夕食では食事がとてもおいしく、全国から集まったクラブ員の色々な活動紹介を聞き、阿波踊りを踊ったのが楽しかったです。２日目の競技会はものすごく緊張しました。結果は６位で入賞まであと一歩、とても悔しかったです。もし来年も参加できるなら、入賞目指して頑張りたいです。３日目は緊張も和らぎ、交流会終了後は観光でうずしおを見ることができ、徳島ラーメンも食べることが出来ました！おいしかったです。この全国交流会はとても緊張しましたが、とても楽しくて、とってもいい経験でした。

僕らの「徳島」３日間

中村 佑希

僕は吉川松伏少年消防クラブの代表として徳島に行きました。１日目はオリエンテーションの後、全国から集まったクラブ員との交流を深めることができ、とてもよかったです。２日目は競技がありましたが、結果は６位で入賞にあと一歩届きませんでした。その日の夜は避難所体験として、ダンボールハウスで寝ました。３日目は地元の小、中学生の防災に関する取組みの発表、消防団の方たちとの交流がありました。３日間の交流会を終えていろいろなことを学ぶことができました。これから先この体験を生かすことが出来るといいと思います。

初めての交流会に参加して

萩原 心

僕は、初めて交流会に、参加しました。昨年は、僕には無理だと思って、希望しませんでしたが、今年は、絶対に参加したいと思っていたので、選手になれてとても、嬉しかったです。昨年の競技会は、５位と入賞していたので、今年も上位を取りたいと、練習は、暑くて辛かったけど、一生懸命頑張りました。しかし、本番では、６位と入賞を逃してしまったので、とても、悔しかったです。でも、徳島で、仲間と頑張ったことや、他の消防クラブのみんなと交流出来たのは、とても良い経験になりました。

くやしかった‥けど楽しかった交流会★

須田 輝

ぼくは、交流会の競技で障害物競争に参加しました。

始まりの合図で緊張してしまい、失敗しないかとても心配で、最後のロープ結索までずっとドキドキしていました。

大会の前は、チームのみんなでたくさん練習し、頑張ってきましたが、全国には強いチームがたくさんあるんだなと思いました。

普段の学校生活とは違う仲間と違った貴重な体験ができて嬉しかったです。

結果は６位で、５位以内に入れなかった事がとてもくやしかったので、今後もクラブの活動に積極的に取り組み、出来る事ならもう一度チャレンジしたいです。

7 西入間少年少女消防団

埼玉県毛呂山町・鳩山町・越生町

令和最初の夏！全国交流会　～心・技・体～

平成 29 年 8 月に設立した西入間少年少女消防団は現在、小学 2 年生から高校 2 年生の男女 22 名で活動しています。普段は消防署、消防団の行事に参加して地域防災活動を行っています。今回、2 回目の全国大会に小学 6 年生 1 名、中学 1 年生 3 名、中学 2 年生 1 名の計 5 名で参加しました。この三日間の訓練を通じて、仲間同士の絆を深める貴重な経験ができました。この経験を忘れず、今後の活動に活かしていきたいと思います。

交流会を終えて

指導者　佐々木 幹友

今回２回目の参加となりましたが、昨年を上回る成績で子供達の成長を感じるとともに、とても貴重な経験ができました。避難所体験では、他のクラブ員と協力し合い活動している姿が、とても有意義に感じました。今後も引き続き、地域防災の担い手として活動し成長していくことを期待しています。

交流会を振り返って

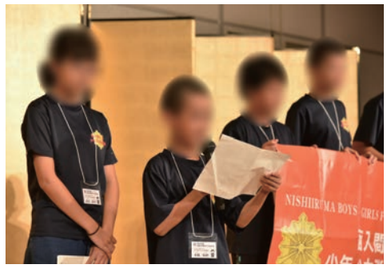
指導者　本橋 香織

自分は初めての参加でしたが、未来を担う子供達の活躍に、沢山の驚きと感動をもらうことができました。消防活動に対する思い、災害時の思いなど参加者として改めて学習する機会をいただけたと思っています。参加者一人一人が協力することの大切さを学ぶことのできる交流会に、是非また参加したいと思います。本当に良い経験になりました。

全国大会に行って

本橋 拓磨

僕は、小学生最後の全国大会で徳島に行きました。初めて飛行機に乗りました。離着陸の時にドキドキしました。競技では、五十三チーム中十四位でした。僕はあまり練習に参加できなかったけど、とても嬉しかったです。ロープの結索では、巻き結びを担当し、しっかりできて良かったです。二年続けて出場して、昨年よりも良い成績が出せて嬉しかったです。



二回目の交流会

吉田 真幸

今回二回目の交流会に参加できてすごく嬉しかったです。交流会一日目には徳島に向かい、いろんな消防団の人達がいて明日は絶対に上位を目指したいと思いました。二日目には訓練が終わり、去年より良い順位で嬉しかったです。その夜にダンボールハウスを作って他の消防団員の人と仲良くできて嬉しかったです。三日目には徳島県内の小中学校による防災活動の報告があり、徳島県に住んでいる小中学校が実施している防災活動の内容を知ることができました。来年も行けるのであれば交流会にまた参加したいです。

初めての交流会

武田 蓮華

私は、今回初めて参加した全国少年消防クラブ交流会では様々な思い出ができ、たくさんの経験をし、知識を学ぶことが出来ました。人生で初めて乗った飛行機やダンボールハウス作り、交流会で仲良くなった友達との会話、合同訓練、クラブ紹介、地元芸能観賞などたくさんの思い出が出来ました。

また、阿波藍、地元の小・中学校や消防団の防災への取り組みを学び、地域によって防災への取り組みが違うことも知れて良かったので、これからは友達など、今回体験したことを教えたり、防災活動へ取り組みたいと思います。

交流会を振り返って

杉浦 亮太

今回で交流会に参加したのは、２回目です。１日目は、ホテルでクラブ紹介や阿波踊り鑑賞をして、翌日の競技に向けてぐっすり眠る事が出来ました。２日目は、競技本番で皆と協力し、集中して取り組む事が出来ました。今年は去年の順位を上回ることが出来とても嬉しかったです。避難所体験での段ボールハウス作りも手際良くできました。貴重な経験ができ、学ぶ事が沢山ありました。また参加して、全国のみんなともっと交流を深めたいです。

全国少年消防クラブ交流会を通して

関根 悠人

僕は、去年に引き続き二回目の出場でした。去年は初めての参加で緊張してダンボールハウス作りでは、違う人たちと一緒に寝て、その人たちと話すのが緊張して少ししか話せなかったけど、今年は二回目で緊張も少なくダンボールハウスでは、違うチームの人たちともコミュニケーションがとれ友達にもなれました。去年友達になった人たちとも会えてよかったです。この交流会を通していろいろな事を学べてよかったし、たくさんの人と話せてよかったです。

8 浦安市少年消防団

千葉県浦安市

絆で勝ち取った１位 ～全力 協力 元気 優勝 いくぞ！！～

浦安市少年消防団は、平成２４年に発足し、現在小学校５年生・６年生７０名が在籍しています。月に１～２回、専属の指導員（消防団員）を中心に、規律訓練・放水訓練・救命講習・救助訓練・震災時対応訓練・出初式などの活動を行っています。今年は２連覇を目標に一生懸命練習をして、その練習の成果が存分に発揮され２連覇を成し遂げることができました。

子どもたちに向けて

指導者　江田 あずき

全国少年消防クラブ交流大会、大変お疲れさまでした。改めて、全国優勝、おめでとう！

交流大会に出場したことで、普段の学校生活では経験することができないことを経験し、多くのことを見て感じることができました。

これからも、何事にも積極的に取り組み、様々なことを経験し、多くの方に頼りにされるリーダーとなってほしいと思います。

そして、いつの日か消防団員としてみんなと一緒に活動できる日を密かに楽しみにしています。

また、交流してくださった全国の少年消防クラブのみなさま、本当にありがとうございました。

選手と一緒に成長できた交流会

指導者　保泉 友紀

優勝を目指し、約2か月前から事前訓練を行っていました。

事前訓練から交流会終了までの選手達の成長に驚くとともに真剣に訓練を行う姿に感銘を受けました。

大会では、仲間が失敗しても励まし、鼓舞することができる最高のチームとなっており、指導者として、チームワーク・仲間の大切さを再確認する貴重な経験をさせていただきました。

最後に、全国のクラブ員との交流は選手達にとって忘れられない夏の思い出になったと思います。ありがとうございました。

たくさんの仲間と心を合わせ頑張った交流会

宝 桃子

私はこの交流会でたくさんのことを学び、色々な思い出を作ることができました。

特に心に残っているのは障害物競走です。

みんなと力を合わせ練習の成果を発揮し、当日は速く走ることに気を付けて自己新記録を出すことができました。

今回の交流会で全国の仲間と知り合うことができ、協力し合うことができて、とても楽しかったです。

大会本番は少し失敗したところもあったけど、いままでみんなでやってきたことを出し切れたのでとても良かったです。

今回経験したことを、これからの人生に活かせていけたらいいなと思います。

貴重な夏

石井 菜央

全国少年消防クラブ交流大会の選抜メンバーに選ばれ、本当に嬉しかったです。でも昨年度が優勝しているので「自分達も」っていうプレッシャーもありました。

大会では普段練習してきたことが出来ました。対抗リレーでは減点を少なくし頑張ったけど5位でした。障害物走では自己ベストを出すこともでき１位をとることが出来ました。

２つの競技の総合タイムの結果、優勝することができ涙がとまりませんでした。

また２日目の夜のダンボールハウスでは他のクラブの人達と仲良くなれて楽しかったです。

本当に貴重な体験をした夏でした。

楽しかった大会～一生の宝物になった夏～

広瀬 絢音

大会本番、朝５時に起きてみんなで早朝ジョギングをしました。リレーでは５位になってしまい、落ち込んでいました。昼ごはんの時には、みんなで作戦会議をしながら少しだけご飯を食べました。そのあとは出番まで外で練習をしていました。出番が近くなると、先生からもらったソースかつを食べて、みんなで「悔いのないように頑張ろう!」と話しました。円陣を組みスタート位置につくと、私は今までの訓練を思い出しました。スタートしてからゴールまでは、あまりよく覚えていません。「タイムは見ないで結果発表を待とう」とみんなで約束しました。

「第１位千葉県浦安市少年消防団!」と言われた時は、驚きと喜びで泣いてしまいました。

とても楽しかった思い出は一生の宝物だと思います。

仲間と勝ち取った優勝

西山 周汰

交流会に参加しての一番の喜びは、かけがえのない仲間が出来たことです。

お互いに支え合って努力する事と、やるべきときにはやる、気持ちの切り替えを学びました。

競技の前後は緊張で胸がいっぱいでしたが、指導員の方などのアドバイスのおかげで、タイムを縮めることができ、優勝を勝ち取れました。応援してくれた皆にもとても感謝しています。

また、全国の参加者と交流したり、段ボールハウス宿泊で新しい友達と仲良くなってアイディアを出し合ったりしたのが、とても貴重な体験でした。思い切りやり切った充実感でいっぱいです。この経験を、今後に生かしていきたいと思います。

仲間と一緒に頑張った夏

御木 滋元

交流会に参加して感じたことは、仲間とのチームワークや声の掛け合いの大切さです。前日は「明日がんばろう」と励まし合い、当日は「集中して取り組もう」などと言い合いました。この声掛けによってみんなの気持ちを盛り上げて「よし頑張るぞ」と全員が思えたと思います。合同訓練では、チームワークですべてをつなぐことが出来ました。

浦安市のメンバーや指導員の先生方とは練習からずっと一緒で絆が深まり、それだけでなく他の県の人とも仲良くなることができて、とても楽しい交流会でした。参加できてとても良い経験になりました。

9 日本橋消防少年団

東京都中央区日本橋

暑い夏を、熱く超えよう！

日本橋消防少年団は、昭和５４年に発足しました。中央区日本橋地区の小学校１年生から高校生までの１２３名で活動をしています。

月に１～２回、防火防災に係る活動のほか地域の行事等に積極的に参加し地域と一体となった活動を実施しています。交流会には普段から積極的に活動に参加し、意欲的に活動に取り組んでいる団員を選抜し参加しました。交流会の貴重な経験や、全国の仲間たちと培った技術は他の団員達にも積極的に継承していきます。

交流会での経験

指導者　中村 裕美

交流会への参加は私自身とても楽しみにしていました。

一日目のオリエンテーションでは団員の仲がより一層深まったのを感じました。

二日目の競技は、緊張からかリレーでいつもの力を出すことができませんでしたが、気持ちを切り替え、障害物競争で、日頃の成果を存分に発揮したかっこいい団員たちの姿を見ることができました。

地元の方の温かいおもてなしや他の消防少年団との交流もとても楽しかったです。

この経験を団員とともに今後の消防少年団の活動に活かしていきたいと思います。

全国交流会を振り返って

指導者　勝田 崇

今回の交流会では、少ない機会ではありましたが準備をして臨みました。しかしながら、クラブ紹介では、独特の間から最も会場を沸かせることとなり、クラブ対抗リレーでも団員のポテンシャルが充分に発揮されたとは言い難い結果でした。

その中で、団員たちは個々に何かを掴んだ様子で、その後の活動に真剣に取り組んでおり、少ない日数の中ではありますがこういった経験は大きく成長を促すということを感じております。

今回参加した団員が、参加できなかった団員をけん引し、更なる少年団の活性化に繋がるようにしていければと考えています。

今後、活かすこと

田邊 桃花

私は、２回目の全国交流会の参加でしたが、今年は震災時の口腔ケアなどが学べてとても勉強になりました。実際に震災があった場合は、全国交流会で学んだことを忘れないようにし、地域の防災リーダーとして活動に活かせればいいなと思いました。

また、今年度の大会は、前回と競技内容が変わっているところもあり、緊張して入賞は出来なかったけどみんなで訓練した成果が出すことができてよかったと思います。

夢の大会

岩佐 鉄希

全国交流大会に出場するか聞かれた時、とっさに「行きます。」と答えました。大会当日までの練習回数が少なかったので不安でしたが、それぞれが集中力を発揮し、53 番中 15 位を取ることができました。今回の活動で、「ぼくはやればできるんだ！」という自信がつきました。次、出場できる機会があれば、もっとチームの結束力を高め、いっぱい練習し、更なる良い成績を修めたいと思います。

「全国交流会で学んだこと」

湯澤 淳平

交流会で行われる競技は、それぞれが自分の役割を果たしつつチームの仲間のことも考え、無駄なく動くことが要求されます。僕は競技の練習、そして大会本番を通して、チームで協力し助け合うことの大切さとその楽しさを学びました。避難所体験の活動では、ほかの地域の仲間と交流することができ、とてもいい思い出になりました。

ここで学んだことを、今後普段の生活にも活かしていきたいです。

悔しい気持ちをバネに

中村 吏那

私は全国大会に参加するのは、今回で２回目でした。

大会当日は、５人とも緊張して、１種目目の競技では、本来の実力が発揮出来ず悔しかったですが、２種目目では、５人で団結し、ベストタイムではなかったものの速いタイムが出たのでよかったです。

２日目の夜には、ダンボールハウスを作ったことで、他の団と仲良くなり、色々な人とたくさんお話が出来たので、とても楽しかったです。

今回は、大会の訓練が少なかったので、来年度は今回の悔しさをバネに、事前にたくさん訓練を行い、本番で緊張しても自信を持って挑めるように頑張りたいです。

悔しくも楽しかった全国交流会

中野 佳凛

私は、全国交流会で悔しかったこと、楽しかったことが一つずつあります。

悔しかったことは、一つ目の競技での壁の練習を１度もしないで本番に挑んだことです。

そのため､少し怖くて上に登った時に時間をいっぱい使ってしまいました。もし来年自分が大会に出られるとしたら、もう一度壁をやって反省したことを活かして大会に挑みたいです。

楽しかったことは２日目のダンボールハウスで、山形市南沼原地区少年消防クラブの人達と一緒に夜を過ごしたことです。

夜の十一時ぐらいまでずっと恋バナをしていて、その後に元に作っていた仕切りをみんなで壊し最終的にみんなで一緒に円になって寝ました。

全国交流会に参加したのは、初めてですが、とても楽しかったので来年も、もし可能ならば参加したいです！

また、今後の活動に学んだことを活かし、毎月の活動を楽しみたいです！

10 芝消防少年団

東京都港区

一致団結！ひとりじゃないから頑張れる！いざ徳島へ！

芝消防少年団員は、昭和５４年に発団以来、火災予防広報や社会奉仕活動を通じ、責任感のある人になれるよう活動を行っています。また、管内のイベントでは鼓笛隊として参加をしています。現在小学１年生から高校３年生までの９７名が入団しており、今回は中学２年生２名、小学６年生２名、小学５年生２名、の計６名が参加しました。

３日間の貴重な体験は今後の活動に活かしていきたいと思います！

令和元年度 少年消防クラブ交流会（全国大会）を終えて

指導者　金井 由光

今年は浜松町からモノレールと飛行機に乗って、徳島県まで遠征しました。

会場には全国から集まった５３団、３６０名の団員が集い、合同訓練や避難所設営体験、徳島県内の小・中学生や消防団の方との交流を行いました。

最初はたくさんの団員の中に囲まれ緊張した面持ちでしたが、さまざまな経験を通してみんな本当に立派に成長したと思います。

子供たちが消防少年団の団体行動を通じて規律と自助・共助の精神を学び実践することは、大変意義のある素晴らしい活動だと思います。

私自身も子供たちからたくさんのことを学ばせて頂き、大変充実した３日間でした。

『最高学年として』

中学２年 関野 魁人

今回は初めての最高学年としての全国大会でした。今年で三回目となる大会でしたが、責任感などがあったためか今までで一番緊張感がありました。そのせいか三日目、家に着いたときの達成感は大きかったです。

二日目のダンボールハウス作りでは、昨年や一昨年の時に得た事を活かしながら、なるべく少ない量のダンボールを使うことを意識して作りました。

今回の経験を災害時に活かせるよう日々訓練していきます。

『後輩を連れて』

中学２年　飯塚 翔太

今回の交流会は、一昨年、昨年に引き続き三回目となりました。まさか三回も出場させて頂けるとは思わなかったので、出場が決まった時は嬉しかったです。今回は、中二が二人、六年生が二人、五年生が二人、という構成で臨みました。上級生として、四人をまとめるのはとても忙しかったけれど、楽しめたので良かったです。また、決意表明も任され、本番ではスラスラと言うことができました。以上の事を今後に活かしていきたいと思います。

『二回目の交流会に参加して』

小学６年　森田 徹

今回の交流会は、僕にとって二回目でした。しかし、昨年とはルールが違い、事前練習を三回やった程度で、当日を迎えてしまいました。僕たちの順番が来るまで必死に他のチームのやり方を見て復習をしました。僕たちの順番が来た時は少し緊張しましたが、しっかり種目をこなすことができたので良かったと思います。また、段ボールハウスでは違うチームの団員と話すことができ、交流が深まりました。この貴重な経験を今後に活かしてきたいです。

『交流会に参加して』

小学６年　紀野 拓未

ぼくは、交流会に初めて参加しました。小学生最後の年に選ばれ、徳島に行く前からとても楽しみにしていました。ぼくは、障害物リレーではホース延長を担当し、クラブ対抗リレーでは水消火器をつかって的をたおす役目をしました。また、ダンボールハウス作りでは、千葉県の団員と協力して完成させました。僕の所属する芝消防少年団は、５３団体中２０位でした。初めての参加で良い結果を残せて良かったです。

『初めての交流会』

小学５年　酒井 琥太

僕にとって初めての参加となりました。いろいろな所から来た少年消防クラブの人と会えて良かったです。緊張していましたが、失敗せずに大会を終えることが出来てよかったです。ダンボールハウスでは、被災地の人たちの暮らしや、不便さを体験出来てよかったです。これからも、今回学んだ知識を日常に役立てたいです。

『初めての交流会』

小学４年　内山 嵩久

今回の交流会は、僕にとって初めての大会でした。一番心に残っているのは、ダンボールハウスでの避難体験です。ダンボールハウスを組み立てる時に、屋根を作ろうと提案をしたら、みんなが協力してくれてうれしかったです。障害物競争でトンネルをくぐり抜ける役をやったのですが、肩や頭をぶつけても止まらず夢中で進みました。

今回の交流会で僕はみんなで協力することを学びました。それをこれからも役に立てていきたいです。

11 日本堤消防少年団

東京都台東区

体験して学んで、頼もしく成長しました！

日本で有数の観光地「浅草」が管内の日本堤消防少年団は、地域の防災行動力向上を目指して、日々訓練や社会奉仕活動に励み、地域住民だけでなく、多くの外国人観光客の皆さんに、防火防災の心が伝わるようにと元気に呼びかけを行っています。

今回は、３年連続参加の中３双子男子をリーダーにして、２回目参加の中２女子、初出場の中１男子、小６男子、計５名で頑張り、過去最高の素晴らしい成績をおさめることができました。

頼もしい団員の成長

指導者　鈴木 清美

私も含め今年は、引率した５名の団員のうち３名が複数回参加しており、いろいろな方にお声がけ頂きました。

前回参加した子が下級生をフォローしている姿を何回も目にして、とても頼もしく思えました。また、帰宅後すぐの少年団サマーキャンプのなかでも今まで参加した子達のそうした姿が随所に見られ、これからも多くの団員に、この大会に参加してほしいと思いました。

避難所体験は、同じ県同士では重ならないように配置して頂けたら、より多くのクラブ員と交流ができただろうと思いました。

学んだこと

横山 龍聖（中３）

僕が３日間を通して学んだことは、仲間と協力し合うことです。合同訓練では、チームのみんなと話し合い、走順を決めるなかで、１秒でも早く結索を行えるよう、アドバイスしたりしました。そのおかげで良い結果を残すことができました。

また、避難所体験では、他のクラブの方と一緒に協力し、皆で案を出し合い、快適なスペースを作ることができました。片付けの時も、協力し合いスムーズにできました。

この３日間で友達もでき、充実した交流会になりました。

これからも学んだことを生かし、がんばりたいです。

交流会で学んだこと

中村 文彌（中２）

私はこの交流会で二つの大切なことを学びました。

一つ目は、仲間と協力することの大切さです。２日目の合同訓練では、いい結果は出せなかったけど、仲間とがんばったので、すごく楽しい訓練となりました。二つ目は集団行動の大切さです。段ボールハウスを作る時、知っている人がひとりもいなかったので、みんなとちゃんと作れるか心配でしたが、みんなとすぐに仲良くなることができました。段ボールハウスもきちんと作れたのでよかったです。

私はこの交流会で学んでことを忘れずに、今後も少年団の活動を続けていきたいです。

３回目の出場

横山 琥珀（中３）

僕は、今回の全国大会で３回目の出場になりました。合同訓練は、前回までの結果より順位がはるかに上がり、よかったです。二日目は、他のクラブの方々と協力して、避難所を作りました。夜は、寒くて何度か起きてしまいました。

この三日間で、他のクラブとたくさん交流し友達も作りみんなと協力出来ました。来年からは出場できませんが、後輩達が今回よりも良い結果を出せるようサポートしていきます。これからも活動や訓練に積極的に取り組み、がんばっていきたいです。

徳島で学んだいろいろな体験

井上 誠也（中１）

ぼくは、二つの体験を学んで知りました。一つ目は阿波おどり体験です。見本を見て「簡単そうだなぁ」と思ったけど、実際やってみると、すごく振りがむずかしくてひとつもできませんでした。二つ目は避難所体験です。最初は、同じ区画の仲間同士で遠慮があったけれど、慣れてきたらみんなで協力して自分の寝床を作りあげることができ、うれしかったです。それでも段ボールがくずれたりせまい所もあり、実際の災害で、避難所で暮らす人はどれだけつらいのかと思いました。

こんな貴重な体験をさせてもらったので、忘れないように頭に入れていきたいです。

初めてクラブ交流会に参加して

渡辺 作（小６）

ぼくは今回初めてクラブ交流会に参加させてもらいました。徳島県に行くのも初めてでした。日本堤消防少年団の代表小学生はぼくだけだったので、少し緊張しました。

一日目は、ホテルに着いてからの食事会が楽しかったです。ぼくと同じか少し年下くらいの人達が阿波おどりを披露してくれました。

二日目は、他のクラブの人達とたくさん交流できました。競技ではギリギリのところで三郷市少年消防クラブに負けてしまい、くやしかったです。

また来年も参加できたらいいなと思います。ありがとうございました。

12 大井消防少年団

東京都品川区

全国少年消防クラブ交流大会で得た大切なもの

大井消防少年団は、昭和５１年に発足し４３年目を迎えました。現在は、小学３年生から高校３年生までの５８名、指導者１０名で活動しています。

今回は、中学生２名、小学６年生３名、計５名での参加。今回の全国大会のために団員たちは事前訓練を重ねてきました。みんな猛暑の中、いっぱい汗をかいて一生懸命訓練した成果が出ていたと思います。

大井消防少年団は、いつも笑顔と元気いっぱいの地域の防災リーダーを目指します。

少年消防クラブ交流会について

指導者　宮本 隆司

今回の交流会について思ったことは、他のクラブの指導者、事務局が一緒に来ていなかったことが不思議に思いました。

私達のクラブでは男女混合で大会に参加させていたが、女子団員が体調不良になりました。私は指導者との肩書きはあるが、女子団員への対応ができていませんでした。ただ私達のクラブは事務局が色々と想定していたので、署員が全て対応してくれました。そのため、私は他の団員のことだけをみれば良かったので署員には感謝しています。また、このような状況が起こった場合、他のクラブはどの様な対応をするのか、果たして指導者１人で何が出来るのかと考えさせられました。

主催者側には署員の付添い、いない場合は団員の保護者の付添いがあると助かります。

避難所生活体験は素晴らしいと思いました。今まで経験したことがないので、貴重な体験ができました。

こどもたちの強さ

指導者　目黒 智美

今回の参加を通して感じたことは、こどもたちの強さでした。全国大会に対する意識の高さと「勝つぞ」という向上心。現地に行き、参加団員達と積極的に交流し、活動を通してすぐに仲良くなれる絆の強さ。

今回、団員が熱発しプログラムをリタイヤせざるを得ない事態が発生。競技会当日の朝から不調な姿を見せるも、競技会が終わるまで一度も「つらい」という言葉を口にしませんでした。その団員の競技に臨む決意はもちろん、周りの団員達もその団員を支え、フォローをし、大井消防少年団を勝利に導こうと一生懸命でした。彼らの心の強さに関心し、感動しました。

大会主催者の方々、看護師の方、宮本指導者および大井消防少年団をフォローしてくださった全国の少年消防クラブの皆さんに感謝します。ありがとうございました。

全国大会 in 徳島

船木 智徳

僕は今年初めて消防少年団交流会に参加しました。選ばれた時は、うれしかったです。

事前訓練では、リレーと障害物競走の練習をしました。本番では、北海道から沖縄までの５３ものクラブが会場に集まっており、珍しい消防車が停まっていたりして、競争心とその規模に驚きました。本番では負けてしまいましたが、仲間と交流を深め、新しい友達を作ることもできました。今回の経験で防災リーダーに更に近づけたと思います。

全国大会の思い出

宮本 匠

全国大会に出場して色々な経験が出来ました。

印象に残ったことは、ダンボールハウス作りです。ダンボールで家を作ることは初めてで、家の屋根や壁を作るのは大変だったけど、頑張って作れました。そして一番印象に残ったことは競技です。メンバー全員で力を合わせ頑張れてよかったです。

この経験を災害にも生かしたいです。

全国大会の経験

末次 乙帆

『全国大会行きに選ばれたよ』と報告を受けた時、信じられない嬉しい気持ちと同時に『ちゃんとやれるのか』と不安な気持ちになりました。

仲間と練習を重ね、だんだんと気持ちが１つになるのを感じ、練習が楽しくなっていきました。

当日は惜しくも上位とはなりませんでしたが、仲間と力を合わせて挑戦できたので、僕はとても満足しています。また、他県の消防団員とも知り合うことができ、とても貴重な経験ができました。

全国大会に参加して

井上 豪

僕がこの全国大会で学んだことは、仲間の大切さです。

僕は、ホースボーリング担当だったのですが、あまりよい結果を残すことはできませんでした。しかし､大井のチームでは、指導者をはじめ、チームのメンバー全員が温かく迎えてくれて、そして前向きな言葉が自然に飛び交っていました。それは大井でしかならなかったと思います。

またいろいろなハプニングがあった中で、最後まで戦えたことは自信になりました。これからもこの素晴らしい仲間たちを尊敬し、思いやり、この大会で学んだことを生かして日々の訓練、活動に力を入れていきたいと思います。

楽しかった全国交流大会

髙橋 彩巴

私は、全国交流大会で心に残ったことが２つあります。

１つ目は、競技についてです。みんな緊張感を持ち、集中して一生懸命競技に取り組んでいたからです。

２つ目は、他の少年団との交流です。名刺を交換していたり、話をしたりして仲を深めていてとても楽しかったです。

楽しいだけでなく、みんなで競っていたのもとても良い経験ができました。

13 大森消防少年団

東京都大田区

仲間と共に… 2019 心はひとつ！

大森消防少年団は昭和５２年に発足し、９０名を超える団員で月に１～２回、規律訓練をはじめ、D級ポンプ操法訓練や、地域のイベント等で火災予防の広報活動を積極的に行っています。昨年に続き、全国の仲間とともに過ごした時間は、大変貴重な経験であり、あらたな刺激と自信となりました。今後この経験を活かし、更なる向上を目指していきたいと思います。

交流会を通じて

指導者　漆山 雅一

交流会の参加は今回で３度目となります。前回に続き２度目の参加となる団員や初めての参加となる団員で臨んだ今大会でした。初めての団員にとっては不安と期待の中、交流会が始まりましたが、雰囲気にすぐに慣れ交流会終了時には「さみしい」「もっとやりたい」などの声があがっていました。また２度目の参加となる団員は後輩団員をフォローしながら、前回以上に積極的に活動する姿をみて頼もしく感じました。いずれにせよ普段できないような環境や活動を通じ、それぞれが成長し、また刺激を受けたように思います。今後はこの団員たちが中心となり、大森消防少年団の更なる飛躍に貢献してくれるものと期待しております。

良い思いでをありがとう

上原 友希

私は中学三年生で、今回が最後の交流会でした。最後の交流会でわくわくしていたら、徳島県のホテルに着いたらまさかの１人部屋で少し驚きました。友達と話したりカードゲームがしたかったので残念でした。でも、部屋に遊びに来てくれた友達がいたのでさみしくはありませんでした。二日目の大交流会では、少し緊張したけど浦安市消防クラブさんや大井消防クラブさんとたくさんの人と仲良くなれたのでとても楽しかったです。障害物リレーの時はこのメンバーとするのは初めてで、どれくらいの時間がかかるのか不安でした。でもやりきった後みんなで「楽しかったね！」「もう一回やりたいね！」と話せて不安はいつの間にか消えていました。私は今回の交流会を通じて、楽しかったり不安だったりいろいろな思い出ができた三日間でした。良い思い出になってよかったです。

全国消防クラブ交流会に参加して

大島 葵

私はこの交流会で様々なことを学びました。また、自分のクラブの仲間とだけではなく、ほかのクラブのみなさんとも協力することができました。中でも一番心に残った活動は「ダンボールハウス作り」です。自分たちで工夫しながら作ることはもちろん、班によって全く違うダンボールハウスを見て回ることも楽しかったです。完成したときは「一人ではできないことも、みんなで協力すればできる」と改めて感じました。私たちの班はダンボールハウス以外に「靴箱・ごみ箱・ライトに被せるもの」も作りました。どれも最初は作る予定がなく、途中で思い付いたものです。私はこの経験から「実際に過ごしてみると必要なものがわかる」ということに気が付きました。今後は被災された方の体験談なども調べ、災害に備えようと思います。

交流大会の感想

栗原 頼希

僕は、この交流大会に行くのが今回初めてだったので、どんな感じでやるのか気になっていました。当日いざやってみると難しく午前の訓練は、僕が担当した障害壁を越えるのに力で越えようとしたのですが、力で登るのをやめて普通に登ったら遅くなってしまったため、後の走者に迷惑をかけてしまったのが今でも悔やんでいます。午後の訓練は、ホースを結合と結索をしたら終了報告の位置に並ぶのですが、僕が結索を間違ってしまったため、タイムを数秒減ってしまったのでそこも悔やんでいました。ダンボールハウスでの体験は凄く良い体験になりました。

全国交流会に参加した感想

藤田 珂椰

私が全国交流会に参加して、印象に残っていることが二つあります。一つ目は、合同訓練です。対抗リレーや障害物競争では、速いタイムを出しているチームが多く、すごいと思いました。私は結索が苦手なので、もっと練習をして、上手に結べるようになりたいと思いました。二つ目は、避難所体験です。今まで経験したことのないダンボールハウス作りや、その中での生活体験をチームで協力し、楽しみながらできたので、とても良い思い出になりました。実際に起こってほしくはありませんが、災害にあってしまったり、避難をすることになってしまった時、少しでも今回の経験を活かし、他の人の役に立てればと強く思いました。機会があればまた参加したいと思います。

全国少年消防クラブ交流会

林 直樹

初日は夕食でやった阿波踊りが楽しかったです。なぜなら、まず阿波踊りを知らなかったのでどういう踊りか知れ、教えてもらい実際に踊れたのが楽しかったです。二日目は、ダンボールハウスです。なぜなら最初にダンボールを使った工作でいろいろなヒントと作り方を教わり、実際に作ってみるととても楽しくなってきて、壁とかをみんなで考え、カッターで切ったり、張り付けたりしながら自分の部屋を作り上げました。三日目は朝起きたら自分のダンボールハウスが倒れていて驚きました。でも倒れたことで寒い夜を温かく過ごすことができました。

14 矢口消防少年団

東京都大田区

一致団結して取り組んだ交流大会

矢口消防少年団は、昭和５３年３月２７日に発団し、小学３年生から高校３年生までの団員４２名で活動しています。今年の交流大会には中学２年生１名、中学１年生１名、小学６年生１名、小学５年生３名の構成で参加しました。合同訓練に向けて事前訓練を行い、団員達のチームワークを深めて当日を迎えました。全国のクラブと交流を深められて、とても良い経験となりました。

交流大会で感じた団員達の成長

指導者　川畑 尚輝

今年で交流大会の参加は２回目でした。ただ指導者が私１人だけということもあり、行く前からとても不安でしたが、競技の練習を全員でしていたり他のクラブの団員達と交流を深めたり等、予想を超えて団員達がしっかりしていたと同時に成長を感じることができた交流大会だと思いました。

また、他のクラブの指導者と意見交換をし、練習の積み重ねの重要さを痛感したり等今後の活動の参考になる収穫があり、充実した３日間になりました。

交流大会での反省

古田 一史

ぼくはこの交流大会を通していろいろなことを学びました。

一つ目は、仲間との協力です。他の強豪チームは、仲間の苦手な所やできないことをサポートしていました。

二つ目は、日々の練習です。他のチームを見ていると実力差を見せつけられました。

これからは、消防少年団以外でも、この二つを大切にしていきたいと思います。

仲間との絆

野溝 咲歩

私は交流大会でさらにメンバーとの絆がより深まったと思います。もちろん、全国のたくさんのクラブ員の人たちとも交流できたと思うのですが、毎回いっしょに活動するメンバー達と絆が深まると訓練がより良くなると思うから良かったと思います。今回の経験は日ごろの訓練にも反映していき、さらにレベルアップしたことにも積極的に取り組んでいきたいです。

大会のこと

近藤 勇輔

大会は、初めて出てむずかしかったです。結果はあまり良くありませんでしたがよかったです。また次も出たいです。そしていい結果を出したいです。ダンボールハウスはみんなと協力して作って楽しかったです。また出たいです。

交流大会で学んだこと

近藤 皓介

7月31日～8月2日までの、全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。（２回目）

僕が交流大会で学んだことは二つあります。一つ目は、口のケアのことです。

災害などで口のケアの事を、教えてもらいました。災害地での死亡数の多いものがあります。それが肺炎です。その肺炎になる原因が虫歯です。口の中の菌が、体に入り、肺炎になってしまうのです。それで､歯みがきが大切になってくるので、習慣づけたいです。二つ目は、災害地についてです。今回で二回目の交流大会で改めて、気づいたことが、災害のおそろしさです。一回の災害で何百人、何千人の人が亡くなってしまうから、おそろしいと思いました。

貴重な体験

桑原 幹

ぼくは、今回初めて全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。最初は緊張したけれど、友だちや指導者の方に助けてもらって、とても楽しく過ごすことができました。一番楽しかったことは、他の少年団の人と一緒に段ボール作りをして、寝たことです。段ボールで寝てみて、思っていたよりも寝心地がよくてびっくりしました。めったに経験できないので、とてもいい思い出になりました。

また、みんなで阿波踊りに参加できたのも良かったです。少し難しく感じましたが、楽しい気持ちになりました。

来年もこの交流大会に参加して、いろいろな経験をしたいです。

初めての交流大会

福田 宇美

私は、徳島の交流大会に参加して、みんなとの仲が深まったと思いました。そして全国の他のクラブの人とも仲良くなれました。初めて交流大会に参加したので、わからないことも多く不安でしたが、みんなとても優しく教えてくれました。大会の結果は最下位でしたが、印象に残る素晴らしい交流大会でした。

15 蒲田消防少年団

東京都大田区

大切な仲間と、暑い、熱い３日間！

蒲田消防少年団は、現在、小学校２年生から高校３年生までの３０名で活動しています。指導者の多くは、地域の防災力の要である消防団で活躍しており、その方々の支援・指導を受けて日々訓練に励んでいます。今年は４回目の参加です。毎年、合同訓練では悔しい思いをし、訓練に訓練を重ね、今年は過去最高の順位で終えることができました。交流会での経験を今後の少年団活動に生かし、素晴らしい地域の防災リーダーを目指します。

成長

指導者　鹿野 雄一

４回目の今回、参加団員全員が小学生でしたので、最初は少し不安でした。しかし、交流会へ向けて訓練を重ねていくうちに、団員たちの顔つきが変わり始め、「１位を目指す」という目標に向かって、皆が一つになり、過去に参加経験のある先輩団員から一生懸命指導を受けている姿を見て、頼もしく感じました。惜しくも１位は取れませんでしたが、この経験を無駄にせず、成長し続けてほしいと思います。

仲間とともに

指導者　衣笠 信明

蒲田の期待を一身に背負い、意気揚々と交流会の地へ向かう団員達。初日の交流会、２日目の競技、避難所体験、３日目の地元学生たちの発表、地元消防団員との交流と非常に中身の濃い３日間でした。競技では優勝は叶いませんでしたが、昨年より大幅に順位を上げ、悔しいながらも満足感が漂っていました。仲間達と協力し合い、やり遂げた団員達を誇りに思います。この経験を基に後輩たちの良き見本となれるよう、これからも頑張って！

全国大会、徳島へ行って

石川 葉月（小６）

私は全国大会に２回参加させてもらっています。今回、全国大会で交流したたくさんの人と友達になれて嬉しかったです。残念ながら今回は１９位で１０位以内に入ることはできませんでしたが、それでもまだ諦めていません。来年はいい成績を残せるように普段の練習をがんばりたいです。これからも１人でも多くの命を救うため、自分の命を守るために少年団活動をがんばりたいです。

交流会の思い出

衣笠 恭介（小６）

全国交流会楽しかったです。他のクラブの人達と競技を行い、１９位という順位で終わりました。今度は、１位を目指してがんばりたいです。今回の交流会では、ホースの展張をしました。みんなで協力して、進められたのでよかったです。また、ダンボールハウスは、別の少年団の人たちと楽しく作れました。ダンボールの中で１泊するのは初めてだったので心配だったけど、楽しくできました。今回の交流会で、メンバーと協力し、とても良い経験になりました。

もりだくさんな三日間

佐々木 華凛（小５）

三日間のもりだくさんな交流会では、全国の人とお話をしたりもしました。一番良い経験ができたなと思うのは、ダンボールハウスです。ねごこち、室内温度などふだんでは体験できない事までしました。また、他の団の人とも仲良くなれたかなと思います。そして、大会では練習した結果で１９位でした。がんばって良い結果を出せたのでとてもうれしかったです。これからも少年団をがんばって次はもっとよい成績を残したいと思いました。

交流会に参加して

小澤 琴埜（小６）

交流会はとても良い体験になりました。二日目の競技ではひざあてが取れてしまったりヘルメットが取れてしまったりなどはありましたが、楽しかったです。段ボールハウスでは矢口消防少年団の人と協力して作り、余った段ボールでゴミ箱やげた箱なども作りました。私達の場所は一人一人仕切りで区切り、それぞれの荷物を置いていました。

来年も、もし機会があれば参加しようと思っています。

仲間の大切さ

小山 正力（小６）

ぼくは、２回目の参加でした。一番楽しかったのはダンボールハウスです。作るのは大変だったけどみんなで寝て楽しかったです。競技は１９位という前回より良い結果が出てとてもうれしかったです。この交流会で仲間の大切さを知りました。仲間がいなければこんなに良い経験ができなかったと思います。この経験をいかして普段の訓練にも取り組んでいきたいです。そして今回たくさんの方にお世話になりどうもありがとうございます。また参加したいです。

16 豊島消防少年団

東京都豊島区

仲間と共に過ごした３日間

豊島消防少年団は昭和５４年に発団し、今年６月に発団４０周年を迎えました。現在、鈴木団長以下１２名の指導者と小学３年生から高校３年生までの５０名の団員が、元気に基本訓練や火災予防広報活動などに取り組んでいます。

今年の交流会には中学生団員５名、小学生団員１名で参加しました。全国の仲間達と交流を深めた３日間は、貴重な経験であり、また、大きな自信を得ることができました。この経験を参加できなかった団員と共有して、今後の活動に取り組んでいきたいと思います。

未知数の力

指導者　松島 加代

この度団員６名と一緒に全国少年消防クラブ交流大会に参加して参りました。

１日目の交流会では、団員と共に山形市のクラブの席に伺い、交流を深めることができました。また、私たちの席にも大勢のクラブの方が来て下さり、たくさんの方と交流を深めることができました。

２日目の競技会では、出場を前に説明書を読んだり、他のチームの動きを見たりして競技に臨みました。残念なことにタイムは縮まず、来年へリベンジを誓いました。

３日目の報告会では、地元の消防団との交流の機会があり、団員も熱心に話に耳を傾けていました。貴重な経験になったことと思います。

この３日間で参加した団員ひとりひとりが大きく成長することができたと思います。まだ大会に参加していない団員は、ぜひチャレンジしてくださいね！

交流会に参加して

折田 彩乃

交流会の参加を誘っていただいてからずっと、当日をとても楽しみにしていました。同じ「消防少年団」という目的意識を持ち、各地で活動している他の団との交流は、日頃なかなかできないからです。

結索ロープなどの普段の活動の成果を競ったり、段ボールハウスを作り上げたり、活動も楽しいものばかりでした。

同じ団の団員はもちろん、団の垣根を越えて協力する活動は達成感がありました。このような貴重な機会を与えてくださったみなさんにお礼申し上げます。

思い出の交流会

駒場 凜

私は中学３年生なのでこの交流会への参加が最後となりました。充実した時間を過ごすことができ、よかったです。初日の交流会ではたくさんのメンバーと会話することができました。全国各地からのメンバーの人と地元の良いところの話をしました。東京のオススメスポットについて話すととても楽しそうに話を聞いてくれて嬉しかったです。

同じチームメンバーとも話が絶えず、交流会に参加する前よりも仲を深めることができました。

貴重な体験

宗像 亜香里

今回の全国交流会は私の人生において、とても貴重な体験になったと思います。ダンボールハウス設営では、初対面である別のクラブの方と協力して設営することができました。話をしたことがない人と、どう話せば相手を不快にさせずにコミュニケーションをとれるか考えながら行動ができました。

大会では残念ながら良い結果を残すことができませんでした。しかし、他クラブの方や指導者さんと交流でき、とても大切な思い出になりました。参加できてよかったです。ありがとうございました。

徳島交流会

今野 力海

楽しみにしていた全国大会に参加してたくさんの思い出と決意が生まれました。

来年の大会にも参加したいので、訓練も頑張りたいです。やはり優勝・入賞するクラブはとてもすごいと思いました。きっと常にタイムを気にかけ訓練を頑張っているのだと思いました。

全国大会では優勝したクラブとの差が数十秒あったので、少年団活動での訓練のほかにも自分なりに結索の訓練を自宅でもタイムを測ってみようと思いました。

交流会や一緒に行ったメンバーとはとても楽しく過ごせ、有意義な３日間でした。

貴重な体験ができた交流会

箱崎 隼真

交流会は少し緊張しました。最初は初めて会う人たちと交流し、豊島消防少年団がどのようなものなのかと、紹介しました。今までの経験をいかし、障害物競走などをしました。

ダンボールハウス作りでは、他の少年団の人たちと１つのダンボールハウスを作りました。災害が起こった時の生活を知ることができました。

今回の交流会では、他ではできない貴重な体験ができました。これからの活動にいかしたいです。

二度目の交流会

中川 燿

私は徳島に行く飛行機では、今年は昨年とは違う競技なので、フライングや反則をしないようにできるかを、ずっと考えていました。

本番では、フライングや反則をせずに、自分の役目をちゃんと果たせました。

前夜祭では、他の団の人と仲良くなり、大会当日にも前夜祭で仲良くなった人と話したりしていました。

ダンボールハウスでは他の団の人と協力し、三日目の朝には、ダンボールハウス生活のつらさを感じました。また来年も代表として参加できるように頑張ります。

17 尾久消防少年団

東京都荒川区

発団４０周年記念！徳島でのアツイ夏

「楽しく防火防災を学ぶ」をモットーに、毎月１～２回、日曜日を中心に活動しています。地域イベントでの広報活動や、尾久消防団操法大会での演技披露などを通じて地域へ消防少年団活動を PR するほか、駅前の清掃活動や高齢者福祉施設訪問などの、社会奉仕活動も行います。学校や学年が違う個性豊かな子供たち５４名の団体です。

指導者　中村 美智子

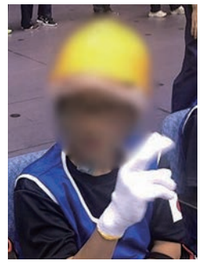
当団は発団４０周年行事の一環として交流会に初めて参加しました。避難所体験では、段ボールハウスを作り一晩過ごしました。６～７名の子供たちはすぐに仲良しになり、楽しそうに方言自慢。その方言を大切に伝えていってほしいと思います。実災害で避難所生活をした方は、家族や家を失い、どんなに辛かったか胸が痛みます。この訓練を通じて、普通の生活がいかに幸せかを感じました。

指導者　内田 康弘

今回の競技会の目的は、日頃の防火防災の基本動作を迅速に行うことに加え、実際の災害時に役立つ行動の実践です。この中で我々は他の少年団と比べて連携が取れず、スムーズに競技を進めないこともあり、今後の課題を痛感しました。しかし子供たちは終始互いに協力し精一杯がんばりました。この体験を活かし、今後来たるべき災害に備える力を蓄えられたらと感じました。

徳島の特産品に触れて

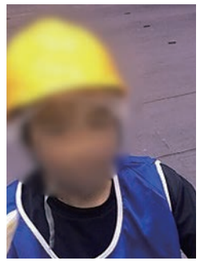
萩谷 月登



徳島の特産品である阿波尾鶏とうどんを食べました。とても美味しかったです。阿波踊りを見る機会もありました。目の前で見たのは初めてでしたが、一言で阿波踊りと言ってもいろいろな踊りの種類があることに驚き、魅了されました。みんなで阿波踊りを練習して踊ったのが、とても印象に残っています。訓練だけでなく徳島の特産品に触れたりできたことは、とてもいい経験になったと思います。

団結力と練習量

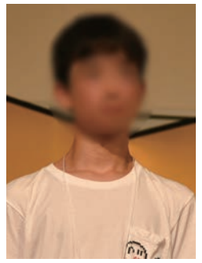
後藤 主



私が全国大会で学んだことは、「団結力と練習量の大切さ」です。私たちは小学生の頃から一緒に少年団活動をしているため旧知の仲ですし、全国大会に向けて競技の練習をしたため、団結力がより深まりました。また、より上の目標を達成するためには、練習量の大切さも感じました。私は災害が発生したら大人の手伝いを率先して行い、地域の人々と協力して尾久の町を守りたいと思います。

競技大会について

平田 蒼葉



競技大会で全国の消防クラブと対戦できたことは、とても貴重な体験となりました。リレーでは私はアンカーでホース結合をしましたが、事前練習をしたため、スムーズにできました。障害物競走では、ハードル等を超えてホース結合をした後、結索をしました。今回の経験は、いざという時に役立つと思うので、しっかりインプットしたいと思います。また多くの他のチームが苦戦していたホース延長は練習を重ねて、チーム全体でできるようにしたいです。

交流会について

伊藤 さくら

最終日に、徳島の消防団や小中学生との交流会がありました。小中学校の方々からは日頃の災害への取り組みを紹介してもらいました。地元消防団の方にはハザードマップを見せていただきました。津波がきたら全ての家が浸水してしまう地域もありました。私たちの住んでいる地域にもハザードマップがあるので、避難場所などを確認しようと思います。また今回お話してもらったことを今後の少年団活動に活かしてがんばっていきたいと思います。

ダンボールハウスについて

村山 七菜

２日目の夜にダンボールハウスを作りました。保温性を高めたり体が痛くならない工夫をしましたが、起きたら体が痛くなりました。このことから、自分の普段の生活がいかに贅沢で幸せなことだということがわかりました。今回は訓練だったので冷静に作れましたが、実際に大震災が起きたら、家族や友達が心配で訓練のようにはいかないかもしれません。今回の経験を通じて、実災害時には避難する方のストレスを少しでも軽減できるような、居心地のいいダンボールハウスを率先して作りたいと思います。

18 本田消防少年団

東京都葛飾区

最高のメンバーで臨んだ交流会！

本田消防少年団は、小学１年生から高校３年生までの総勢５２名の団員と、２６名の指導者で活動しています。月１～２回、規律訓練や応急救護訓練等を行い、スタンドパイプを活用した地域の防災活動にも積極的に参加しています。クラブ交流会全国大会は今回で３回目の参加となり、メンバーの士気も高く、練習を重ねて臨みました。今年で卒業するメンバーもいますが、残るメンバーは早くも来年への意欲に燃えています！

交流会について！

指導者　遠山 正行

選手の皆さん、お疲れ様でした。関係者の皆さんのお力添えで今年も交流会に参加出来て嬉しく思います。

交流会を通じて団員の結束も深まり、色々と他団体との交流で刺激を受けて、選手の皆はこれからの活動に活かしてくれると思っています。

他団体との交流する時間が更にあると、各団の活動内容や自分達の誇れる活動を互いに紹介し合えることができると思いますので、子ども達の交流の場にして欲しいです。全国津々浦々の倶楽部の仲間がいるので、この機会に友達を一人でも多く作って、災害時に「あの地区の友達は大丈夫かな？」なんて連絡出来たら頼りになる友になれると思います。

子ども達の為にご協力頂いた、全ての団体各位に御礼申し上げます。

最後の大会

安嶋 義之

私は今回で３回目の出場でした。そして、この大会が最後です。一番良かったと思えたのは、この本田のメンバーで戦えたことです。結果よりもこのメンバーで今まで練習できたこと、大会に出られたこと、それが一番嬉しかったです。私は中学三年生なので、来年からは大会に参加できなくなります。寂しい気持ちになりますが、この大会で学んだ、チームで戦うという気持ち、人を救うという気持ちをこれからも忘れないようにしたいと思います。

大会を終えて思うこと

水貝 菜々羽

私は今回の大会を通じて、沢山のことを学ばせていただきました。仲間を信じることの大切さ、仲間と協力する大切さ、周りの方々に支えていただくありがたさ、など本当に色々なことを学びました。

中学３年生の私にとって最後の出場となる今年の全国大会で、沢山学べたことは本当に良かったです。これからの活動で私は学んできたことを後輩に教えていきたいと思います。今回、全国大会に携わった方々、私たちに学びの機会を下さりありがとうございました。

人

伊藤 つぼみ

私は今回のクラブ交流会で成長したことが２つあります。それは、人と関わる上で大切なことと、努力です。今年のクラブ交流会は一番最初に出場した時のメンバーで出れる最後の年でした。負けたくないという気持ちがメンバーをつなぎ、１０位入賞ができました。そしてそれと同時に１位のチームとの違いをひしひしと感じました。私たちのチームは努力が少し足りなかったのではないかと思います。次こそは納得のいく順位に入れるよう頑張りたいです。

仲間と取り組んだクラブ交流会

加賀美 誰

今年の交流会は中学三年生もいて、最後の交流会になってしまうので、緊張感を持って取り組むことができました。結果は１０位でしたが、とてもよくできたのではないかと思います。また、段ボールハウス作りでは他の消防少年団とも親睦を深められてので、とても良かったです。来年は私も３年生になります。今年よりも良い成績を残して、後悔のないように頑張りたいです。来年は経験のある人たちが少なくなり、初めての子も出場するようになります。それでも、みんなで仲良く頑張れたらなぁと思います。

３回目の全国大会

横松 晃輝

今回で３回目の出場となりました。今年こそは上位入賞を狙っていましたが、残念ながら１０位という結果でした。しかし、仲間とベストを尽くせたので良かったです。今回はクルーザーにも乗せてもらったり、レッドサラマンダーを見ることができ、とても良い思い出になりました。東京からもたくさんの応援団が来てくださりとても心強かったです。来年も出場できるよう、今後の活動も頑張っていきたいです。

クラブ交流会を振り返って

古内 五十鈴

昨年に続いて二回目のクラブ交流会。私は補欠として参加しました。しかし、東京日野消防少年団で、体調が悪くなってしまった人が居たので、クラブ対抗リレーだけ代わりとして出場しました。他のチームに混ざって競技することは大変だったけど、交流できて楽しかったです。また、大会の日は私の誕生日で、二日目の朝のクルーザーの乗船権が当たりました。同じチームの子も喜んでくれてとても嬉しかったです。段ボールハウス作りなどでも、他クラブとの交流もでき、普段と違った交流会になりました。

19 昭島消防少年団

東京都昭島市

多くのことを学んだ交流会

昭島消防少年団は、小学校１年生から高校３年生までの５９名の団員と２３名の指導者等で活動しています。防火防災に関する知識や技術を学ぶほか、清掃活動、防災訓練など地域の活動にも積極的に参加しています。

交流会参加団員６名は競技大会にむけて、訓練を積み重ねてきました。

結索などの技術も磨かれましたが、訓練の回数を重ねるごとにチームが団結していきました。この経験を参加できなかった団員と共有して今後の活動に取り組んでいきます。

次は上位を目指そう

指導者　武田 大助

小学生のみで臨む今交流会では、時間どおりの準備集合、規律ある行動などあらゆる場面で消防少年団員として恥ずかしくない振る舞いができるか、若干の不安もあった。

しかし、参加した団員の自覚は強く、杞憂に終わった三日間であった。それなりに訓練を積んだつもりで挑んだ障害物リレーやホース延伸では、まだまだ速さと確実性を鍛える箇所があることを実感した。

次の機会は上位を目指したい。

徳島で学んだこと

髙橋 真琴

私はこの交流会で防災の知識を学んで来ました。

一日目は夕食の前に各クラブの紹介があり、各クラブの活動内容が分かりました。二日目の合同訓練では、第一組目だったのでとても緊張しましたが、力を合わせて頑張りました。合同訓練をやることで、どうすれば早く出来るかを考えられました。三日目は、徳島県内の小・中学校の方々による活動報告と消防団の方々との交流がありました。そこで、自分達の地域では何をしたらいいのかが分かりました。

私はこの交流会で学んできた事を生かして、これからの消防の活動に取り組んでいきたいです。

少年消防クラブ交流会に参加してみて

内芝 航太郎

ぼくは、少年消防クラブ交流会になぜ行きたいと思ったのかは、他の少年消防団と交流を通じて学びたかったからです。

一日目は、移動が多くあまり他の消防団と交流はできませんでしたが、たまに話かけてくれる人もいました。二日目は、競技もあり、他の消防団と競技のことをいっぱい話しました。大会では、１番目に出るのできんちょうしましたが、その相手に勝てたので、うれしかったです。三日目は、

ダンボールハウスを作りました。最初は簡単だと思いました。でも、少しずつむずかしく、ねごこちも悪かったので、ここで毎日過ごすのは、大変だと感じました。

協力することの大切さ

藤川 渚々虹

私は徳島県で開さいされた消防クラブ全国大会に初めて参加し、思ったことがあります。それは、みんなで協力をして、あきらめないという大切さです。全国大会の前にみんなで集まりしょうがい物リレーなどの練習をしましたが、みんなが協力をしていかないとよい結果をだすことができません。あきらめずに心を一つにして取組むことで本番は、良い結果を出すことができました。ダンボールハウスでは、初めて会った人と生活をしなくてはならなくてきんちょうしましたが、年上のお姉さんたちが話しかけてくれて、安心して過ごせました。全国大会で学んだことを活かせるようにします。

いろいろ学んだ交流会

三浦 大雅

ぼくはいろいろ交流会で学びました。それは、ひなんしていた人の気持ちです。ぼくはひなん所にいる人たちがそんなに大変だとは思っていませんでした。でも自分も、ひなん生活を体けんしたら、印象が変わりました。すごくつらい思いをしていることにきづきました。

ぼくは災害をつらいと感じました。消防少年団にはいって自分の地域がさいがいにあった時、少しでも力になりたいです。

思い出がいっぱいの徳島

向笠 頼綱

ぼくは、徳島の大会のときの思い出がいっぱいあります。徳島に行くとき初めて飛行機に乗りました。不思議なかんじがしました。徳島のマスコットといっしょに写真をとれて良かったです。交流会で昭島のしょうかいできんちょうしました。あわおどりが楽しかったです。あまり良いタイムが出せなかったけどつかれました。けっこう良いダンボールハウスがつくれました。ダンボールだから、ねる時あつかったです。かたづけがたいへんでした。今度行けるなら勝ちたいです。

みんなと行った交流会

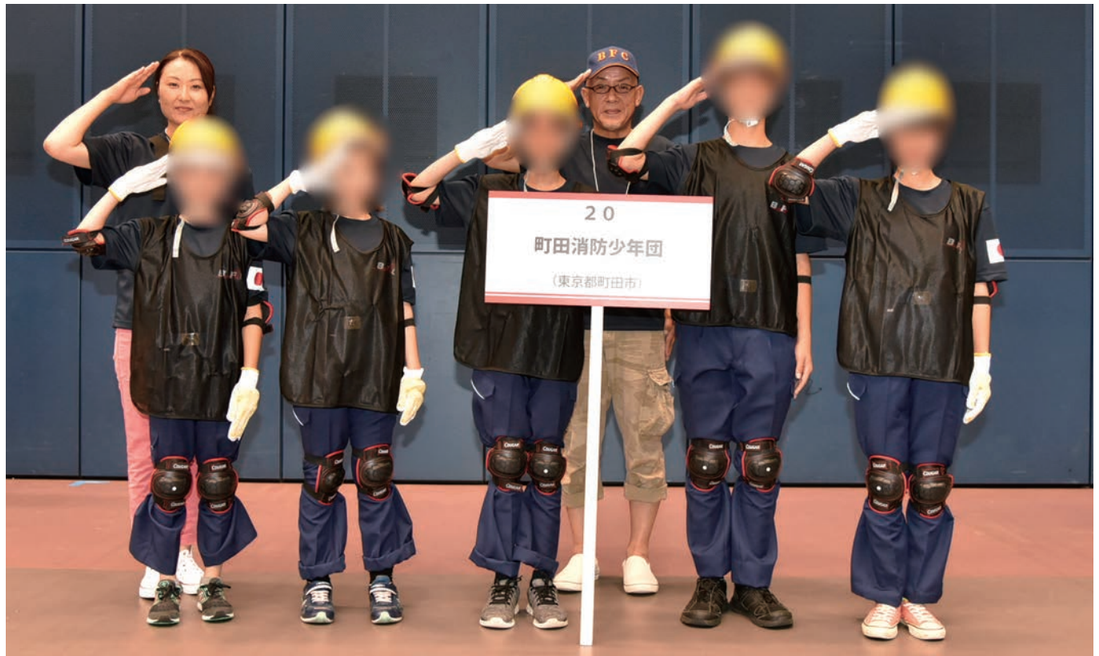
永村 瑛莉彩

７月３１日から８月２日まで初めて交流会に参加しました。１日目にはクラブしょうかいがあっていっぱいのめいしをもらってうれしかったです。２日目はホテルを出てトップバッターで徳島県のかもな小学校とたたかって勝ちましたがタイムはどんどん抜かれていってしまいました。１つのきょうぎしかでれませんでしたが楽しかったです。３日目はダンボールハウスは作るのもおえかきするのもたのしかったけど、足がいたかったです。もっと他の県と仲良くなりたいです。また、交流会に行きたいです。

20 町田消防少年団

東京都町田市

気持ちを一つに、力を合わせ大きな力に ～わたしも力になりたい～



町田消防少年団は昭和５３年に発団し、昨年は４０周年を迎え本年は世界大会（ヨーロッパ青少年消防オリンピック）、全国大会（全国少年消防クラブ交流会 in 徳島））と出場を果たしました。

普段は月１，２回の活動を行い、防災に対する知識・技術を習得しチームワークの中から共助の大切さを学び、その力を大いに発揮しています。

すばらしき交流会

指導者　井上 淳一

今回、大会に参加した団員や指導者共に、とてもいい経験をさせていただきました。

全国の団員、指導者からいろいろ情報交換ができ私たちのこれからの活動に役立てていきたいと思います。

この経験を活かし、さらに防火、防災の意識を高め、団員の指導にあたりたいと思います。

私も、役に立ちたい

指導者　前田 絵美

今回私は、子供たちの努力と成長を目の当たりにすることができました。最初の練習ではあまりやる気が感じられなかった子も何度も練習をするうちに周りの子供たちと試行錯誤を重ねて、子供だけで行動するようになっていました。一生懸命に取り組む姿を見て、私も子供たちの役に立ちたい、と私のやる気までも引き出してくれました。本番では自分たちの力を存分に発揮する子供たちを見て感動しました。私自身が多くのことを学べる良い機会になりました。

全国少年消防クラブ交流会に参加して

リーダー 岩渕 くるみ（中２）

私がこの交流会に参加したのは２回目です。去年とはメンバーも変わり新しいチームで参加しました。１日目に皆で阿波踊りを踊って皆との距離が少し近くなったような気がしました。私が一番印象に残っているのは、ダンボールハウスの人と仲良くなれたことです。同じ歳の子が多かったから話しやすかったです。もし、自分たちの地域で災害が起こった時は今回の交流会のことを活かして自分が防災リーダーとして引っ張っていきたいです。

「交流大会に参加して」

芹澤 零音（中２）

私は今年度、町田消防少年団の代表として全国消防クラブ交流大会に参加させて頂きました。事前訓練で学んだホース延長や結索など多くの種目の中で、私は消火器を担当しました。本番では分岐を取り損ねてしまい、メンバーのみんなに迷惑をかけてしまいました。ですが、全国７位、東京都１位という好成績を納めることができ、ほっとしました。昨年に引き続き、３位という成績は取ることが出来ませんでしたが、多くの仲間と交流することが出来たのが１番の思い出です。来年は全国１位を目指して日々の訓練から頑張っていきたいと思います。

初めての全国大会

山田 愛里（小５）

私はダンボールハウスでの避難所体験がとても勉強になりました。ダンボールハウスの作り方や、災害時の歯磨きの大切さを学ぶ事ができました。避難所生活のことが分かり貴重な体験でした。又、他県のメンバーとも沢山話せて楽しかったです。

全国交流会

石川 一葵（中１）

今年は、全国大会と世界大会が力を合わせて練習をし、様々なアクシデントもおこりつつ７月３１日に飛行機に乗り始まった。全国大会には多くのチームがやってきて、少し緊張する中での交流会が始まり各チームの自己紹介が始まると緊張が高まってきましたが成功したと思います。次ぎの日から大会が始まって次々とチームが早いタイムを出していきましたが、心の中では「あっ勝てる」と思っていました。けれど現実はそう甘くなかったのです。練習の時はうまくいっていたのですが練習とは高さが違ったりして手こずりました。それでもなんとかがんばって６から７位ぐらいでした。「ちきしょー」もう最悪でした。来年のも出て、次こそ１位を取りたいとです。

必ず倒す「ホースボーリングのピン」

今村 栄詠（小５）

ぼくは５年生の夏休みに全国大会に行けてよかったです。たくさん練習をしました。練習日が雨のときは大体消防署の駐車場でホースボーリングの練習をしていました。

全国大会で失敗してしまったことはホースボーリングでとてもくやしかったので、また来年も出場したいです。結果的には入賞出来なかったけれどとても楽しかったです。また全国大会に出たいので練習を毎日がんばります。

21 日野消防少年団

東京都日野市

交流会に参加して

日野消防少年団は、小学校２年生から高校３年生が在籍しており、代表５名が全国大会に出場しました。多くの皆様のお力添えにより無事に交流会を終えることができました。厚く御礼申し上げます。

コミュニケーションの大切さ

指導者　小林 雅子

多くの人の支えがあってこその交流会であったと感じました。消防庁の事務局の方々など沢山の方々のご協力のおかげで無事に交流会を終えることができました。今回の交流会を通じて、人と人とのコミュニケーションの大切さを改めて感じ、人間的に成長することができた交流会となりました。

初めての大きな場

指導者　三角 龍彦

私は、今年の春卒団したばかりの準指導者です。今回の交流会へ指導者として参加するのは、初めてでありうまく指導ができるか分からず緊張で胸が張り裂けるような思いでした。私は、他の団の指導者とも交流が持つことができたこと、さらには他の団の活動成果を見ることもでき充実した時間が過ごせたかなと思います。もう少し他の団との交流の場があればよかったなと思いました。今後もこのような交流の場にできるだけ参加していきたいなと思いました。

全国大会感想文

隊長　佐々木 充

今回の大会は僕にとって４回目の参加でした。競技内容としては、障害物リレーはとても素早く行えたので上手くいきました。リレーの最後のロープ結索では結ぶ地点を間違えたり、僕自身もホースの結合を確実に出来なかったり、という失敗がありました。でも総合的には、今年はなんとなく手応えがあり、順位結果が張り出された時に「いつもよりは良い順位かもしれない」と期待し、少しかけ足で見に行きました。が、順位は悪い意味でいつも通りでした。帰りのバスで、隣の席の隊員に「このままで良いと思う？」と問いかけると、「全国大会に選抜される意味も含めてちゃんと考えた方が良い」という意見を言ってくれました。僕たちの話を聞いていたのでしょう、通路を挟んだ向こう側に座っていた別の隊員からも「今後の選抜者となる後輩達の為にも消防少年団は練習の場数を踏ませてあげるべき」などという意見が出ました。すると前の座席の隊員まで振り返って僕の方へ身を乗り出しながら意見してくれました。バスの中がちょっとした会議室の様になっていました。

僕はとても嬉しい気持ちになりました。何故なら隊員達とこのように真剣に話し合ったのが初めてだったからです。しかしながら後悔の気持ちもありました。自分が隊長だったにも関わらず大会前の訓練の時にこのような話し合いの場を何故設けることができなかったのだろうかと思ったからです。このような対話が日野消防少年団のためになり、今後の訓練に後輩達も身が入ることだろう、と思っています。隊員達との対話を引き出す事が出来た今回の大会は僕にとって忘れられないものになりました。そのきっかけを下さった、僕達を選抜して下さった方々、支えて下さった保護者の方々、日野消防署の方々に感謝致します。ありがとうございました。来年の全国大会では僕たち日野消防少年団の成長した姿を見せられる様、頑張りたいと思います。

初めての交流会

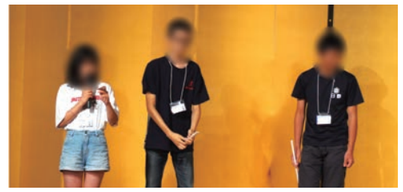
安部 桃菜

私がこの交流会に初めて参加して一番心に残ったことは、ひなん所体験です。ダンボールハウスで新しい友達もでき、防災オーラルケアの液体ハミガキにおどろいたからです。競技の方は、体調をくずして午前は出場できなかったので、とてもくやしいと思いました。午後はなんとか競技に参加できて、本当に良かったです。いろいろあったけれど、とてもきちょうな三日間でした。

二度目の参加

安部 林太郎

僕はこの交流会に二度目の参加をして、いろいろなことを学んだ。特に、避難所での口腔ケアはそれほど重要ではないと感じていたが、それを怠ると様々な病気にかかりやすいことが分かり、口腔ケアは命を守るための大切な役割ということを学んだ。また、合同訓練では去年と違う競技でその練習は積んでいたが、結索の実施位置を間違えてしまったりするなどの課題が見えた。次回はルールを確認し、確実に行いたいと思った。来年もまた参加し、課題はクリアした上で、もっと他のクラブとの交流を深めたい。



全国大会に参加して

須田 実音

全国大会はとても良い思い出になりました。全国の消防少年団のみんなと話をし交流ができました。普段の活動では、このような機会がないのでとても楽しかったです。無事に全国大会を終えることができました。ありがとうございました。

全国大会で学んだこと

黒坂 月深

私は、全国大会に行って学んだことが二つあります。一つめは日頃の訓練の大切さです。障害物競争では、けっさくなどの訓練を積み重ねた成果が出てスムーズにできてよかったです。二つめは、規律訓練の大切さです。集合がかかったときなどはきれいに並ぶようにしました。勝つことはできなくても、一つ一つの動作をていねいに行っていくことで、より良い団になると思いました。これからも練習を積み重ね、またチャレンジしたいです！！！

22 秋川消防少年団

東京都あきる野市

夏休みの思い出。

秋川消防少年団は昭和５５年８月に発足し、あきる野市・日の出町・檜原村の３市町村から結成されています。この地域は東京都西多摩地区に位置し、秋川流域３市町村と呼ばれる地域で、周りは秋川渓谷や三頭山など多くの山々に囲まれています。団員たちは、今回の交流会に向け、１か月間にわたり毎週訓練を重ねてきました。その努力の甲斐あって、見事上位に入賞することができました。今後もこの経験を生かし、訓練に取り組んでいきます。

共有し合った時間

指導者　石川 来実

私達は数少ない練習時間を大切にすることで８位という結果を持ち帰ることができました。また、２日目の段ボールハウス体験では、避難所の雰囲気を味わうとともに、他の県から来た少年団の子たちと県による違いを話して驚き合ったり、たわいもない話をして笑いあったりととても楽しく有意義な時間になりました。

３日間の中で多くの団員・指導者の方々と話すことができ、勉強になることが多く、私の中の知識が膨らんだ様な気がします。思い返すと短い時間ではありましたがこの３日間が忘れられない夏の思い出となりました。

交流会に参加して

指導者　遠藤 珠美

私は過去に選手として３回参加させて頂きましたが、今回は指導者として参加させて頂きました。選手の皆さんには良い結果を残して欲しかったので、微力ながらアドバイスをしたり、当日も全力で応援しました。

こうして自分達の次の代も見守れるのはとても嬉しかったです。

そんな中、今回の大会で強く感じたのが多くの方々の協力のもと開かれているということでした。

関係者の皆様、本当にありがとうございました。

交流会に参加して

玉井 聡一

ぼくは交流大会に参加する事が決まって秋川消防少年団を代表して参加することに、はたして自分に役割が果たせるかどうか、結果をだせるかどうか不安がありました。大会に向けて仲間、指導員の方々との訓練を重ねていくにつれて団結と絆が生まれ、仲間を信じて大会に臨もうと思うようになりました。

当日、競技が始まりドキドキしましたが全力で取り組みました。結果は８位で嬉しかったです。

ここまで来れたのも仲間と指導員の方々のおかげです。

徳島の交流会

伊藤 倖太朗

僕が少年団の交流会に参加したのは２回目だ。１回目は補欠として参加した。なので、リレーなどに参加したのは今回が初めてだ。練習の時にはケガをしたりしたが徐々にタイムが速くなった。本番ではケガをすることもなく自分に出来ることをやり切れたと思う。

他の少年団の人とも仲良くなった。段ボールハウス作りでは協力して出来た。

僕は、とても良い交流会になったと思う。

協力することの大切さ

丁子 夏結乃

私は今回、交流会に参加してたくさんの事を学びました。その中でも特に印象に残っていることは段ボールハウス作りです。私は普段人任せにしてしまったりすることが多く自分から行動できませんでした。

でも、段ボールハウス作りだと自分から行動しないと完成しません。そのおかげで自分でやることを見つけ、行動するということが身につきました。そして、段ボールハウスの中で全く知らない人と過ごしたので、初めて出会った人と距離感も学べました。

私の学校は小学校から中学校までずっと同じ趣味の人もいて、今までとても遠くにいて知らない人だったのに一瞬でつながることができました。

これからも、この経験を生かして高校やその先行っても協力することの大切さを忘れずに頑張っていきます。

初めての全国大会

岩﨑 沙耶菜

私は、初めて全国大会に参加しました。全国大会では初めてのことだらけでした。まずは飛行機です。離陸、着陸ではふわっと体が浮いてぞわぞわし、ゴォーと音をたて驚きました。外の景色はいつもと違い雲の上を通って空と雲が綺麗で感動しました。

次は全国大会です。全国大会では８位という結果が出せ今まで練習を真剣に取り組みたくさん練習してきて良かったなと思いました。練習ではタイムが遅いという課題にぶつかりました。新記録を出した時もあれば何回やっても目標タイムもいかなかったりしました。なので、本番では練習の時より１秒でも上に早いタイムが出てホッとしたし嬉しかったです。

次は段ボールハウスです。段ボールハウスを作るのは自分が思っている以上に大変でした。同じ班の人と話したり仲良くなれるか心配でした。でも、相手の子から話しかけてくれて、話していくうちに仲良くなれました。

今回、初めて徳島県に行きました。阿波踊りを見たのも初めてでした。みんな動きは揃っていて感動しました。自分で踊ってみたときは、踊り方を教えてもらってもプロの人のように手などまっすぐきれいには出来ませんでした。

この３日間良い経験になりました。３日間楽しい思い出しかありません。本当に楽しかったです。

23 Risk Watch Yokohama Fire Team

神奈川県横浜市

全国の仲間と同じ想い出ができる奇跡に感謝！

Risk Watch Yokohama Fire Team は、中学２年生８名、中学１年生３名、６年生２名、５年生１名、４年生２名、３年生１名の 17 名で活動しております。訓練や活動場所を南消防署様、六ツ川出張所様にご協力いただき、任意団体として活動いたしております。明るく元気で素直な子供たち。この全国大会の経験は、必ず子供たちの心にいい影響を与え、将来の糧となると信じて、未来を楽しみに。

石の上にも３年だ！

指導者　奥田 悦子

どんなことにも“初めて”がある。子どもたちに正解が一つではない勉強や、たくさんの経験から豊かな心を育んでほしい。そう思いながらも大きな不安を同時に抱えながら結成したファイヤーチーム。この全国大会が一つの目標となり、私を支えてくれました。全国に仲間がいる！困っていることを相談したり、また会えたね！と喜んだり、新しいご縁をいただいたり。チームが何とか３年目を迎え、３度目のチャレンジで成績もアップ！何物にも代え難い大会に心から感謝！

奥田 夏七斗

中学２年生になり、野球も頑張っているけれど、全国大会にも出たいと思い、参加できることになってうれしかった。３年連続一緒に参加できた仲間もいて、いい順位を目指したら今までで一番いい１８位になれました。大会に慣れてきたと思ったけど、ダンボール避難所は、夜寒くて眠れなかったから本当の避難所で過ごさなくてはいけない人たちはとても大変だと思った。来年、参加できることになったら１０位以内に入れるように頑張りたいです。

初めての大会

田邊 慶次

初めての大会で少し緊張した。でも、他のチームの人と仲良くなれてよかった。結索は、たくさん練習したから、自信があった。午後の結索は、巻き結びをうまく早くできてよかったしうれしかった。午前は、他のチームの人を見てイメージトレーニングをした。最後の５人目でホースをつないで走るだけだから簡単だと思っていたらホースをつなげるのが思ったより難しくて少しあせった。でも楽しくできてよかった。来年は今年よりいい成績が出せるようにたくさん練習していきたい。

初めての全国大会出場

成瀬 朱里

私は５年生で初めて全国大会に出場しました。最初はすごく緊張したけど、いざ本番になると緊張がとけて普段やっているようにできました。もやい結びは初めは六秒や、五秒もかかってしまっていたけれど、大会のためにたくさん練習をしたら、三秒でできるようになりました。また、大会で重要な指揮者という役目をがんばりました。あと、消火器でまとを二つとも倒すことができたので良かったです。来年は今年より良い結果になるようにがんばりたいです。

3 回目の大会

檜山 宗一郎

小６の時から参加して、今年で３回目の大会でした。前から知っている選手もいましたが、知らない選手も多く、自分たちが年上になってきたことを実感しました。結果は今までで一番いいものでしたが、あまり喜べませんでした。本当はベスト 10 を目指していました。

来年は出られるかどうかわかりませんが、もし、チャンスがあれば、ひとりひとりの力を高めていきたいです。普段の生活や部活動などで体力をしっかりつけていきたいです。

令和元年度全国少年消防クラブ

長谷 悠冶

ぼくは、全国少年消防クラブ交流大会に行ってこんなにたくさんのチームがいるのかと思いました。クラブ対抗リレーでは、はしごをのぼったりボウリングのピンを倒したりと、色々なところがあってすごいと思いました。ほかのチームを見ていると、すごくいい走りのチームがいて、こんなに早いチームがあるのだなと感動しました。クラブ対抗障害物競争では、ハードルを飛びこえてホースを下にくぐらすという作業を簡単にできたチームもいたから感動しました。

徳島県全国大会

原田 竜大朗

ぼくは、初めて全国大会に参加しました。不安だったけど、みんなが優しかったのでうれしかったです。北海道チームとのリレーでは巻き結びのロープが固くて難しかったです。勝てなかったけどみんなと力をあわせてがんばったので楽しかったです。ダンボールで作った家は固くて寒くてよく眠れなかったので避難所でねる人たちは大変だということがわかりました。友達がいっぱいできて防災についてもたくさん学べてとてもよい体験ができました。

24 大和市少年消防団

神奈川県大和市

臨機応変に立ち向かえ！力を合わせて勝ち取ろう、全国優勝！

大和市少年消防団は市内在住の小学生４年生から中学３年生の児童及び生徒で構成され、２１１名の団員と２６名の指導員で活動しています。猛暑に負けず訓練を重ね、大会の結果以上に友情や団結力の大切さなど、得られたものは多くありました。この経験を他の団員に伝え、優勝できるよう日々訓練に取り組んで参ります。

熱い夏

指導者　平岩 健

時代は令和に移り変わり初めて迎えた夏、大和市選抜の５人は大会へ向けて訓練を積み重ねてきました。『全国優勝』という目標を掲げ、日々猛然果敢と訓練に取り組む姿には気迫がみなぎり、秩序立てて作戦を練る姿からは、大人へ成長していく過程の一端を垣間見た気がします。このような機会を提供してくださった消防庁はじめ関係機関の皆様に感謝を申し上げると共に、本会の益々の発展を祈念致します。

子供たちが学んだこと

指導者　松井 康浩

「全国優勝」という目標を子どもたちが立て、本気で優勝を目指して訓練に臨んでいました。思い通りの結果とはなりませんでしたが、子どもたちはここまでに至る過程の中から多くのことを感じ取り、成長しました。子どもたちがこの交流会で学んだことを今後の自分自身の人生、家族や友人のために活かしていってもらえればと願っています。

悔しくも、誇らしい結果

横山 大地

僕自身は初めての交流会。楽しかったこと、嬉しかったこと、色々なことがあり、それぞれから学ぶことがありました。中でも一番は「チームワークの大切さ」です。チームワークがあってこそ、３位入賞がとれたのだと思います。本当は優勝を目指していましたが、今回は悔しくも誇らしい結果だったと胸を張って言える気がします。

徳島で学んだ仲間の大切さ

藤井 千裕

今回の大会で、僕の所属する大和市少年消防団は、53 組中で３位という成績を収めることができました。入賞できた理由として、チームメイトの協力や仲の良さがあると思います。練習の時、僕が失敗すると「大丈夫だよ、また頑張ろう」と励ましてくれました。そう言ってくれるたび、良いチームメイトと出会えたなと思い、友達の大切さを実感しました。また、徳島の芸能鑑賞や町並みも堪能でき、良い体験ができました。

入賞して思う事

松永 祐里杏

今回３位になれて思う事は嬉しいという気持ちが大きいけれど、やはり優勝を目指していたところから、とても悔しい気持ちもあります。しかし、今回初めて出場してきつい練習にも耐え、協力し全員が全力を出せたのはとても良かったと思います。そして来年出場する人にもこの感動を知ってほしいと思います。

全国少年消防クラブ交流大会を通して

湯川 稔己

全国少年消防クラブ交流大会で、僕は日本の小中学生の仲間がたくさんいると実感できて、とても心強いです。６月から７月にかけて計６回の訓練でした。この回数でできるのか不安でしたが、コンディションは最高でした。とても有意義な時でした。

佐潟君体操

佐潟 暖仁

僕たちは、今回の大会で３位の成績を収めることができました。それは、いつもの練習のおかげだと思います。一番は、毎朝行った「佐潟君体操」だと思います。毎朝、奇想天外な体操を考え、これによってチームの団結力が高まり、今回の３位入賞につながったと思います。そして、応援してくださった方々、徳島の皆さんありがとうございました。

25 豊田市立御蔵小学校少年消防クラブ

愛知県豊田市

たくさんのことを学んだ３日間

御蔵小学校は、豊田市の北部（山間部）の足助地区にあり、自然に恵まれた地域です。足助地区の中心には、紅葉の観光地で有名な「香嵐渓」があります。１１月になると県内外から多くの観光客が訪れて、賑やかになります。

豊田市の小学校には、各小学校に少年消防クラブがあり、5・6年生児童がクラブ員として活動を行っています。御蔵小学校少年消防クラブでは、地元の消防団の方にも協力していただき、訓練を重ねてきました。

様々な経験をもとに

指導者　加藤 翔太

今回初めてこの全国交流会に参加し、全国の少年消防クラブの現状や活動について知ることができ、子どもたちだけでなく、自分自身も多くのことを学ぶことができました。今回参加するにあたり、市の消防本部の方や地域の消防団の方にたくさんのご指導をいただきました。子どもたちは、今回学んだことが人の命を守ることにつながることを実感し、明日からの生活に役立てようとする気持ちが強く伝わってきました。とても貴重な経験をすることができました。

身についた技

安藤 真子

私がこの交流会を通して一番心に残っていることは、２日目の合同訓練です。障害物競争では、一緒に競走したクラブに勝つことができました。私はロープ結索でもやい結びを担当しました。練習のときから、どうしたら早く結ぶことができるかを考えて練習してきました。本番では緊張していつもより時間がかかってしまったけど、５人で協力してゴールすることができて良かったです。今回学んだことを忘れずに、これからの生活に生かしていきたいです。

段ボールハウス作りで学んだこと

香月 碧心

私が一番思い出に残っていることは段ボールハウス作りです。私は初め、段ボールで人が寝られるなんて思っていませんでした。でも、作り方を教えてもらって、同じグループの子と協力して上手に作ることができました。完成した段ボールハウスで他のクラブの子と楽しく交流することができました。そして、寝心地も良く、ぐっすりと寝ることができました。私の住んでいる地域でも、いつ災害が起こるか分かりません。災害が起きたときには今回の経験を生かしたいと思いました。

協力することの大切さ

北野 日菜多

私が一番心に残っていることは、段ボールハウス作りです。この段ボールハウス作りは、同じ班のメンバーで協力して作り上げるものです。初めて会った子と一緒に段ボールハウスを作りましたが、作業をしているうちにみんなと仲良くなり、段ボールハウスを完成させることができました。この交流会を通して、みんなと協力することの大切さを知りました。今回学んだことをこれからの生活に生かしていきたいです。

二度目の交流会に参加して

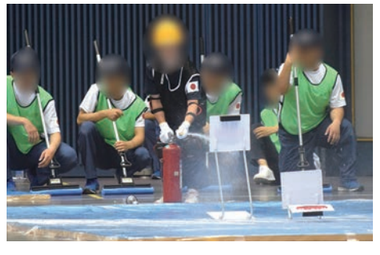
神山 裕郁

ぼくは、昨年に引き続き、今年も全国交流会に参加しました。ぼくが今年の交流会で心に残ったのは、競技会で行った障害物リレーです。ぼくは、最後のロープ結索で、プルージック結びを担当しました。たくさん練習してきたので、本番では、スムーズに結索することができました。今回の交流会を通して、地域の安全を守ることの素晴らしさを学びました。ぼくも将来、地域の安全を守れるようになりたいです。

たくさんのことを学んだ交流会

前田 有彩

私は、この全国交流会を通して、多くのことを学びました。被災地体験を行って、実際に災害が起きたときにどのような生活をしているのかを体験することができて、災害にあった人たちがたくさんの苦労や、大変な思いをしていたのだということが分かりました。段ボールハウス作りでは、同じグループになった人たちと協力して、段ボールハウスを作ることができました。みんなで一つの空間で話したり寝たりして、とても楽しかったです。



26 尾張旭市少年少女消防団

愛知県尾張旭市

一期一会！少年消防クラブ交流会を終えて

尾張旭市少年少女消防団は平成２５年４月に結成し、現在、５６名で活動しています。代表して参加した５名は、初めは少し緊張しておりましたが、全国から集まったクラブ員の皆さんから元気をもらい、いつも以上に活発に活動できた３日間であったと思います。この交流会でたくさんの人と交流し、みんなで協力して目標を達成した思い出や経験を生かし、将来の防災の担い手として、今後も頑張っていただきたいと思います。

少年消防クラブ交流会を終えて

指導者　楠浦 崇史

今回、少年消防クラブ交流会に参加した５名は、一か月という短い訓練期間でしたが、大きな失敗もなく、訓練の成果を発揮してくれました。訓練だけではなく、初日の交流会や避難所体験により、全国のクラブ員と交流を深めることができ、貴重な経験ができたと思います。この経験を活かし、今後も将来の防災の担い手として、消防団活動に取り組んでほしいです。

他のクラブの活動内容なども知ることができ、指導者としても学ぶことが多くあり、本市の少年少女消防団をより良い消防団にしていきたいと思えるきっかけになりました。

子供達が繋ぐ防災の輪

指導者　服部 和樹

少年消防クラブの全国大会を通じて、様々な地域の子供達と交流し、その地域の実情に即した防災に対する取組みや姿勢を肌で感じ、当市の子供達にとっては大きな刺激になったと思います。また、競技で切磋琢磨する子供達の姿や、段ボールハウスづくりで他県の子供達と瞬時に打ち解けて協力する子供達の姿を見て、とてもたくましく感じました。

そして、この子供達の活躍は地域を動かすエネルギーであり、防災の輪を地域から全国へ広げていく鍵になる素晴らしい存在であると改めて今回の交流会を通じて感じました。

全国交流会に参加して

川原 颯真

一日目は徳島グランヴィリオホテルで、クラブ紹介と地元芸能「阿波踊り」を鑑賞し、他の県の団員と交流することができました。二日目の段ボールハウスでは、作るのが不安だったけど、地域の消防の人に助けてもらい、意外と簡単に作れました。朝起きると腰が痛くなりました。こういう生活を避難所の人たちはしているのだと思いました。この三日間貴重な体験ができ、心に嬉しく思います。しかし、体験した避難所生活はできればしたくありません。だから、災害は起きてほしくないものです。

消防クラブ交流会に参加して

杉江 優

私が今回徳島の 2019 年全国少年消防クラブ交流会に参加して、一番思い出に残っているのは、避難所体験です。段ボールハウス作りですが、結構難しかったです。初対面の人との共同作業なので、うまく意思疎通ができなかったですが、一緒に段ボールハウスを作る中で徐々に仲良くなり、段ボールハウスが完成する頃には笑顔でおしゃべりできるくらいに仲良くなることができました。また、初日の全国から集まった消防クラブの紹介は個性的で面白かったし、阿波踊りを至近距離で見られたのも貴重な経験です。今回得たものを防災や減災、避難所生活に少しでも役立てることができたらいいなと思います。

全国交流会

山本 雄大

ぼくは、この少年少女消防団全国交流会に行き、いろいろなこと、たくさんのことを全国交流会をつうじて、学びました。１日目はクラブ紹介を全国の人たちの前で行い、地域でなにをやっているかを発表しました。その後は、徳島の人たちが阿波踊りを見せてくれて、ものすごい迫力で、楽しかったです。２日目の合同訓練では、ミスをしてしまったけど、54 位中 22 位という好成績だったので、自分的にはいい順位かなと思いました。この全国交流会にいっていい経験ができました。この順位になれたのも仲間のおかげだと思いました。

最高の３日間

小山 紘輝

僕が交流会に行って一番楽しかったことは１日目の夕食です。その他には、２日目のアスティ徳島でみんなの訓練がすごかったことと、段ボールハウスでなかなか寝られなかったことです。３日目は段ボールハウスの同じ区画の人と少し話して仲良くなれたので良かったです。他の段ボールハウス作りを見に行くと、仕切りが高かったり、屋根もついていたりしてとてもすごかったです。合同訓練で自分たちのチームは練習よりうまくできたけど、ホースボウリングは練習ではストライクが多めにとれていたけど、ストライクじゃなかったので残念でした。３日間多くの人と交流ができてよかったです。

全国少年消防クラブ交流大会を終えて

川合 諒真

尾張旭市から交流大会に参加し、初めて徳島に行くので、行く前からどんな所なのだろうととても楽しみでした。移動時間が長くて改めて徳島は遠いんだなと思いました。二日目の段ボールハウスは特に印象に残っています。今回はとなりが友達だったので楽しかったですが、本当に災害が起こった時に知らない人が寝ることを考えると精神的にきついと思います。いつ起こるかわからない災害のことを考えると、逆にこわさも不安も増しました。でも交流会での経験を活かしていざという時のために物も気持ちも備えていこうと思います。交流大会はとても楽しかったです。

27 亀山市少年消防クラブ

三重県亀山市

はじめての全国！ ~ 緊張したけど力いっぱいがんばった夏~

当クラブは、平成 24 年 4 月 1 日に消防・防災に関する正しい知識と技能を身につけ、生命と暮らしを守ることの大切さを学ぶとともに、規律や防火マナー等を身に付けることを目的とし、設立されました。活動としては礼式訓練や水防訓練、救助訓練、防災キャンプ、着衣泳などを行っています。さらに、市内でイベントが開催される際には、防火広報等を行い、市内の火災予防の啓発を行っています。

また、平成 28 年度には優良少年消防クラブとして、消防庁長官賞を受賞しました。

来年にむけての思い

指導者　古川 良樹

初めて交流大会へ参加させていただきました。他県から集まった次世代の防災リーダーたちの明瞭で活気溢れるクラブ紹介、日頃の訓練の努力を窺い知ることができる迅速、的確なクラブ対抗リレーや障害物競走には大変感銘を受けました。我々亀山市少年消防クラブも、この徳島に集結した皆さんと競えるほどの力量を身に着けて、再び交流大会へ参加したいという思いがひしひしと湧いてきました。本当に良い経験をさせいただきありがとうございました。

子ども達の成長

指導者　後藤 祥太

亀山市少年消防クラブは初参加となるため、合同訓練の競技内容を行った経験はなく、子ども達に競技内容がうまく伝わるか心配でしたが、子どもたちは教えたとおり、競技内容を習得していきました。その成長の速さに驚かされました。

今回の全国少年消防クラブ交流大会では、良い結果を残すことはできませんでしたが、避難所体験や、全国の少年消防クラブと交流した経験が、子ども達のこれからに役立ってくれれば幸いに思います。

緊張の中の全国大会

堀 栞菜

全国少年消防クラブ交流大会に参加して、二日目の合同訓練では、他のチームのロープ結索やホース結合などの速さと正確さにとても驚かされました。負けて悔しい気持ちより、ただただびっくりするばかりでした。そんなチームの方々と交流できて緊張もありましたが初めての経験をたくさんさせていただいて楽しい三日間でした。

そしてこの先のクラブ活動に少しでもこの経験をいかしていければいいなと思います。

全国の仲間との出会い

渡邉 太智

広い会場や全国から集まったクラブ員の多さに、最初はとても緊張しましたが、仲間と一緒にいろいろな貴重な経験ができました。

特にクラブ対抗の競技は、良い順位じゃなく、くやしかったけれど、自分なりに力を発揮できたと思います。また、避難所体験では床が硬いので体が悲鳴をあげてとても痛かったです。避難所での生活は辛い思いをするのだなぁと思いました。

そして、少年消防クラブは亀山市だけじゃないことを知りました。全国にはたくさんの仲間がいて、そのクラブによって活動内容が違います。なかには、亀山市でもやってみたい訓練もありました。ほかにも、徳島の名所を見学したり美味しい料理を食べたり、一緒に行った仲間とたくさんの楽しい思い出ができました。

全国思い出

岡 寛史

徳島にいける、全国大会に参加できると決まった日からぼくはとてもたのしみでワクワクがとまりませんでした。徳島にいくのはもちろん、全国大会に参加できるのは初めてで、しかも、亀山市からも初めての参加という事をきいてぼくはさらに嬉しくなりました。

一番思い出に残った事は、みんなで組みたてて寝たダンボールハウスです。テレビでは見たことはありましたが、実際にそこで寝てみると、隣の人の声が聞こえたりして寝れませんでした。

仲間との絆

赤松 啓登

私は大会で、クラブの代表として精一杯がんばりました。とても緊張しましたが、一緒に出場していた仲間がとても頑張っていたので、私も頑張らなければと思って競技しました。転んでしまいましたが、仲間が応援してくれたので走れました。結果は少し残念でしたが、みんなで協力したので良かったと思いました。短い期間でしたが、違う少年消防クラブと仲良くなれ、代表になってこの大会に行き、貴重な体験ができてよかったです。

避難所体験で

宮本 幸祐

全国少年消防クラブ交流大会に参加して、ぼくが一番印象に残ったことは、口腔ケアのところです。なぜなら、災害時に口内を清潔に保てないと、誤嚥性肺炎や、肺炎にもなると聞いて驚いたからです。災害の時など、水が少ないときの歯の磨き方もあって、便利だなと思いました。

また、避難所では、たくさんの人と一緒になります。段ボールハウスを作って、空間の狭さや、生活行為の不便さなどを知ることができて良かったです。

あと、みんなでした訓練はとても楽しかったです。結果はあまりよくはなかったけれど、ロープの結び方を教えてもらえたり、みんなで力を合わせて出来た事はとってもよかったです。

28 城陽少年消防クラブ

京都府城陽市

貴重な体験、学びと感謝の３日間

城陽少年消防クラブは、市内在住の小学校４年生から６年生がクラブ員としての資格を有し、現在、１７名のクラブ員が火事のない社会づくりに貢献することを目指し、防火教育や厳しい規律訓練に取り組むとともに、様々なイベントを通して親睦を深めています。今回の交流会には代表として６年生３名、５年生２名の５名が参加しました。

競技への真剣な取り組み

指導者　乾 茂樹

交流会に参加することが決まり、競技練習を通してチームワークの大切さと競技への真剣な取り組みで多くの事を学んだと思います。大会では大きなミスも無く、練習の成果が発揮でき、選手達も成長したと感じられます。

避難所体験では、日ごろ体験できない知らない人達との交流を通じ、避難所設営の難しさや人との交流の大切さを知ったと思います。今後彼ら彼女達が、地域の防災の中心的なリーダーとなってくれる事を期待します。

大会を終えて

指導者　大杉 祐也

クラブ員５名については、今回の交流会を通じて他クラブのクラブ員と交流できたことは貴重な経験となり、また合同訓練本番では緊張感もありながら、真剣な表情で力強く競技を行い、終了後の自信に満ちた表情からクラブ員の成長を感じることができました。また私自身も大会中、全国の少年消防クラブの活動状況など消防局・本部の方等に話を聞くことができ貴重な場となりました。交流会で得た経験をクラブ員とともにクラブに還元していきたいです。

交流会に参加して

小縣 葉月

はじめ交流会に行くとなった時緊張していたけど、他のクラブ員の人たちがとても優しく接してくれてとても楽しかったです。

ダンボールハウス作りではみんなと協力して楽しく作れたので、もし災害が起こったりしたら避難所で作るとなったら教えてあげたいと思いました。

交流会に参加して学んだこと

中谷 琉聖

ぼくは、７月 31 日から８月２日に消防クラブでの全国大会に参加しました。ぼくは、今回の経験を通して学んだことがあります。それは、協力です。競技のリレーの時にみんながすばやく行動して協力できたのが前回よりもいい成績につながったんだと思います。避難所体験でも他のクラブの人達と段ボールハウスを協力して作ったり楽しかったです。参加する前は不安でしたが、参加して良い経験になり楽しかったです。

ドキドキワクワク全国交流大会

熊谷 沙絵

全国少年消防クラブ交流大会に行きました。行く前は、知らない人ばっかりで、緊張したけど、喋りかけてきてくれたり色々な話をしてくれたので楽しかったです。競技では、ちゃんとできるか心配だったけど最後まで、ちゃんとできて良かったです。上位は、無理だったけどちゃんと、最後まで出来てホッとしました。ダンボールハウスや椅子、トイレなどの作り方や口のケアの仕方も教えてもらったので、災害が起こった時に役立つので覚えておきたいです。このような経験が出来て、良かったし、楽しかったです。

また行きたいな、交流会

藤田 敦貴

ぼくは、この交流会で一番楽しかったことは、各クラブ紹介です。それは、いろいろな所から集まってきた、クラブ員の人たちの紹介を聞けたし、そのなかのおもしろい人たちの紹介を聞いてお腹をかかえて笑ったからです。それにぼくがクラブ紹介の時に読む文が長くてクラブ紹介の時に言えるか不安だったけど原稿用紙を見ずに言えたからです。競技では勝てなかったけど、とっても楽しい交流会でした。また機会があれば参加したいです。

楽しかった交流会

織田 侑樹

ぼくは、競技が始まるまでは、少し緊張していたけれど、やってみるとだんだん楽しくなってきました。失敗をしないように気をつけて本気を出してがんばりました。どこのチームの競技を見ていても、やはりチームワークが大切だと思いました。この三日間でとくに印象に残ったのは、ダンボールハウス作りです。なぜなら、普段は出来ないことだからです。組み立て方や過ごし方をしっかり学べました。他のチームの人達とも協力し合って思っていたよりいいダンボールハウスを作ることが出来ました。この三日間の交流会を振り返って思うことは、自分のチームも他のチームもみんなで一緒になって楽しめたことが一番良かったです。参加できて本当に良かったです。いい思い出になりました。

29 河南町ファイアジュニア

大阪府南河内郡河南町

一生忘れられない夏を徳島で

河南町ファイアジュニアは平成２３年１１月に発足し、中学３年生から小学４年生まで総員１９名（平成３１年４月時点）のクラブ員がいます。今回の徳島県徳島市で開催された交流会には、参加希望者多数のなか、クラブを代表して中学１年生２名、小学６年生１名、小学５年生２名の男女５名が参加しました。

出会いは成長の種

指導者　立華 良太

毎年参加させていただいているこの全国大会ですが、毎年新しい経験を積ませていただいています。子どもたちがこの３日間という短い期間ではあるものの、全国の同じ少年消防クラブのメンバーと交流し、何かを吸収して、成長してくれる姿を見ると、改めて全国の仲間との「出会い」の大切さを感じます。この出会いや経験が将来、子ども達の力となって、消防・防災分野やその他様々なところで活躍してくれることを願います。

全国交流会に参加して

指導者　海谷 奈央

指導者として初めて参加させて頂きました。団員達は競技会に向けて協力しながら練習を重ねており、頼もしく感じました。本番でもそれまでの成果を発揮できていたと思います。また、団員達にとって、全国の消防少年クラブの皆さんと交流できたことは、貴重な経験になったと思います。私自身もこの３日間で学ぶことが多く、とても良い経験になりました。今回の経験を今後に活かしていきたいと思います。

交流大会

立蔵 陽斗

僕にとって、交流大会はとてもいい思い出になりました。2 日目の全国大会ではチームのみんなと協力し競技に参加しました。結果は25位という成績ですが、僕は順位関係なく、みんなで協力して楽しめた事がとてもうれしかったです。

そして、大会が終わると段ボールハウスの時間です。初めは緊張して一緒に寝る子ともあまりしゃべれなかったけど段ボールで色々な物を作っているときにはもうしゃべれるようになりました。そして、とてもぐっすりと寝れました。3 日目帰る時は、ちょっといやだったけど楽しめてよかったと思いました。

この 3 日間とても楽しくチームの子とも仲良く出来たのでよかったです。

交流会に参加して

植野 智尋

この交流会で大切だったことは、仲間とのチームワークです。ダンボールハウスを作る時でも最初は、周りがほとんど知らない人ばかりでどうすれば良いか、わからない時もありました。しかし、作っている途中からは、コミュニケーション力のおかげかしだいに、親しんできたりしました。

ほかにも、ダンボールハウスでは、実際の避難所生活の体験ができました。普段の中では、することがないのでとても貴重な体験ができて、とても良かったです。大会では、中学生もいて、差がでそうだなぁと思いました。しかし、当日では小中学生関係なかったです。

今回は25位でした。中々悔しかったです。ですがまぁ交流会が楽しかったので良かったです。次からは 1 位を目標にして頑張っていきたいと思います。

みんなとのきずな

山口 晴輝

僕は初めての消防の全国大会に選ばれました。最初はうれしかったけど、だんだん緊張してきて心配だったけど初めての練習でみんなが色々アドバイスをしてくれたおかげで、自信がわいてきました。

大会前日、みんなが大人の人と一緒に宿泊地までバスや電車などで行くのはとても楽しかったです。なぜかと言うとそれはみんなと色んな事をしゃべったり、遊んだりしてとても楽しかったです。大会前日はファイアジュニアのみんなときずなや信頼が深まったような気がします。大会当日、僕たちが頑張ってきたことを全部出す日です。最初みたいに緊張して、体がカクカクになっていたけど、なんだかみんながいるとなんでもできるような気がしてきました。結果は 25 位だったけれど、結果がすべてではありません。僕達がきわめたきずなを何かに役立たせたいです。

みんなと過ごしたダンボールハウス

秋山 翔吾

ダンボールで作ったハウスは、良くできてうれしかったです。ダンボールの家をみんなで作ってきずなが深まりました。液体はみがきの使い方も教えてもらいました。地震の時、液体はみがきを使うと大切な水が減るのを防ぐ事ができます。ダンボールハウスは、寝にくかったけど災害の時には、不安でもっと寝にくいと思います。本当に避難しなくてはいけなくなった時、この事を思い出し、いかせると良いなと思います。

思っていたよりすごかった…

郝 朝妃

7 月 31 日から 8 月 2 日まで、徳島県で大会がありました。わたしは、はじめて徳島県に行くので、どんな所かなって思っていました。徳島県についたら、予想していたよりもきれいでびっくりしました。何時間もバスに乗って 2 時間ぐらいでホテルにつきました。ホテルも思っていたよりきれいでびっくりしました。ホテルについたら着替えて、夜ごはんを食べました。食べ終わったらみんなで、阿波踊りをおどりました。思っていたよりむずかしかったです。8 月 1 日に大会がありました。大会の会場がとっても広くてびっくりしました。大会が終わって、1 位は千葉県でした。くやしかったです。自分たちは 25 位でした。もっと上のほうだと思っていたからくやしかったです。来年は 1 位を取りたいです。それに、家族で徳島県に行きたいなって思いました。

30 魚崎ジュニア防災チーム

兵庫県神戸市東灘区魚崎町

初めての体験！　～頑張っている仲間とのふれあいに感謝～

魚崎ジュニア防災チームは、神戸市立魚崎中学校にて 2017 年に募集を行う。最初は１７名の応募があり魚崎町防災福祉コミュニティと共に活動してきた。現在は３７名が在籍。チームメンバーは、「自分の命は自分で守る」こと、災害時には自分が犠牲になるのではなく、声掛けをしながら、率先して避難行動をとる。人と人、顔の見える関係を築く。自分は学生であり、しっかりと勉学にはげみ、クラブ活動も行うことを基本としている。

指導者　明珍 信宏

この大会は子供たちの成長過程に大きなきっかけ作りになっている。昨年度参加した生徒たちは大きく成長した、地域とのつながりも行えた。大会において消防活動の体験を通じて協同で対応、他府県の同世代の子どもたちとの会話、段ボールハウスでの一晩、すべてが子供たちにとっては未知の体験である。そして、考えることも培われてきた。わずか３日間だが印象は強い、将来は地域リーダーに育ってもらえることを期待したい。

多くのふれあいと体験

指導者　植村 薫

魚崎ジュニア防災チームは、女子５人組という珍しいチームでの参加。私は主に彼女たちを見守りでの参加でしたが、懇親会や競技中には他チームの指導者の方たちとの会話、楽しい時間を過ごしました。段ボールハウスでの一夜は、予想外に寒さとの戦い。一緒に寝た子どもたちと「今度は仕切りや掛け布団を作ろうね」とプチ反省も。不自由な生活に生かせる小さな知恵を蓄えていくことも備えの一つだと思うので、よい経験になりました。

初めての大会で忘れられない経験

宮本 奏愛

大会に出てとても良い経験をしました。大きな体育館で寝たり走ったり観覧したりと初体験。さらに徳島阿波踊りを近くで直に見た時は迫力があって感動しました。そして、何より一番良かったのは何人もの友達ができたこと。自分は人見知りで話が合わないと相手を遠ざけてしまうのですが、５人以上も友達ができ、皆優しく本当に大会に出たこと良かったと思います。この大会を通して学んだことを私の生活に役立てたいと思います。

貴重な体験を通して……

雨宮 茉那子

大会に出場できたこと貴重な体験になりました。代表選手に選ばれたとき、本当にできるのか不安でしたが、仲間と助け合うことで、段々自信が持てるようになり、仲間の大切さを改めて実感できました。避難所では想像以上の過ごしにくさも経験。災害時は、もっと大変だと思います。もっともっと一人一人が防災意識を持って欲しいです。私はこの貴重な体験や学んだことを積極的に発信していけるように精いっぱい頑張っていこうと思います。

全国交流会に行って

大田 万紘

私は、大会へ参加しました。そこで印象に残ったことが３つあります。一つ目は合同練習。行く前にたくさん練習したのに他のチームと比べると真ん中ぐらいの成績、とても驚きました。二つ目は避難所訓練。段ボールハウスを作り、違う地域の方々と寝ました。いろいろと話ができて楽しかったです。三つめは消防団の方々との交流会。山火事での消火活動の体験話等は興味深く、良い経験になりました。すべての体験が面白く楽しかったです。

全国大会

植村 碧月

私たちは初めての全国大会で３２位になりました。練習が数回しかなかったのに３２位になれたのは、チームのみんなが真剣に練習を行い、どうすれば早くゴールできるかを考えて、本番まで改善を重ねた結果、この成績だと思います。来年は今の１年生が全国大会に出るので、今回の大会の内容を伝えて次の大会に役に立てて欲しいです。

全国大会で学べたこと

山本 未沙希

私たち、魚崎ジュニアチームは防災の全国大会に出場しました。防災について深く考え大切なことや辛いことまで学べましたが、特に心に残っているのは段ボールハウスです。初めから班の皆と作り、そこで寝ました。その時は協力の大切さ感じることもできましたが、もしも何かが起こったらと考えるとすべてが大事なことばかりと感じました。でも、その時は自分から皆の役に立ちたいと全国大会に出場して思うことができました。

31 ひよどり台防災ジュニアチーム

兵庫県神戸市北区

可能性を求めて！

私たちのチームは、平成７年の阪神淡路大震災を教訓に神戸市の防災福祉活動に連動し設立された地域自主防災組織が育成しているチームで、地域内の小中学校の子供たちが参加しています。その活動は、学校のご理解のもと毎月１回の防災や救急に関する訓練講習のほか、地元商業施設のイベントのお手伝いも行っており、昨年度からは「認知症サポーター研修」を取り入れ「オレンジリング」を胸に、高齢者の安心を見守っています。

期待

指導者　明石 民雄

私たちは、地域組織強化につながるよう毎回メンバーを入れ替え交流会に参加しています。今回は男女夫々三名が事前練習で汗を流し大会に赴きました。大会規定の合同訓練では、一つひとつ自分の役割をこなすのはもちろん、アクシデント時は全員で支え合う事ができました。避難所体験では一緒になった他メンバーと「不自由な事柄」を話し合い、共同区画を作り上げました。今後、これらの経験を活かし「地域防災リーダー」への成長を期待します。

仲間達との交流

宮武 凛

大会初日の夕食の時、阿波踊りの踊り方を習い生演奏のなか、皆で踊ることが出来とても楽しかったです。二日目の合同訓練を無事終了の後、避難所体験でダンボールハウスを他の地域の仲間と作ってみたいハウスを話しながら共同で作り上げて、とても貴重な時を過ごした。三日目は地元消防団の皆さんに色々な質問をして、丁寧に教わった事はとても良い勉強になりました。大会が終わるのは早かったけど、防災・減災に関しての学習が出来て、よかったです。

仲間達

福永 心姫

大会参加に向けて地域の公園で沢山の練習や、神戸市から一緒に参加する防災ジュニアの仲間達と合同練習をしました。初めは思い通りにならず、とても不安でした。だけど、判らない所があると仲間達が丁寧に教えてくれました。それでも合同訓練の時は、緊張で一杯でした。だけど終わった後は「無事に課題をやり終えた」と、達成感を覚えました。この大会で仲間達と協力し笑い合いながら過ごしたことが、今も心に残っています。

思い出

松下 海

交流会で色々なことを楽しく学びました。合同訓練で僕の担当は、リレー競争は第一走者の障害壁、障害物競争では三番員のホース延長とプルージック結びを受持ち、思う通りに出来たので嬉しかった。避難所体験で楽しかったのはダンボールハウス作りです。なぜかと言うと、異なるチームの仲間が一つの区画を共同で作り、それぞれの個室を作ったことです。僕の寝床は犬小屋風に作ったが、目が覚めたら違う所で寝ていた。事前練習を含めて、この大会で学んだことは忘れません。

徳島県

鳥居 寛樹

大会には学校代表の一人としての気持ちで参加しました。徳島県はとてもきれいな街でした。でも観光で来たのではありません。僕は気持ちを入れ直しました。でも合同訓練の前日の夜、興奮しすぎてあまり眠れませんでした。そして訓練の日、障害物競争で指揮者として先頭を切って飛び出したが、平均台では途中で転んでしまった。その転んだ痛みは今でも忘れられません。しかし、場内アナウンスで「わざわざ平均台の最初の部分から渡り直した。すごい！」と、言って頂いたので嬉しかった。

仲間

坂本 陽

大会で感じたことが二つあります。一つは、仲間の大切さです。僕たちは大会前から何回も何回も競技の練習を積んできて、全員が「頑張ろう」という気持ちを持てた事です。二つ目は、他チームとの事です。二日目の避難所体験では、初めて会った他地域のチームと一緒になり、ダンボールハウスを作る時、互いに色々と話合いをしながら作り上げた事が良かった。今回、この様な大会に参加でき、貴重な体験が出来たことは、嬉しかったし本当に良かった。

仲間達

藤原 雅

私のチームは小学生が私一人だったので上級生からよくお世話をしてもらい、三日間を無事に過ごすことが出来ました。大会の初日では、夕食でご馳走を一杯食べて阿波踊りを全員で踊ったことで、緊張がなくなりました。二日目は、合同訓練の順番を待っている時や避難所体験の時は、他のチームとお話しや名刺交換をして、とても心が和みました。この大会をとおして、協力・助け合い・人の優しさや、温もりの大切さを感じることができ、参加できてとてもよかったです。

32 東川崎防災ジュニアチーム

兵庫県神戸市中央区

全国交流会に参加して

阪神淡路大震災の教訓をきっかけに、行政、中央消防署、中央消防団の協力の下、東川崎防災ジュニアチームを発足させ将来の防災を担う子供達を地域防災力の向上に繋げようと湊翔南中学生を対象にした防災ジュニアチームを作り、毎月 1 回防災・福祉に関する訓練を行っています。平成 8 年 11 月に発足して今年度で延べ 463 名の修了者を輩出しています。周辺の町は高齢化が進んでおり、若い世代の参加を期待しているところです。又、普段は交流のない大人と一緒になって活動することは、良い社会勉強にもなっています。

全国交流会に参加して

指導者　山本 久計

今回の全国少年消防クラブ交流会は徳島県で 2 度目の開催でした。前回は平成 29 年に参加させて頂きました。前回同様、素晴らしい阿波踊りを見せていただきありがとうございます。今年は特に全国各チームのレベルの高さに感心いたしました。我が東川崎防災ジュニアチームも今年で 3 回目の参加となり、毎年順位を上げ今年は 11 位という好成績でした。特に、優勝された浦安市少年消防団は目を見張る様でした。我がチームも訓練を重ねて、1 歩でも近づけるように来年は最低でも一桁の成績を目標に頑張ります。最後に、大会の運営に当たっていただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

全国交流会に参加して

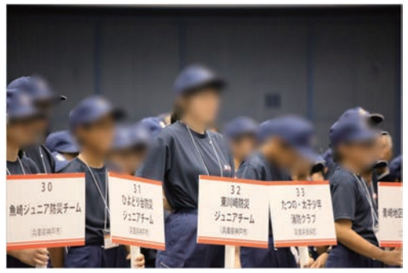
指導者　後藤 安啓

今回全国交流会 3 回目の参加ですが、私は初めての参加になり、ジュニアチームは計 3 回訓練を実施しています。訓練を指導し、隊員達が走っている姿を見ていますし、順位も年々上がっている事に感動しています。避難所体験で段ボールハウスの組立方法を学び、最初はぎこちない様子でしたが、なんとか組立てる事が出来ました。阪神淡路大震災を経験した私には、昔を思い出すものでした。隊員は 3 日間の体験で成長したように思われ、いい経験だったと思います。お世話になった皆様ありがとうございました。

交流会の全てに感謝

竹下 聖夏

交流会で得た大切なもの。まずは、チームワークです。今年はリーダーという立場もあり不安でしたが、強い絆が出来ました。初対面の人とも仲良くなれました。次いで、努力は実を結ぶということを実感しました。特に練習したホースボウリングでは全てのピンを倒すことが出来ました。この 3 日間の経験を今後の防災活動に生かしていきたいと思います。又、チームメイトに感謝すると同時に、いい夏の思い出が作れました。



防災ジュニアについて思ったこと

山田 智也

私はこの東川崎防災ジュニアチームに入って普段出来ないような経験や発見がありました。例えば、ロープの結び方、ホースの伸ばし方、消火器の取扱い等です。当初ジュニアチームに入った理由は友人に誘われ加入しましたが、今では自分がこのような活動が好きだということがわかりましたし、防災に興味が湧きました。又、交流会では他チームのチームワークが見れてよかったです。今後の活動に活かします。

大会を終えて

木村 謙治郎

最初で最後の全国大会は楽しかったです。大会で一番印象に残っているのは、段ボールハウス組立て訓練で、避難所での生活環境を体感できました。競技の順位は 11 位で満足しています。今後このような機会があれば参加したいです。

順位

上野 歩夢

私は、中学 1 年生の時に、東川崎防災ジュニアチームに加入しました。今年の目標は高く持とうという思いで「10 位以内」を掲げていましたが、実は「20 位ぐらいかな」と思っていました。結果は 11 位で、例年よりも好成績でした。全員が全力を出し切った結果だと思う。そして次は更なる記録を残したいです。

初めての交流会

井上 海人

1 年生から本大会に出場することが出来て嬉しかったです。最初は不安だったけど、やってみると楽しかった。来年も出場したいと思います。結果は 11 位だったけど、次回は 1 桁台入賞を目指します。

33 たつの・太子少年消防クラブ

兵庫県揖保郡太子町

全国の少年消防クラブ員と親睦を深めた３日間

たつの・太子少年消防クラブは、小学４年生から６年生まで 60 名のクラブ員と中学生 29 名のモデル生で構成されています。年間の活動は、消防・防災施設の視察研修や消防署での１泊２日の体験学習会、消防出初式に参加と活動を行っています。今回は、中学１年生４名と小学６年生１名の計５名で交流大会に参加しました。２年ぶりの参加でしたが、初めて体験することが多く、充実した３日間でした。

● 帰路の途中休憩「明石海峡大橋をバックに！」

５人の仲間たち

指導者　石堂 敏之

最初は、無口な５人でしたが、３日間の交流会を終え、帰路の車内では、５人が楽しく会話している姿が印象的でした。

競技の結果、入賞には手は届きませんでしたが、子供達の頑張っている姿は頼もしく感じました。５人が協力、助け合った経験を、今後の活動にも活かしていきたいと思います。

３日間の引率を通じて、指導者にとっても貴重な体験ができました。

クラブ員も指導者も成長

指導者　上田 裕司

恥ずかしさなのか…、暑さなのか…、元気がない５人。本当に大丈夫だろうか…と不安いっぱいで徳島入りしましたが、兵庫に戻る頃にはどこかに消えていました。練習でも見せなかった真剣な眼差し、結果を悔しがる顔、積極的に他のクラブ員と交流している様子、クラブ員の成長を日に日に感じることができました。合同訓練の結果も大事ですが、結果以上の“何か大切なもの”を一人一人が持ち帰ったと思います、指導者も得るものが多かった交流会でした。

全国交流会に参加して

稲田 香奈

徳島で過ごした三日間は、全てが初めてだったので、わくわく、ドキドキしました。他のクラブ員のみんなと仲良くなれるかとても心配でしたが、避難所体験で一緒に段ボールハウスをつくり、寝る前にたくさんの話をしてとても仲良くなることができました。

合同訓練は、53 チーム中 38 位という結果でしたが、私にとって一番の思い出となりました。

● 会場でお出迎え

全国交流会に参加して

三木 陽菜乃

全国交流会に参加して皆と力を合わせる大切さや、楽しさを知ることができました。

障害物リレーでは上位になることが出来なくて悔しかったけど、皆の気持ちが一つになって頑張った事はいい思い出になりました。また、２日目の夜に広島県のクラブ員と合同で段ボールハウスを作りました。形はシンプルでしたが、一緒に絵を描いた時はとても楽しかったです。段ボールで寝た事も貴重な体験でした。今回の交流会で学んだ事、体験したことを今後に生かしたいです。

● 段ボールハウス完成！一休み

全国交流会に行って

小田 壮次郎

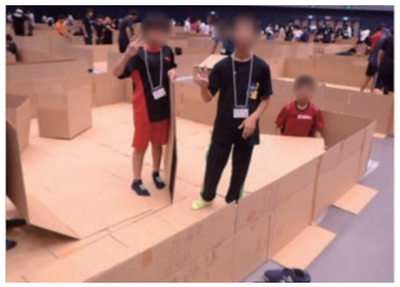
全国交流会は色んなことを体験できて楽しかったです。

特に２日目の避難所体験での段ボールハウス作りは、段ボール使って全国のいろいろなクラブ員と交流しながらハウスを作って、そこでみんなで寝たことがとても貴重な体験ができました。

徳島

小松 申典

２日目の合同訓練はとても緊張しました。避難所体験は、なかなか寝ることができませんでした。初めて体験することばかりでしたがとても貴重な３日間でした。



● 段ボールハウス作成中！

全国とつながった交流大会

小田 進太郎

全国交流大会で全国のクラブ員と交流できたことが心に残っています。

はじめは上手く話せなかったけど、だんだんと交流ができるようになりました。また、仲間と協力する大切さを学んだり、段ボールハウスでの避難所体験など、なかなか出来ない体験ができ思い出に残る３日間でした。

この３日間で学んだ事をこれからの生活に生かしていきたいです。

● 仲間と「ハイ・ポーズ」

● 消防団員の体験談に夢中！

34 青崎地区少年消防クラブ

広島市南区

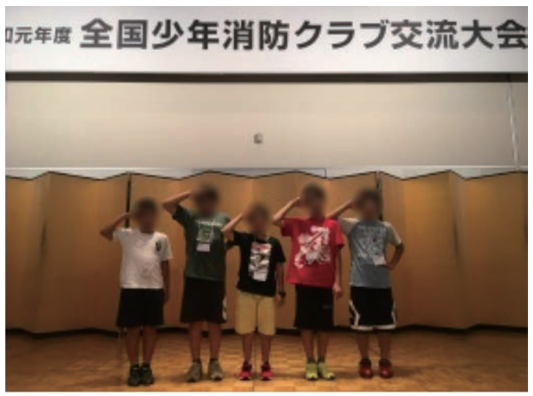
いい経験、ほんとに楽しかった、これを今後につなげるぞ

広島市南区青崎地区と向洋地区、ここは、広島市の南東、沿岸部の温暖な地。自動車のマツダ工場や昔ながらの住宅地に新興住宅地が開け、下町の良さを失わず、人情豊かな土地。生の消防署で、生の消防職員と触れ合い、時には厳しく勉強し、命の大切さと、災害や嫌なことは、他人ごとではない、自分の身にも降りかかることを伝え、その時、何ができる、無力さは当たり前、ほんの少しの言葉でも、ほんの小さな行動でもを目指して、子どもたちの興味をそがないように、純粋な心を大切に活動しています。

試練に立ち向かえる子に

指導者　関元 優子

少ない練習回数の中、不安いっぱいの参加となりましたが、持ち前の元気と明るさで互いに声をかけ合い、本番でもがんばることができました。また、徳島県小・中学校の災害訓練を聞き災害時に自分達は何ができるのかを考え、話し合う機会ができました。この貴重な経験を生かし、今後も元気に明るく前向きな姿勢で地域や社会に貢献できる子に成長していけるよう期待して見守っていきたいと思います。



● １日目夕食会「クラブ紹介」交流会で敬礼、明日からが楽しみ

全国少年消防クラブ交流大会

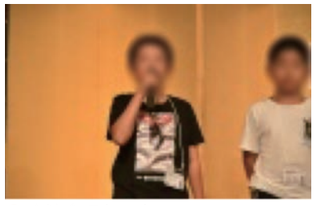
指導者　長岡 裕美

２泊３日で日頃できない経験を沢山させて頂いた事は、子供たちにとってとても良い思い出になったと思います。都道府県から集まり、友達ができた事、とても嬉しそうでした。今回の交流会には、６年生２名、５年生３名で参加し、事前訓練を重ねてきました。結果は、最下位から２番目でしたが、子供たちのチームワークは良くなりました。この経験は今後の活動にも活かして行きたいと思います。

経験を生かして

関元 駿

交流会二日目の競技では大きい体育館で、きんちょうして手がふるえました。失敗もしたけど練習したことを思い出してがんばることができました。徳島の小中学校の発表を聞いて次に広島に災害が起きた時にはこの経験を生かせたらいいなと思いました。災害が起きた時に自分がなにをすればいいのかを学ぶ良い機会になりました。



● 交流会であいさつ

楽しい思い出

松谷 友璃斗

全国大会での結果は、53 位中、51 位でした。けれど、今までで１番早くできて協力することができ楽しかったです。バイキングもありました。バイキングでは、色々なクラスと話せ、そして、おいしかったです。熊本県のひかり児童館少年消防クラブの５人とたくさん遊んで仲良くなりました。上位には入ることはできませんでしたが熊本県のクラブと仲良くなれて良い経験になりました。

● ひとこと挨拶

楽しかった交流会

長岡 絢斗

熊本ちゃんたちとおにごっこなどをして遊び、はじめて、県外の友達ができてうれしかった。

いい経験でした、生活に生かしたい

藤井 駿成

この交流会は、すごくいい経験になりました。特にダンボールハウスが良かったです。きちょうな体験ができてほんとうに良かったです。もし、ひ難所生活になったら、この経験を生かしたいです。１日目の交流会も、みんなと、仲良くできてうれしかったです。２日目の大会は、初めは、きん張したけど仲間と協力できてよかったです。この２日間で体験した事を生活に生かしたいです。

● 交流会であいさつ

あっという間の交流大会

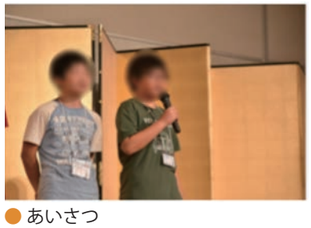
谷本 寿々

ぼくは、交流大会へ行って、熊本の人と鬼ごっこなどをして、一緒に遊んで友達になりました。名刺ももらいました。とても楽しい時間を過ごしました。でも、楽しい時間はあっという間に感じました。

また、６年生になって交流大会へ行くなら、ぼくは、練習では出来たのに、きんちょうして、おそくなった競技は、もっと一生けん命に練習をして、今度は絶対に勝ちたいと思っています。

今からたくさんの友達に会えるのを楽しみにしているし、また、楽しもうと思います。

● みんなよろしく



● あいさつ

35 比治山学区少年少女消防クラブ

広島県広島市南区上東雲町

初めてでも何度目でも目的は同じ！経験を次に活かし繋げる

広島市内には１６の BFC があります。其々歴史ある活動内容です。
比治山 BFC は子ども会や公民館グループにも所属しており地域に根付いた『まちづくり』につながる活動をしながらも研修や訓練を重ねて自然に防災への意識や自助力が身につくよう指導しています。
中学生は経験を活かし後輩へ助言できるように。高校生以上は講習をうけ指導者として育成します。

いまを大切に、夢にむかって

指導者　國澤 一世

環境の違う各地の部員さんたちが集う大会。想いや期待は異なっても帰るころには各々に成長を見せてくれる。感動の場面がいっぱいありました。笑った時間もたくさんあって楽しかったです。日々の積み重ねは無駄ではなく大会をこなせた自分を信じ将来の夢が叶いますように。
そして支えて下さったすべての皆様ありがとうございました。

初めての交流

岡嶋 大晟

ぼくにとっては初の大会・交流でした。最初は『みんな経験者だから自分はどうなんだろう』と思っていたけど意外に楽しむ事ができました。ロープ結索は日常使えそうで本結びやプルージックなどいざというとき役立つことなどを学びました。交流は、やっぱりなにより大切だなと思いました。ぼくはこの体験をこれからの日常にも野球にも生かしたいです。だから大会が終わっても続けてロープ結索など挑戦していこうと思います。

大会で学んだ事

上田 唯楓

今回の大会で学んだ事は『一秒の大切さ』です。
一秒の走り・一秒の動きがとても大切なことを学びました。また一秒差でランキングを落してしまうのでぼくは、一秒は大切だなと思いました。それから、他のチームとの交流などをしてこのような、なかなかできない事を体験させていただきとても良い事だなーと思いました。とてもいい二泊三日の大会でした。

自分に出来ること

宮本 拓人

昨年、ぼくが住んでいる広島で局所的大雨洪水災害を目の当たりにしました。災害に対して他人事であったぼくは災害はいつどこで起こるかわからないのだと実感し同時に恐怖も覚えました。避難所体験で気泡緩衝材を用いた段ボールハウス工作などを通して、自助・共助を基本とした防災や減災に関する意識が高まりました。近所の防災施設や設備を見て回り自分事として主体的に考えていきたいです。

大会での成長

田邊 葉一

僕がこの大会で成長したことは二つあります。一つ目は新しいことに挑戦するということです。新しいチームで初めての指揮者としての役割でチーム全体を見ました。そして、二つ目は目標をもって取り組むということです。
今まで先輩に頼ってばかりで目標をもっていませんでした。チームで上の学年という立場を意識し目標をもって何事にも取り組むことを学ぶことができました。

全国大会で学んだ事

上田 悠雅

ぼくが今回の消防クラブ全国大会で学んだ事は、仲間と一緒に行動できる楽しさと、災害が起きた際の生活の大変さです。ふだん寝泊まりなどしたことがない仲間と、三日も一緒に過ごしたことはとても楽しかったです。しかし二日目のダンボールハウスで生活したことについては、とても不便でした。この経験を今後にいかせるように、もっと災害時の準備や、動き方などをしっかり勉強していきたいです。

36 元宇品少年消防クラブ

広島県広島市南区元宇品町

全国交流会に参加し感じたこと～今年も出会いに感謝～

元宇品学区少年消防クラブは、広島市の南端、広島港に隣接する周辺を海に囲まれた国定自然公園の中に位置します。1980 年 12 月に少年少女の火災予防思想の普及と明朗健全、協調精神を醸成、育成に寄与する事を目的とし発足し来年で 40 周年を迎えます。

クラブ員は元宇品小学校の 3 年生から 6 年生の 44 名で活動しています。

広島市消防出初式では毎年、鼓笛演奏でパレードに参加しています。

有意義な 3 日間

指導者　岸 宏之

この度の全国交流会にあたり企画、運営頂きました関係者の皆様ありがとうございました。今年も心に残る大会になりました。初日の懇親会での阿波踊り迫力があり感動しました。2 日目のダンボールハウスでの避難所体験、中々眠ることが出来ず寝不足、避難所生活の大変さを実感！最終日のハウスの撤収でも注意事項にも耳を傾けず自分勝手に行動する指導者、集団での行動の難しさを実感。今年も学ぶことの多い有意義な 3 日間でした。

全国大会に参加して

指導者　寺本 有希子

今回、初めて全国大会に参加させて頂きました。

どのクラブの子ども達も、防災意識が高く、普段の訓練が行き届いた身のこなしで感心させられました。

大会の競技では、練習の成果を発揮しようと頑張る子ども達のひたむきな姿に感動しました。

この大会で、全国の隊員や指導者と交流し、多くの事を学べたことに感謝致します。

初めてのＢＦＣ全国大会

永尾 騎士

僕は、7 月 31 日から 3 日間、徳島県に行きました。

練習があまり出来なかったので、本番で失敗したらどうしようと思っていたけど、本番では緊張がほぐれて、自分の中での全力を出せたので良かったです。

ＢＦＣ全国大会で一番心に残っているのは、ダンボールハウスを作っている時です。違うクラブ員の人と協力して作り、そして作った後には、トランプで少し遊びました。それが一番心に残っていることです。

今回、参加していい経験が出来て本当に良かったです。ありがとうございました。

全国大会に参加して。

寺本 京介

今回の大会で心に残っているのは、クラブ対抗障害物競争です。ぼくはレース最後の筒先入れでした。レースは順調に進んでいたのに、自分の時に筒先がなかなか入らず負けてしまいました。みんなに悪くて近寄りづらかったけど勇気を出して謝ったら笑って許してくれました。

この大会でぼくは辛い思いもしたけど、みんなと楽しい思い出もたくさんできました。

この二泊三日の訓練や体験を生かしてこれからも活動していきたいです。

3 日間の思い出

岸 彩加

1 日目、クラブ紹介、多くの人前での発表、とても緊張しドキドキでした。

2 日目の合同訓練ではアンカーを任せられホース延長をしました。ホースと筒先の結合が出来るかとても不安でしたが、本番でスムーズに結合できホッとしました。障害物競走でもとても緊張しました。

3 日間での経験をこれからのBFC 活動で後輩たちに伝えていきたいです。

「精一杯頑張った全国大会」

今野 晶映

全国大会に行ってリレーの時、僕はボーリングでした。練習の時は上手くいかなかったけど本番ではストライクが出てとても嬉しかったです。負けてしまったけどみんな一生懸命できたので良かったです。結合も上手く出来、ロープけっさくも練習より早く出来ました。

段ボールハウスで作った家はなかなか寝られなかったけど、新しい友達も増えて良い経験になりました。今回の経験が役に立てたらいいなと思いました。

ダンボールハウスを作って

鈴木 ゆりか

私は、2 日目の夜に、ダンボールハウスを、知らない人達と一緒に作ることを知って、きちんと自分のクラブの事を話せるか、とても不安でした。でも、指導者の方や他のクラブの人たちがとても優しくて楽しくダンボールハウスを作ることが出来ました。そのおかげで、友達も出来ました。この三日間を通して、今までより、防災に関心を持つことが出来ました。

37 府中町少年少女消防クラブ

広島県安芸郡府中町

絆・感謝・挑戦

府中町少年少女消防クラブは、平成 10 年に発足し、今年で 21 年目になります。町内の高校生以下で構成されており、現在 32 名のクラブ員が所属しております。主に規律訓練や防火・防災教育について、年間 40 回程度行っており、将来の防火・防災の担い手となる人材育成を目的として頑張っています。

成長したクラブ員

指導者　浦田 義昭

私達のクラブは、この大会の為に真夏の暑い中汗だくになりながら二ヶ月間訓練を実施しました。

先輩の活躍を見てきた後輩達も負けない様な成績を残したいとの思いで、今年も頑張り又選手同士の絆も深まり協力しながら訓練に励み、総合９位の成績を残しました。

クラブ活動で団体行動などの意義、お互いに協力し合わなければ達成出来ない事を学びました。

これからも色々な経験をする事により、将来的に色々な場面で活かせられる人になってもらいたいと思います。

チームワークの大切さ

指導者　坂本 大和

私は交流会の訓練でクラブ員にチームワークの大切さについて学んでほしいと思い、臨みました。

いざ訓練をしてみると個々ではある程度できていましたが、全体で通すと良いタイムが出なくて伸び悩みました。しかし、クラブ員同士がコツなどを教えあっていて訓練はとてもいい雰囲気でできました。

大会では緊張していてクラブ対抗リレーでは思うような結果が出なかったですが、そこでみんなで声を掛け合って諦めずに障害物競走では第二位になることができました。この訓練で培ったチームワークを今後の活動に活かしてほしいと思います。

キャプテンとしての務め

妹尾 光晟

僕は、練習を重ねていく中でキャプテンとして声を出し一致団結できるよう雰囲気作りを心掛けてきました。練習を重ねる中でチームワークも良くなりました。障害物競争は、全体で２位ととても良かったのですがリレーでは、ミスが重なり 27 位でした。自分もしてしまいキャプテンとしてチームを１位へと導くことが出来ずとても悔しくやってしまったという気持ちでいっぱいでした。失敗したからこそ日々の練習の積み重ねが大事だと思いました。

今回学んだ、チームワーク、感謝、挑戦を今後の自分の人生の糧として活かしていきたいと思います。

諦めない心と絆

中野 翔太

今回の全国大会では、練習と違うところがたくさんあった中で、学んだことがあります。それは、諦めない心と絆です。僕たちのチームは、クラブ対抗リレーで、26位で、悔しい結果でしたが、障害物競争で、２位になれたので、諦めない心と、どんな状況でも励ましあえる絆を学びました。

今回はたくさんの方々のご支援で、このような良い結果が出せました。指導員、消防士、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

有意義な交流会

片山 陽音

今回、僕は去年に続いて二度目の交流会に参加させていただきました。二度目なので去年よりはリラックスして競技に参加できるかなと思っていましたが、いざとなると緊張感は去年とあまり変わりませんでした。

ただ、今回は去年にも増して周りの支えを感じ、感謝をする機会が多かったように思います。

交流会では、去年に引き続き９位に入賞することができ、自分にとって今後に活かせる経験が多くできた三日間でした。

お世話になった皆様、本当にありがとうございました。

貴重な体験

大西 みのり

私は、この交流大会で、たくさんの経験をさせていただきました。私はこの大会に出場したのは初めてで、入賞を目指していました。そのため、９位という結果はとても悔しかったです。

でも、いろいろな県の人と知り合えてよかったです。貴重な体験をありがとうございました。今後のクラブ活動に活かしていきたいです。

悔しく、楽しかった交流会

勝冶 柚香

全国大会の感想は、悔しかったということです。理由は、練習で出来ていたことが出来ずに、失敗してしまったからです。今思えば、あそこがダメだったと思うところがたくさんあります。

次に思った感想は、とても楽しかったということです。みんなで一日目の夜、遊んだことや、二日目の夜に他のクラブと一緒にダンボールベッドに落書きしたことが心に残っています。

結果は悔しかったけど、他のクラブとの交流も深まってとても良かったです。

38 厚南地区少年消防クラブ

山口県宇部市

徳島で得られた素晴らしい思い出、友人そして感動

厚南地区少年消防クラブは、昭和 55 年に発足し、現在、小学 1 年生から高校 3 年生までの総員 41 名のクラブ員で活動しています。

今回の交流会では、6 回参加した中で経験者のみ、中学生 5 人で気合を入れて臨みました。

6 月の終わりから交流会当日まで宇部西消防署員の方々の全面協力のもと週に 1 回、暑い日が続く中、事前訓練を重ねてきました。

その結果、4 位入賞することができました。

この経験を生かして今後も活動していきたいです。

6 回目の交流会に参加して

指導者　三戸 肇

今回で 6 回目の参加となる交流会です。毎回思うことですが、参加クラブ員達の一生懸命に取り組む姿、素晴らしいです。

クラブ対抗競技の上位入賞を目標に暑い中、消防署員の熱心なご指導のもと取り組み、お陰様で 4 位入賞という素晴らしい結果を残せました。

このことは、今回、参加したクラブ員達にとって良い経験となり、今後の活動に生かせるのではないかと思います。

感謝の交流会

指導者　川﨑 裕美

今回は、全員が中学生ということもあり避難所訓練では、他クラブの小学生をまとめリーダーシップを発揮することができました。また、多くの方と交流し全国に同じ志を持った仲間がいることを実感する有意義な三日間になったと思います。交流会を通して一回り成長した姿を見ることができました。消防訓練では、これまでの練習の成果を十分に発揮し、4 位入賞という快挙を遂げることができました。熱心にご指導いただいた宇部西消防署の方を始め、多くの関係者の方々のおかげだと心より感謝申し上げます。

努力すること

川﨑 光稀

私は、今回で 3 回目の参加でした。暑い中熱心に指導して下さった消防署の方々のおかげで今までで最高の 4 位という成績を残すことができました。本当にありがとうございました。交流大会では、避難所生活の大変さなど日頃経験できないことを学ぶことができます。今回は、実際の避難所で不安がいっぱいの中自分には何ができるのか考えながら生活することができました。自分ができることを常に考え、地域の防災の担い手となれるようこれからも活動していきたいです。

経験できたこと

川﨑 雄翔

僕は、今回で 3 回目の参加でした。今回の交流会では、避難所生活の大変さを改めて知ることができました。そして、人とコミュニケーションをとることや協力することの大切さも学ぶことができました。消防訓練では、4 位という成績を残すことができました。これは、暑い中僕たちに一生けん命指導してくださった消防署の方々のおかげです。本当にありがとうございました。今回経験したことを今後からいかせるように努力していきたいです。

令和初の全国少年消防クラブ交流大会に参加して

池永 竜樹

僕は 2 度目の参加でした。2 年前は人との交流があまり出来ず、悔いが残ったので、今回は積極的に行動し、交流することが出来ました。

また、合同訓練では、メンバーが一丸となって良い成績を目指し、練習しました。

体験や講習などこの 3 日間で災害時の行動について、再認識することが出来ました。

災害はない方が勿論いいですが、起きた時には、ここで学んだことを生かして、少しでも役に立つ行動が出来るようにしたいです。

交流大会で学んだこと

田辺 直也

僕は、今回の大会が 3 回目の参加でした。今回は、過去最高の結果が出せるように練習をしました。本番になると、緊張しましたが、競技をしてみると、自然に楽しんでいました。

この交流大会が終わってみると、いろいろな人からすごく支えられていることを学びました。3 日間楽しかったです。これからも、交流会で経験したことを生かしていきたいと思います。ありがとうございました。

全国交流会に参加して

山本 琢真

僕は、今回で 2 回目の参加でした。週に 1 回、消防署の方々に教えていただきました。暑い中、皆で頑張りました。

電車や新幹線を使い、徳島に行きました。どんどん都会になっていって、都会ってすごいなと思いました。高いビルがたくさんあって感動しました。

本番では、すごく不安でしたが、今まで練習したことを思い出し、落ち着いてやったら、なんと 4 位でした。すごくうれしかったです。今までの中で一番良かった順位らしいので、すごくほこらしかったです。

僕達が 4 位になれたのは、消防士の方々のご指導のおかげなので、感謝を忘れないようにしていきたいと思います。

39 徳島市加茂名小学校少年消防クラブ

徳島県徳島市

全力で駆け抜けた交流大会

徳島市加茂名小学校少年消防クラブ，現在４年生から６年生までの12名で活動しています。ロープ結索や消火器を使った消火訓練，徳島市西消防署員の方による地域防災パレードなどにも参加しています。

今回の交流会には，５年生６名が参加しました。少ない練習期間でしたが，協力することの大切さを知り，あきらめない心で，大会に参加できました。とても充実した３日間を過ごせました。

成長ともに

指導者　河野 裕之

学校のクラブ活動を中心に，月に１回消防体験を行っています。少ない練習期間でしたが，自分たちにできる力で，一生懸命やりきりました。思うようにタイムが縮まらず，気持ちが落ちてしまったときもありました。しかし，みんなで励まし合い，記録を塗り替えてきました。そのたびに，「成長」を感じることができました。

この経験を生かして，今後の学校生活やクラブでの活動で活躍してほしいと思います。

楽しい３日間

鈴木 玲佳

私は，全国消防クラブ交流大会に参加をして，１日目には，他県の消防クラブの人たちと交流をしました。２日目は，競技をしたり，温泉に行って疲れをとったり，いろいろな経験ができました。３日目は，前日の夜からその日にかけて，段ボールハウスでの避難所体験をしました。すごく緊張した三日間でしたが，とても楽しい３日間でした。これからのクラブ活動に生かしていこうと思います。

みんなと協力した３日間

中村 結愛

私は全国消防クラブの交流大会に参加しました。１日目はクラブ紹介がありました。緊張したけれど，舞台に立って，全国のクラブの人たちにしっかり紹介ができてよかったです。また、他のクラブの人の紹介がとてもユーモアがあってとても楽しかったです。２日目は，競技をしました。５位まで表彰があるということで，入賞できるように一生懸命やりきりました。今回の経験はとても貴重なものだったと思います。この三日間で学んだことを，消防クラブで生かしていきたいと思います。

全国大会の始まり

坂東 真史

はじめは，楽しみでウキウキしていました。ホテルのロビーで友達を待つのがとても長く感じるぐらい，早く始まってほしいと思うぐらい楽しみでした。交流会では，みんな一緒にご飯を食べることができてとてもよかったです。食べ放題でしたが，なかなか思ったものが取れずに，残念でしたがそれも思い出，切り替えて競技に集中しました。はしごも上手に登れたのでとても満足できる大会になったと思います。

交流大会で楽しかったこと

武田 瑛太

全国消防クラブの大会に参加して，一番楽しかったことは，クラブ対抗リレーです。なぜかというと，練習では，１０回以上ミスをして，悔しい思いをしていました。しかし，本番では，ミスをせず自分の持っている力が発揮できました。この経験を，これからの学校生活に生かしていきたいです。また，１日目のホテルや２日目の宿泊訓練では，他の学校の人と話をしてとても盛り上がり，笑いすぎて注意はされましたが，とてもよい交流になりました。とても楽しい体験でした。

みんなで頑張った全国大会

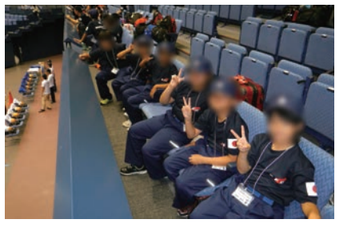
西川 空蓮

僕は，消防の全国大会に参加しました。そして，このチームの隊長として頑張りました。全国の消防クラブの人たちが来て大会が始まったとき，すごく緊張しましたが，みんなが支えてくれたので，なんとか乗り越えることができました。競技では，ホースを伸ばす練習を何度もして，ピンを倒せるようになってきましたが，本番では１本も倒せなかったのが，悔しかったです。結果はあまりよくはなかったけれど，全員で力を合わせてできたので，いい経験になったと思いました。

最高の３日間

吉田 優誠

僕は，消防クラブ全国大会のために，ほぼ毎日，夏休みの期間で練習をしてきました。２日目の競技では，リレーと障害物走の全員全力で練習をしてきました。最後までやり遂げることができ，自信につながりました。上位には入れませんでしたが，一生懸命やり，ミスがあってもやり直して頑張っているみんながすごいと思いました。そんなみんなを見ていると，力をもらえました。とてもよい経験になりました。



40 うずしお少年少女消防クラブ

徳島県鳴門市

うずしおパワー！全国の仲間と共に！

うずしお少年少女消防クラブは鳴門西小学校の６年生とそのOBをクラブ員として、運動会での防火広報パレードや、県防災フェスタに参加しての防災研修、さらに地元消防団と連携しての年末夜間警戒、そして消防出初式での観閲行進など、様々な活動に参加し研修と啓発に努めています。

全国の仲間と充実した３日間

指導者　金澤 健司

今回、クラブ員５名が交流会に参加しました。地元開催ということで、消防本部の職員や消防団の方々の協力を得て、練習を重ね競技にチャレンジしました。全国の仲間と交流することができ、とても充実した３日間となりました。これからも将来の地域防災の担い手として、頑張っていただきたいと思います。

交流会に参加して

古瀬 瑛大

ぼくは、初めてこの交流会に参加しました。合同訓練では、仲間たちと協力する大切さを学び、練習の成果を十分に発っきすることができました。また、ぼくは選手宣誓をさせていただき、大きな声で言うことができました。避難所体験では、ダンボールハウスをつくり避難所生活の大変さがわかりました。ぼくは、この交流会で学んだことをいかして災害時に少しでも力になれるようがんばりたいです。

消防訓練をしてみて

多々野 怜

ぼくは、消防訓練をやるとなったとき、最初は不安でしたが練習していくにつれて、その不安がなくなってきました。交流会で一番いいことだと思ったことは、友達を作れたことです。ご飯を食べているときや、特に一番ふれ合えたときは、ダンボールハウスを作るときです。声をかけ合いながら、協力しなければふれ合えないので、僕たちから声をかけました。すると、いつのまにかすごく話し合えるようになりました。これからもこのような行事に参加したいと思いました。

交流大会で学んだこと

岩久保 徳也

ぼくたち仲良し５人で交流会に参加し、１日目は主にクラブ活動の紹介、２日目は合同訓練、夜はダンボールハウスを作り友達ができました。３日目は消防団の人の話を聞き、地震の怖さと人と命の大切さを知れました。みんな消防団の仕事を誇りに思ってそうだったから、将来はスポーツ選手になりたいと考えていましたが、消防団の仕事もいいなと思いました。

交流大会に参加して

正木 悠介

交流会に参加するにあたり６月から練習をしました。最初は難しかったけど何度も練習を重ねていくうちに慣れてタイムも縮めることができました。大会当日の合同訓練では少しきんちょうしたけど、楽しく競技ができたので良かったです。避難所体験では、他のクラブの人たちとも作業を分担してすることができました。この活動で学んだことを活かして、もし災害がおきたときや緊急時に、地域の防災リーダーとして行動できるようにしたいです。

交流大会の思い出

乾 湧真

交流会にむけて６月から練習をしました。練習をするにつれてタイムが縮まり、本番では練習どおりにできうれしかったです。結果は53クラブのなかで17位でした。徳島県では１位だったのでうれしかったです。競技をやったり、友達とホテルでとまったりしたことが一番楽しかったです。

41 穴吹少年少女消防クラブ

徳島県美馬市

かけがえのない経験・一生の思い出

穴吹少年少女防災クラブは，平成２８年度６月に結成され，穴吹小学校４年生から６年生の希望者で活動しています。年間を通して，規律訓練ならびに消火訓練等の消防訓練を行っております。昨年の交流会に引き続き３回目で，今年は６年生５名，５年生１名の計６名で参加し，クラブ員にとって貴重な体験ができました。

交流会での経験

指導者　森下 竜太

昨年度の少年消防クラブ交流会に引き続き、３回目の交流会でした。

昨年参加したメンバー３名を含む６名で参加し、交流会に向けた訓練では、「昨年度より良い記録が出せるように」と協力し合いながら訓練を行ってきました。結果は入賞とまではいきませんでしたが、日頃の訓練より良い結果がでて本当に良かったと思います。また、ダンボールハウス作りでは、他のクラブ員との交流を図ることができ、クラブ員にとってかけがえのない経験になったと思います。交流会で学んだことを今後の活動に生かしたいです。

真剣に取り組んだ競技

谷 依津希

私が全国少年消防クラブ交流大会で一番心に残ったことは、全国の消防クラブのみなさんと合同訓練を行ったことです。この日のために一生懸命クラブのみんなと練習してきました。結果は 53 クラブ中 31 位でしたが、練習の結果を出すことができたと思います。全国交流大会では他にもたくさんの方たちとふれあうことができました。とても良い経験ができて良かったです。この経験をどこかで生かしたいなと思いました。

交流会での成長

竹内 ひなた

私は、７月 31 日、８月１日、２日徳島県で行われた全国少年消防クラブの交流会に参加しました。全国大会では、人と人との関わりの大切さやその場にあった行動の仕方、他人と協力し合うことのすばらしさなどを学ぶことができました。去年とはちがい今年はもっと成長できた場でもあり楽しめた場でもありました。交流会で体験したことは、とてもいい思い出になりました。これからも、消防クラブで成長していくためにふざけずに、気を引きしめて活動していきたいです。

交流会で学んだこと

幸田 茉夏

私は、全国少年消防クラブ交流大会で、いろいろな事を学びました。例えば、他の県の方々の話から、消防の仕事や消防車などは、市からの税金によってまかなわれていることなど、今までは、知らなかった事を知ったり体験することができました。ダンボールハウスでは、他の県の子供達との交流や災害がおきた時に大切になる知識などを身に付けることができたと思いました。今回の、全国少年消防クラブ交流大会は、大変貴重な経験となりました。

勉強になった交流会

竹内 琴実

私たちは、７月 31 日、８月１日、８月２日に全国大会に行きました。今年の全国大会は、私たちの住んでいる徳島県でありました。１日目の夜にクラブ紹介をしました。全国の消防クラブの子と、ふれあいました。２日目は、大会でした。私たちもいいタイムもでたから練習をした成果がでました。夜には山口県の子や愛知県の子とダンボールハウスを作ったりして、交流できて仲の良い友達が作れて楽しかったです。

全国大会での経験

西坂 麗音

私たちは、７月 31 日、８月１日、２日に、２泊３日で、全国大会に行きました。

全国大会で、一番心に残ったことは、２日目の夜に、ダンボールハウスを作ったことです。ほかのクラブの子たちと協力してダンボールで家をつくりました。みんなで協力して作ると、とてもスムーズにできました。ほかのクラブの子とも交流できて、とてもいい思い出になりました。とても勉強になったので、よかったです。

楽しかった全国少年少女消防クラブ

真鍋 武士

７月 31 日から８月２日まで全国少年消防クラブ大会がありました。

ホテルに行くときはすごくきんちょうしました。でも、ホテルについたらなぜかきんちょうがとれました。

２日目は「うまくいくかな」と不安でした。でもまあまあいいタイムでした。

すごくいい経験だと思いました。楽しかったです。

42 板野東部少年少女消防クラブ

徳島県板野郡北島町

学んだ「絆」・「思いやり」

板野東部少年少女消防クラブは、松茂・北島・藍住町の小学４年生～６年生のクラブ員３１名で、年間を通じて防災や救急に関する訓練、活動を行っています。今回は６年生５名が参加しました。

交流会を通して得た経験を生かし、地域防災の担い手として積極的に活動していきます。

交流大会に参加して

指導者　池添 達也

今回の交流大会に参加し、いろいろな方と交流する時間が持てた有意義な３日間でした。

特に避難所体験では、他クラブ員たちと創意工夫し作ったダンボールハウスでの交流は貴重な経験になりクラブ員たちの成長に繋がったと感じています。

この交流会で得た経験を活かし、他の模範となるクラブ員へと成長していくことを期待します。

交流大会を終えて

指導者　森 貴嗣

私自身、全国交流会へは初めての参加でしたが、大変良い経験を積むことができました。本番ではそれまでの訓練成果をしっかり発揮できたと思います。また３日間を通し、他県のクラブとの交流を深めると共に、お互いの違いなどを発見し、今後にいかせることを学び取ろうとしていた姿は印象的でした。なにより楽しそうに過ごしていたクラブ員を見て、私自身今回の経験を今後の活動に活かしていきたいと思いました。

徳島大会に参加して

桑原 汐都

７月末日、僕は地元徳島県で開催された全国大会に参加しました。初日、ホテルでたくさんのチームの前で自己紹介をしました。その時、心の中で、「上位入賞を取るぞ」と思いました。

次の日、いよいよ本番です。他のチームのリレーを見て、勝ちたい気持ちが強くなっていきました。クラブ対抗リレーでは、第５走者でうまく繋ぐことができました。クラブ対抗障害物競走では、家で何度か練習した本結びが、緊張で一度ではうまくできず、悔しかったです。これからも、学んだことを活かして本当の災害時にみんなの役に立てる人になりたいです。

全国少年消防クラブ交流大会に参加して

茶原 壮吾

僕は、板野東部少年少女消防クラブの選手として全国大会に参加しました。

１日目はホテルでクラブ紹介があり、他のクラブでも色々な訓練をしている事がわかりました。スピーチでは、とても緊張しましたが、練習通りできました。

２日目はアスティ徳島で行われ、僕たちは入賞できませんでしたが、練習より早く走れたので嬉しかったです。その後はダンボールハウスで宿泊する避難所体験をしました。ダンボールハウスは布団と違って、寝るにはとても不便でした。でも、他のチームの子と協力して作っているうちに仲良くなり楽しく過ごす事ができました。今回とても貴重な体験をする事が出来たので、この事を忘れないようにしたいです。

消防クラブ大会、交流大会に参加して

藍原 有希

今年は、第１回の開催地でもある徳島で全国大会が開催されました。７月３１日のオリエンテーションでは、クラブ紹介や食事、娯茶平による阿波踊りをみんなで楽しみました。また、初めて一人部屋で宿泊するという経験もしました。

８月１日は、対抗リレーと障害物競走をし、あらたえの湯、ダンボールハウスの経験をしました。リレーでは、障害壁を乗り越えて、バトンを次の人に渡します。レースでは、もやい結びを正確にしました。ダンボールハウス作りでは、愛知の子と交流ができました。２日は、小・中学校の行事や消防団のお話を聞きました。良い思い出ができました。

初めての全国大会

黒上 順乃助

ぼくは、板野東部少年少女消防クラブに入り３年目の今年、初めて全国少年消防クラブ交流会に参加しました。全国から53チームの参加があり、中には中学生のチームもありました。ぼく達のチームは全員６年生です。中学生のチームが相手でも、チームメイトと指導者の方と一緒に頑張ってきた練習の成果を発揮したいと、ワクワクしていました。

大会ではどのチームも、きびきびと動き、迫力がありました。僕たちも負けないように全力で挑みました。正確な動作を心がけました。

競技のほかに避難所体験もありました。とても貴重な体験で、体につらい事や不便な事、工夫が必要な事などを体感する事ができました。

この大会を通して、防災の知識や活動がとても大切だとあらためて感じました。これからも学んだことを意識して生活していこうと思います。

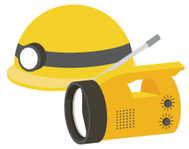
全国大会の感想

中島 悠太

ぼくたち板野東部少年少女消防クラブは徳島県で開催された大会に参加しました。７月３１日に受付をし、ホテルに泊まって次の日のために準備しました。大会の日、５３ものチームが参加していました。緊張してうまくできるか心配でしたが、リレーでは、自分の担当種目を練習通りできました。

競技が終了すると避難所体験をしました。中学生や大人の方からもアドバイスをもらい、立派なダンボールハウスができて嬉しかったです。

８月２日は、小学校や中学校からの防災活動などを見て、頑張って自分の命や地域の人の命を守っていることに立派だと思いました。これからも防災のことを学んで行きたいと思います。



43 久万中学校少年消防クラブ

愛媛県上浮穴郡久万高原町

自信につながった夏！～今後の私たちの姿に乞うご期待！！～

久万中学校少年消防クラブ員である１年生から６名のクラブ員が今回の交流会に参加しました。これまでにも救命救急講習や防災訓練等、様々な活動を通して災害に対する意識を高めてきました。今後も交流会で学んだことを共有し、地域の一員として頑張ります。

子どもの成長を願って

指導者　安倍 稔彦

充実した二泊三日の交流会でした。当日はもちろん、その後の生活においても本校参加者６名の成長ぶりは頼もしさを感じています。今回の研修で学んだことは防災のことだけではなく、他人を思いやり、責任を持つことの大切さでもあります。これも多くの方々の支えがなければ感じ得なかったことです。関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。

貴重な体験を通して

大野 心

私は、三日間で色々なことを学びました。その中でも一番災害の時に歯をしっかり磨くことが大切だと思いました。歯のケアの仕方を教わったので、災害で避難しなければいけなくなった時には自分の歯を丁寧に磨きたいです。

二日目に実施されたリレーでは、入賞することはできませんでしたが、みんなで協力することの大切さを学びました。

ダンボールハウス制作で学んだこと

大野 龍義

僕は全国少年消防クラブ交流大会でたくさんのことを学びました。特に心に残っているのはダンボールハウスを他の団体の方々と役割分担しながら協力して作ったことです。プライバシーを保護するための対策など班員と一緒に考え、仕切りを作ることによって個室にしたり、顔の部分にカーテンを作る工夫ができました。様々な経験ができた二泊三日となりました。

様々な経験を通して

松下 碧空

研修中はダンボールハウスで寝たり、ホースの結合をしたりと色々な経験をしました。ダンボールハウスで寝るときは、床が固かったり、暗かったり、テレビが無いために情報が分からないなど普段の生活との違いに気付き、とても良い経験になりました。災害時は不便なことが多く大変です。しかし、そのようなときでも歯を磨くなど健康を大切にし、普段から防災グッズを確認し、災害に備えたいです。

関心を深められた三日間

和田 れいな

私は今回初めて消防の全国大会に行って学んだことがたくさんありました。まず一つ目は、消防のことについていろいろ学べたということです。今まで興味がなかった消防のことに関心を持つことができました。二つ目は協力することの大切さです。今回の全国大会では、ダンボールハウスづくりで、自分の学校の生徒以外の人ともしっかり協力して活動することができました。今後、もしも災害が身近で起こった場合は今回の交流会で学んだことを生かしていきたいと思います。

全国少年消防クラブの思い出

成川 結愛

私は今回の交流会に参加して多くのことを学びました。中でもロープの結び方は少し難しかったですが、事前にたくさん練習したおかげで本番に上手く結ぶことができました。また、歯の磨き方やダンボールハウスの作り方も学び、貴重な体験となりました。他県の人とも協力することができ、多くのことを語り合いました。阿波踊りもすごく楽しかったです。この三日間は本当に充実した毎日で、また行ける機会があればぜひ参加したいです。

貴重な体験

岡 春伽

私は今回の大会で、普段から災害の備えが大切だということを改めて感じさせられました。ダンボールハウスでの宿泊体験では、床が固いために体が痛くなり、十分に体が休まりませんでした。実際の災害時には、このような状態が毎日続くと思うととても不安になりました。今回は水やスポーツドリンクなどありましたが、実際にはおそらく不足する可能性があると思うので普段から備えをしておきたいです。今回の体験を通して、被災時の大変さを知ることができました。

44 美川中学校少年消防クラブ

愛媛県上浮穴郡久万高原町

充実した３日間と仲間とのつながり

美川中学校少年消防クラブは、全校生徒２５名がクラブ員として活動しています。本校は、山間部に位置しており、災害時には救助まで時間がかかったり、孤立したりするおそれがある地区もあります。生徒がもしものときに自らの命を守り、地域内でできることを考えて自ら行動できるように訓練を実施しています。今回の交流会には、男子５名が参加しました。交流会では、多くのことを学ぶことができ、充実した時間を過ごすことができました。

学校から地域へ

指導者　倉橋 広樹

交流会に参加し、生徒はとても充実した３日間を過ごすことができました。本校の校区内は高齢化率も高く、生徒も各地区に点在して生活しています。地元徳島の消防団の方と交流し、地域のためにできることは何かと再度考えるよいきっかけとなりました。今回の体験をもとに学校内だけではなく、生徒の住んでいる地区で、もしものときに自ら考えて活動できるような訓練を今後も継続して実施することが大切だと感じました。

大きな糧となった３日間

指導者　古見 祐貴

今回の活動を通して、クラブ員からは「3 日間があっという間だった」「もう少し活動したかった」などの声が聞かれました。また、防災について楽しみながら貴重な体験ができました。大きな糧となったと思います。未来の防災人を目指し、今回学んだことや感じたことを、これからの活動に活かしてもらいたいと思います。私自身も学校と連携を取り合い防災意識の向上に努めていきます。

充実した 3 日間

中川 翔馬

僕は、今回の全国交流大会に参加してみて、とても楽しかったです。1 日目のホテルでの交流会や、夕食では、他のクラブの人とも交流することができたのでよかったです。2 日目の大会では、いろいろな競技を行いました。思ったより、みんなが焦ってしまって、うまくいかないところもありましたが、しっかり出来たのでよかったです。夜は、段ボールハウスを作って寝ました。普通に寝ることができたので、よかったです。3 日目には、地元の小中学校の減災に向けた活動についての発表や、地元の消防団の方の活動について聞きました。どちらも色々な取り組みをしていたので、勉強になりました。

貴重な体験

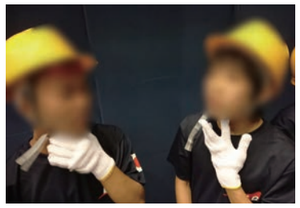
藤岡 侑甫

初めはどんなことをするのかよく分からず不安だったけれど、行ってみると楽しかったです。1 日目のクラブ紹介ではステージに立った時、話すことはなかったですが、人の多さを実感して緊張しました。地元芸能鑑賞では阿波踊りを鑑賞しました。とても手と足の動きが揃っていてすごかったです。2 日目の合同訓練では、53 クラブ中 41 位と惨敗でしたが、みんなと協力して今までで一番上手に出来たのでよかったです。避難所における口腔ケアについても知ることができたのでよかったです。段ボールハウスをみんなで協力して楽しく作ることができたのでよかったです。段ボールの上で寝たのは初めてで、とても硬くてしっかりと寝ることが出来ませんでした。とても貴重な良い経験をすることが出来たのでよかったです。

有意義な 3 日間

山本 俊佑

僕は、少年消防クラブに参加して、行く前は難しそうだなと思っていたけど、実際に行くと、すごく楽しい 3 日間でした。1 日目は、他県のクラブの紹介を聞いた後、初めて阿波踊りを踊りました。2 日目は合同訓練をしました。一種目は 12 位ぐらいで嬉しかったです。二種目目は上手くクリア出来ず、42 位くらいになったのが残念でした。友人が平均台の横を走ってしまったのも残念でした。3 日目は、消防団の人と交流して消防団の仕事や、やりがいが分かりました。今回の 3 日間は、とても楽しく有意義なものになりました。



3日間で学んだ事

松岡 悠翔

僕は、全国少年消防クラブ交流大会に参加して、想像していたより楽しかったです。クラブ対抗リレーは結構上手に進みましたが、クラブ対抗障害物競走では、焦ってしまい平均台を通るのを忘れていたり、ロープ結索が上手くいかなかったりしたので、落ち着いてしないといけないと思いました。本物の現場は、少しの遅れや焦りが命取りになるので、練習でよかったです。段ボールハウスを一から作ることや、一晩過ごすことは滅多に出来ないのでよい経験になりました。思っていたよりも中が暑くて、仕切りを外すと寒くなり調節が難しかったです。また参加してみたいなと思いました。

交流会に参加して

長谷 武志

僕は、少年消防クラブ全国交流大会に参加して一番印象に残ったことは、段ボールで寝たことです。段ボールで寝たことがなかったので、ほとんど眠れませんでした。しかし、他のクラブの人達と協力して、個室のある段ボールハウスを作りました。合同訓練では、少し緊張して手間取ってしまいましたが、一生懸命することが出来ました。今後の防災活動に活かしていけたらいいなと思いました。

45 南国市少年消防クラブ

高知県南国市

交流・体験から学んだ 3 日間

南国市少年消防クラブは平成26年10月に結成し、現在小学４年生から高校生まで総勢 48 名のクラブ員で活動しています。

初期消火や結索訓練など防火防災に関する知識や技術を学ぶほか、各地区の自主防災訓練にも積極的に参加しています。この交流大会で沢山の人と交流し、みんなで協力して達成した思い出や経験を生かして、将来の防災の担い手として、頑張ります。

指導者　棚橋 千浩

全国少年消防クラブ交流大会合同訓練が、徳島市で行われました。北海道から鹿児島までの全国の子供たち５３チーム３６４名が、一同に集まり開催されたことはクラブ員達にとりましては興味を寄せる関心事であったことだと思います。クラブ対抗リレーや障害物競争では、体調も不十分なクラブ員もいた中ではありましたが、諦めずに最後までやりとげ完走しました。避難所の生活体験では、人への思いやりや助け合い仲間との絆が大切という事を学んだようで、少しではありますが成長した姿も感じられました。この全国大会で、経験したことを活かして、将来の地域防災の担い手に自らなりたいと言うクラブ員に期待し成長を見守りたいと思います。

指導者　森本 憲司

全国交流大会でクラブ員は失敗の中から多くのことを感じ取り一層成長したのではないでしょうか。交流大会で学んだことは今後の人生の中で一つでも活かしてもらえばと強く願っております。また、他県の少年消防クラブの熱心な活動や避難所体験、地元徳島県消防団との交流会など大変貴重な体験となりました。改めて、防災教育の大切さを実感し、日頃からの訓練が災害時には必ず役立つ事を学ぶと共に防災知識の向上を図り、これからもクラブ員の良き指導者でなければと感じました。

最後の全国交流大会

森岡 虎太郎

僕は２度目の参加で今回が最後の交流大会でした。この日のために皆で練習を重ねて来ました。特に僕は最年長だったので、皆をまとめることがとても大変でした。今回の競技では良い成績を残すことはできませんでしたが、この経験が将来、役立ったらうれしいです。避難所生活体験では、他の人達の居場所のことを考えながら自分たちの寝床となる場所などについて、話し合い譲り合いをしながら協力することが大事だなと思いました。最後に貴重な体験が出来てとても嬉しかったですありがとうございました。

全国交流大会に参加して

北原 琉葦

全国の少年消防クラブ紹介では沢山のクラブ数がありおどろきました。

また初めて阿波踊りを見ることもでき、そして全国のクラブ員と一緒に踊ることができて徳島県の伝統を楽しむことが出来きました。

合同訓練では、ミスが出たけれど全力を尽くすことができチームが一致団結出来たので良かったです。そして避難所体験は不安がいっぱいでしたが、他県のクラブ員と仲良くなれ気持ち良く過ごせました。今回の、全国大会は悔しい思いが沢山あったけれど、本当に良い経験になりました。

全国交流大会の思い出

福岡 寛大

全国大会に参加して一番の思い出は合同訓練です。

午前中の合同訓練は練習時には、失敗しなかったミスが沢山でてしまい、すごく悔しい思いをしました。午後からの合同訓練では、練習どおりのタイムが出て上手くいったので良かったです。交流大会を通して、消防の仕事の大変さが分かりました。また、震災時にどの様に避難をすれば良いかも教わり勉強になりました。交流大会に参加して本当に良かったです。機会が有れば来年もまた参加したいです。

心に残った全国交流大会

堀池 海晴

交流会に参加して心に残ったことが２つ有ります。１つ目は合同訓練です。

僕達も事前練習をしっかりして頑張ってきましたが、他県のチームはすごく息がピッタリ揃っていて想像以上の速さや正確性に大変驚きました。

心に残った二つ目は、避難所体験です。段ボールで寝床を作ることができ、また、沢山の物が作れることを教わりました。災害時には、今回学習体験した事が必ず役立つはずです。また、他県のクラブ員とも交流が出来き、仲良くなれて本当に楽しかったです。

初めて全国交流大会に参加して

森岡 龍生

合同訓練に向けて一生懸命に事前練習をやってきましたが、本番ではやはりその場に居ないと分からない緊張感がありました。チームみんなが緊張していたので競技のタイムは振るわなかったけれど、僕は実力を出すことができました。また、僕は交流会での一番の目標が、他の少年消防クラブ員との交流をすることでした。多くのクラブ員との交流ができたいへん良い経験になりました。この交流会に参加して将来、絶対に消防団や消防士になりたいと強く思いました。

46 赤岡町少年防災クラブ

高知県香南市

みんなで協力し、貴重な体験ができた３日間

赤岡町少年防災クラブは、平成１７年に発足し、現在は赤岡小学校の全児童１０３名が少年防災クラブ員です。上級生を中心として、軽可搬ポンプ操法などの訓練を行って出初式や参観日に披露したり、歳末には夜回り防火啓発活動を行ったりしています。今回は、６年生３人と５年生２人がチームを組んで、交流会に参加しました。貴重な体験ができたことを今後の活動に生かしていきたいと思います。

交流大会を終えて

指導者　久保 壽男

今回参加した子どもたちは、暑い夏の練習にも真面目に取り組み、合同訓練としての障害物競争やクラブ対抗リレーでは、緊張しながらも精一杯頑張っていました。中学生たちも参加しているチームがある中で、26 位だったのは素晴らしかったと思います。今後も、地域の安全・安心を守るため、「人と人のつながり」を大切にした防災・減災の取組を進めてほしいと思います。

今回参加した子どもたちは、暑い夏の練習にも真面目に取り組み、合同訓練としての障害物競争やクラブ対抗リレーでは、緊張しながらも精一杯頑張っていました。中学生たちも参加しているチームがある中で、26 位だったのは素晴らしかったと思います。今後も、地域の安全・安心を守るため、「人と人のつながり」を大切にした防災・減災の取組を進めてほしいと思います。

学びの多かった交流会

指導者　野地 真由美

２度目の参加となりました。今回参加したメンバーは、自分たちの持っている力を十分に発揮できたと思うし、全国の他のチームの様子を知ることで、自分たちがもっとどうするべきかを考えている姿も見られました。今年、ヨーロッパ青少年消防オリンピックに出場した先輩の姿を胸に刻み、この３日間の様々な体験を通した学びを、必ず来るであろう大地震に向けて生かしてほしいと思います。

がんばったクラブ対抗リレー

増井 孝輔

初めにしたクラブ対抗リレーで、ぼくは第２走者で、ホースボウリングをしました。練習ではいっさい当たらなかったけど、本番には当たったので、うれしかったです。その時にはちょっとおくれていたけど、第３走者が追いこしてくれて勝つことができました。次の障害物競争では、負けてとてもくやしい思いをしました。この３日間は、消防士になるという将来の夢に向けていい経験になったし、避難所にいる人たちの気持ちが分かってよかったです。

緊張の連続だった３日間

江内 拓斗

ぼくは、クラブ対抗リレーの時にとても緊張していたため、走った感覚がなくて、気がついたら勝っていました。障害物競争ではひも結びが難しくて、最後まで残りました。２６位だったので、もう少し頑張れたんじゃないのかなと思いました。また、避難所体験では、段ボールハウスを作ったのは楽しかったけど、床がかたかったので、朝起きた時体がバッキバキですごく痛かったです。でも、いろいろな人と話したり、協力して挑戦したりして交流できたことがすごく楽しかったです。

楽しかった段ボールハウス作り

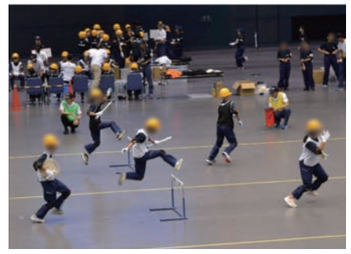
山本 青生

ぼくが何よりも一番楽しかったのは、段ボールハウス作りです。何かを作ることが好きなので、屋根を工夫したり、腕時計をかけるところを作ったりして、オリジナルの部屋を作りました。また、同じ高知県香南市の吉川子ども防災クラブといっしょのグループになったので、吉川・赤岡のみんなとのきずなを深めることができました。ふだんなかなかできない経験ができ、とても貴重な３日間を過ごすことができました。

いい経験ができた交流大会

岡田 莉音

クラブ対抗リレーの時、最初はきんちょうしていたけど、自分の役目を果たそうと最後まで走りぬきました。練習量は十分とは言えないけど、本番で練習の成果が出せました。吉川（高知県）の友達もおうえんしてくれていました。仲間たちも一生けん命がんばっていたと思います。私は、この３日間すごく楽しかったし、くやしいことも味わい、いい経験ができました。来年も参加してみたいと思います。学んだことを、大地しんが起きた時に生かしていきます。



仲良く作った段ボールハウス

河村 光莉

わたしは、夏休み前から学校で合同訓練の練習をしてきました。クラブ対抗リレーも障害物競争も、仲間と協力してできたし、１回勝つことができたので、うれしかったです。また、同じ区画になった人といっしょに、なかよく段ボールハウスを作り、ねる前にはトランプをして遊んだりしてとても楽しかったです。段ボールハウスの作り方が分かったので、ひなんが必要になったときには生かしたいと思います。また来年も参加したいです。

47 吉川こども防災クラブ

高知県香南市

自分を守り 仲間を守り そして故郷を守るために…

「子どもが自分たちのネットワークを活かしながら防災に対しみんなが同じ知識を持ち、考え、行動できる」ようにとの思いから 2016 年に発足。その中で中心となるメンバーを海に面した町に住んでる友達やいつもお世話になっている人たちが、南海トラフ地震などの困難を乗り越えるための船の乗組員という意味で「ArK Crew（アーク・クルー）」と名付けました。全国交流大会での経験を活かしこれからも地域のヒーローとして頑張ります！

吉川の誇り

指導者　増井 紳介

防災クラブを立ち上げて 4 年目で初参加となった全国交流大会。出発式では関係者の方々に拍手で見送られた事が、誇らしくもあり胸が熱くなりました。子どもたちは夏休みを使った練習から本番と一生懸命に頑張ってくれたし、何より僕自身が初めての事だらけの中、子どもたちと過ごしたこの期間はかけがえのない物となりました。子どもたちにはこれをモチベーションに、防災について積極的に考える事のできるようになってもらいたいですね。

交流大会に参加して

指導者　田渕 直美

今回、子どもの引率で初めて、交流大会に参加しました。

正直、こんなにも、防災について活動している子どもたちがいることに驚きましたが、どこの地域もしっかりと防災学習ができていて、私たちの地域も、もっともっと学習を深めていかなくてはと感じています。

参加した子どもたちも、緊張しながら、自分たちの訓練してきたことを、精一杯できたと思います。何より、新しい仲間をつくり、段ボールの避難所体験など、いい経験ができたと思います。

防災クラブのリーダーとして

増井 龍之助（小６）

一番心に残ったのは段ボールハウスで、近くの地域の人だけではなく、遠くの北海道の人とも話せてよかった事です。

僕はこの全国交流会に防災クラブのリーダーとして参加しました。一緒に行った４人と防災について沢山の知識を身につけて、それを地域の人にも知ってもらい、災害が起きた時には少しでも役立ててもらって、一つの命でも助かってもらいたいです。その気持ちをちゃんとみんなに伝えられるリーダーになれるようがんばります。

楽しかった思い出

大友 豪（小６）

出発前、僕はどんなホテルかわくわくしていました。到着してすぐのグループ紹介は緊張しました。夕食にはデザートがいっぱい出て、バイキングにすごい人が取りに来てもうすごかったです。

翌日は合同訓練でした。僕は練習の成果を全力で出せたと思います。後は、みんなと銭湯へ行っていろいろなお湯に他のグループの人と入れてよかったです。合同訓練は 37 位と低めだったけど、全力で出来たし、他のグループの人達とも仲良くできて良かったです。

僕の挑戦

増井 柚月（小６）

練習では、１回１回全力で取り組みました。競技の順番を決め、僕はロープワークでは、本結びをする事になりました。消防団の人に完璧といわれ、喜びが隠せないくらいうれしかったです。大会では２種目とも全力でやり遂げました。終わってからすごくほっとしました。結果は、37 位で残念でしたが最下位ではなかったので、うれしかったです。

目標にむかって

田渕 菜々（小６）

競技では、「練習した分、精いっぱい力を出そう」というのを目標にしました。

リレーではトンネルから出る時に時間がかかってしまい、障害物競争はハードルを倒してしまったり失敗したところもあったけど、精いっぱいの力を出すことができたので、目標は守れて良かったです。出来ればもう一度やりたいです。

初参加でしたが、他県の人との交流もできて、とても楽かったし、いろんなことにわくわくしました。また来年も参加できたらうれしいです。

２つの力

野村 勇翔（小６）

最初は、みんなと仲良く過ごすことができるか不安でしたが、指導者の言葉で頑張るぞという意思を持てました。

僕はこの大会に参加して２つの力がつきました。

１つ目は「がまんする力」、全部が全部思ったとおりにはならないので、がまんすることが大切だと思いました。ぼくはがまんできたと思います。

２つ目は「みんなとがんばる力」、段ボールで寝たとき、自分の学校の仲間だけでなく、他校の仲間と一緒に頑張る事とてもいいなと思いました。

徳島で学んだことをみんなに伝えたいです。

僕は消防団の大変さが分かったし、他の人と協力ができました。

来年参加する友達にも挑戦してほしいです。

48 くすばし少年消防クラブ

福岡県北九州市

新メンバーで参加！これからの活動を、より積極的に！

くすばし少年消防クラブは、平成２４年１２月に発足したクラブです。現在１３名が在籍しています。毎年、この全国交流会に参加することができています。なるべく新しく入ったクラブ員がこの全国交流会に参加するようにしています。これまで参加してきた先輩が、後輩に指導していく中で、仲良くなり、クラブの雰囲気が良くなってきます。

来年もぜひ参加したいです！

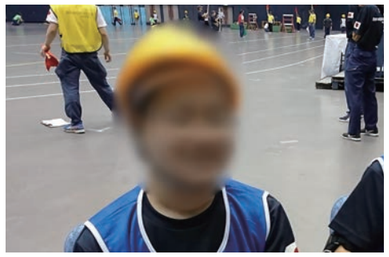
指導者　浦濱 恵介

ここ数年、毎年全国交流会に参加させていただいています。合同訓練では、表彰されるクラブを見て「来年こそは入賞するぞ！」と、とても刺激を受けています。また、避難所体験で学んだことは、地元の小学生に指導することができています。小学生→中・高校生→大人と防災を意識し続けることができる環境を作っていき、地域防災力向上の一助となれるように活動していきます！

みんなで力を合わせて取り組んだ！

井上 智貴

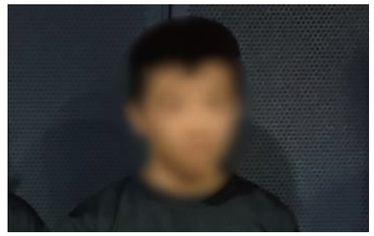
今回の全国交流会はとてもいい体験ができました。２日目の合同訓練では、入賞はできなかったけど、みんなで力を合わせて一生懸命に取り組むことができました。ロープ結索などみんなとても上手になっていて驚きました。段ボールハウスを作る時も、色々なアイデアを出し合って楽しかったです。他の少年消防クラブの人たちとも仲良くなることができて、良かったです。あまり練習に参加することができなくて、練習不足だったところが反省点です。



段ボール、意外に寝られてすごかった！

立川 平

夕食の時間に行った阿波踊りは、緊張して上手くできなかったけど、みんなで一緒に踊ることができたので、面白かったです。合同訓練では、上位には入れなかったけど、自分自身はやりきったので良かったと思います。



段ボールハウス作りでは誰と一緒にやるのか不安だったけど、良いひと達だったので良かったです。段ボールは、寝るのに時間がかかったけど、しばらくすると落ち着いて寝られたのですごいなと思いました。いろいろなことが学べてよかったです。

阿波踊りが難しかった！

古賀 隼斗

僕は，この３日間とても楽しかったです。 初日は，阿波おどりは，手の動きが難しくて、とても真似ができませんでした。２日目の競技でトンネルがちっちゃくて、つまづいて、ちょっと想定外でした。５位にはいることができなかったのが悔しかったです。避難所体験で段ボールハウスを作って、熊本県の人たちと仲良くなって楽しかったです。３日目は，家族のお土産を買うのに迷ってやっと買えました。

熊本のクラブの人と仲良くなれた！

渡利 仁

この３日間とても楽しかったです、１日目は、初めて新幹線に乗って、ホテルでは、先輩たちとわいわい楽しくできました。２日目のクラブ対抗リレーで、途中で追い抜かれたのが悔しかったです。障害物リレーで、ハードルでぶつかって時間をロスしてしまって、ブルージックが思った以上にできなかったです。夜の段ボールハウスを作ったときに一緒になった熊本のクラブの人たちと楽しく作って面白い話で仲良くなって楽しかったです。

来年こそは、せめて１０位以内に！

森川 蒼太

１日目、長い間待っていた消防クラブ全国交流会がついに始まりました。新しい友達ができるかなと思っていましたが、移動がほとんどで他の人と関わることがあまりありませんでした。でも、バイキングは美味しかったし、阿波踊りも楽しかったです。２日目は、朝から昼にかけて訓練をしていました。少しペナルティが加算されていて良い結果とは言えませんでした。来年こそはせめて一桁の順位に入りたいと思っています。

49 唐津市鏡少年消防クラブ

佐賀県唐津市

たくさんの思い出ができた徳島

唐津市鏡少年消防クラブは昭和５５年に発足し、唐津市立鏡山小学校の４年生、５年生、６年生の計２９名で、「消防学校防災研修」、「防火ポスター作成」、「福岡市防災センターでの防災研修」、「消防出初式参加」等の活動しています。

クラブを代表し、６年生の５名が全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。今回で２回目の参加となり前回を上回る成績をおさめることができました。この経験がクラブ全体の糧になるよう今後の活動に活かしていきたいです。

将来の地域を守るため

指導者　中尾 文彦

今回が２回目の全国少年消防クラブ交流大会の参加となりました。

初日は各地域の参加者と情報交換や地域文化に接することができ子供達も有意義な時間を過ごすことができました。

２日目の競技では、子供達が協力し合い、短い練習期間ながら好成績を出すことができ子供達の絆を深めることができたと感じました。

唐津市では唯一の少年消防クラブであり、今年度は「特に優良な少年消防クラブ」として総務大臣賞を受賞しました。

今後も、将来の地域を守る人材を育成させるため、消防クラブ活動及び全国少年消防交流大会へ参加したいです。

交流会に参加して

指導者　山﨑 隆浩

唐津市で唯一の少年消防クラブとして、六年生５名と指導者４名で全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。交流会開催前は、競技を無事に終われるか心配していましたが、期待以上の結果に終わり、クラブ員の成長を感じました。

また、多くの少年消防クラブの皆様と交流させていただき、クラブ員、指導者共にとても貴重な経験となりました。今回の経験を地元の方と共有し、より多くの方に地域防災に興味を持っていただき、より積極的に参加していただければと思います。

最後になりますが、熱烈な歓迎をしていただいた徳島県の皆様、並びに大会の開催にご尽力いただいた消防機関や関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

楽しかった「全国大会」

堂脇 雅仁

全国大会に向けて、クラブ対抗障害物競走の巻き結び、本結び、もやい結びを練習しました。ぼくはもやい結びの担当でした。もやい結びは、複雑で結ぶ時に力もいるので難しかったです。

ホースを結合する時にあせってしまい、良いタイムが出せなくてくやしかったです。でも前回出場した時は４１位、今回は２１位だったのでうれしかったです。みんなと協力プレイができたのでよかったです。これからも年下の人や同級生などにも学んだことを教えていきたいです。

徳島県では楽しい思い出ができたので、家族旅行でまた行ってみたいです。

全国少年消防クラブ交流会

才田 結月

日本全国から４９もの消防クラブが集まって、ホース延長、消火器での消火活動、災害や救助の時に役に立つロープ結索などを素早く正確にできるか競いました。私は巻き結びの担当で、とても難しかったです。私のチームは２１位でした。

また災害時のダンボールハウスを作ったり、他の消防クラブの人とも仲良くなりとても貴重な体験になりました。

この大会で学んだこと、経験したことを鏡少年消防クラブの代表として、みんなに伝えたり、生活の中や、いざという時に活かしたいです。

心に残ったこと

古川 嘉乃

私は、全国少年消防クラブ交流会に参加して、心に残ったことが３つあります。

１つ目は、チームの５人で協力し、練習で失敗していたところも、スムーズにできたところです。もっと上位になりたかったけど、精一杯頑張ることができました。

２つ目は、ダンボールハウスに泊まったことです。他県のクラブ員とも仲良くなることができ嬉しかったです。

３つ目は、徳島市内を観光したことです。チームみんなで一緒にラーメンを食べたり、温泉に行ったり楽しい思い出が沢山できました。

お世話いただいた消防団の皆さん、本当にありがとうございました。

貴重な体験

才田 優花

私は徳島県で行われた「全国少年消防クラブ交流大会」に参加しました。地元の阿波踊りを見たり、クラブ対抗リレーや、クラブ対抗障害物競走をしたり、避難所体験ではダンボールハウスを作成し泊まるという、全てが初めてで貴重な体験でした。リレーや障害物競走は難しく緊張もしましたが、何とかやりとげました。

避難所体験は、テレビでしか見たことがなく、最初は楽しかったけど、やっぱり普通の部屋で寝る方がいいと思いました。災害で避難所生活をされている人達は本当に大変なんだなと思いました。

この三日間は、普段と違う環境で過ごし、貴重な体験ができました。お世話いただいた消防団の皆さん、ありがとうございました。

「全国大会について」

進藤 花愛

私は、全国少年消防クラブ交流会に参加し目標の１０位以内に入ることはできなかったけど、５人全員で協力することができたのでよかったです。

優勝したチームは、とてもチームワークがよかったです。

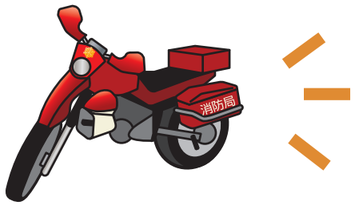
次の大会では、２０位以内を目指してがんばってほしいと思います。

50 ひかり児童館少年消防クラブ

熊本県八代市

令和の夏、誰よりも暑い夏

ひかり児童館少年消防クラブは、小学生５名で活動しています。消防本部や地元消防団との交流を図りながら、地域の防災リーダーとして、防火防災の啓発に力を入れています。



指導者　陣内 英和

今回で５回目の参加となった全国交流大会。入賞を目指し、地域の方々と日々の練習を頑張ってきました。ご支援いただいた地域の方々に感謝致します。今回の合同訓練の結果はいろいろな思いがあると思います。子ども達は活動を通し多くの事を学び・感じ、大きく成長したことと思います。今回の交流大会で学んだ事を多くの友達や仲間に伝え、そして、自分自身の成長の糧にしてもらいたいと思います。また、子ども達が今後地域防災の担い手として活躍してくれることを願います。

指導者　杉本 悟志

初めて参加する子が多い中、自分たちが持てる力を十分に発揮してくれました。失敗したことも、悔いが残ったことも、子ども達の更なる成長に繋がっていくと思っています。また、避難所体験や地元消防団の方々のお話を聞けたことは彼らの防災意識を高めてくれたと思います。これからの地域防災の担い手として大きく成長していくことを期待しています。

交流会に参加して

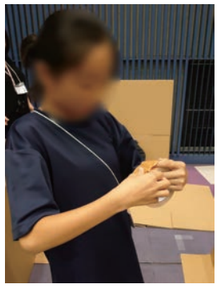
岩田 結

交流会に初めての参加なので楽しみにしていました。障害物リレーでは消火器で目標を倒す担当で練習通り出来て良かったです。大会は優勝できなかったけれど、クラブ員全員で頑張った結果なので満足です。交流会では他のクラブと交流を深め、消防団の活動を聞いて防災について学べた貴重な時間を過ごしました。避難所体験ではみんなで協力して段ボールハウス作りを体験しました。交流会に参加して小学生最後の貴重な思い出が出来ました。

消防の全国大会

大石 花菜

ロープ結索やホース投げは難しくて、日々練習を重ねることで上手にできるようになりました。仲間とも互いに教え合いながら練習も頑張りました。本番では、２つ目の競技のとき、平均台から転んでしまい、みんなに申し訳ないと思いました。ダンボールハウスを作るのは難しくてうまくいかず、他のチームの先生が手伝ってくれて嬉しかったです。青崎地区や西瀬の方々と友達になれました。また機会があれば会いたいです。交流会に参加していい思い出が出来ました。



全国大会に行って感じたこと

山下 愛恋

私は、初めて消防の全国大会に行って思ったことが三つあります。

一つ目は合同訓練です。競技では、ボウリングをたおす競技があり、私はその競技に参加しました。しかし、緊張して練習の成果が出せず、綺麗にホースをたおす事ができなくて悔しかったけど、結索の競技では上手くできたので、嬉しかったです。二つ目は段ボールハウス作りです。初めて作ったけれど、同じ班の人と協力して完成させる事ができました。椅子や、机、壁を作るのも工夫しました。三つ目は他のチームの人や地域の消防団の方々との交流です。地域の消防団の方々は、地域でおこっている災害などを教えてくれました。他のチームの人とも仲良くなる事ができたので、とても有意義な時間になりました。

今回の全国大会で学んだことを、色々なところで活かしていきたいです。

全国大会に参加して

中川 温登

大会で全員が集合し、ならんでいる時はとてもドキドキしていました。周りの人たちは大きい人ばかりでとても驚きました。入賞はできませんでしたが、みんな本気で頑張っていたと思うので良かったです。これからも消防活動を続け、後輩たちにコツなどを教え、入賞を目指して頑張ってもらいたいです。

全国大会

中村 誠之介

初めての全国大会ですごく緊張しました。リレーでは、競技順４番目なので前のチームを少ししか見ることが出来なくて、正直怖かったです。でも、上手くいきました。良かったです。障害物走は、「よーい、ドン」でいっせいにスタート、全員走ってホースを投げる。途中までうまく行っていたけれど、「おっと、花菜が転倒」横腹を強打、痛そうでした。あと、花菜が滑る前に結のギャグはスベっていた。

51 西瀬少年消防クラブ

熊本県人吉市

悔しかったけど、新たな出会いや貴重な体験ができた交流大会

西瀬少年消防クラブは平成 28 年に発足し、小学 4 年生から 6 年生まで総員 15 名のクラブ員で活動しています。交流大会には 3 年連続の出場になり、今回はクラブ員を代表して 6 年生 3 名、5 年生 2 名が参加しました。

全国の仲間たちとの出会いや貴重な体験をすることが出来、充実した 3 日間になりました。

交流大会に参加して

指導者　田中 栄治

私自身、三度目の全国大会への参加でしたが、毎回子供達と楽しむことができると共に、三日間の間で、子供達の成長を見ることができ楽しませてもらっています。

競技に取り組む中、練習中も、もっと速くなりたい、もっと上手くなりたいという姿勢も見れましたし、避難所体験でも他のクラブメンバーと仲良く過ごす姿を見て、とても良い経験をさせてもらってます。

小学生のこの子達にとって、人生の中でとても大きく、楽しい思い出になったことでしょう。

交流大会に参加して

指導者　杉枝 真二

交流大会での上位を目指し、クラブ員は酷暑の中、練習に励んできました。残念ながら目標とする結果ではありませんでしたが、この悔しさを糧に来年リベンジしてもらいたいと思います。

1 日目の夕食会では全国のクラブ員と名刺交換をするなど積極的に交流している姿が印象に残っています。また、段ボールハウスでの避難所体験など、貴重な経験が出来たことはとても素晴らしいことだと思います。

この大会の主催者及び関係者各位の皆様に心からお礼申しあげます。

交流大会に参加して

白石 脩人

僕が交流大会でやったことは大きく分けて三つあります。まず、一つ目は、１日目の夜にあった交流会です。僕は、クラブのことを紹介しました。阿波踊りを踊ったり名刺も交換し、いろんな人と仲良くなれたので良かったです。

二つ目は、交流大会です。この時のために暑い中練習しました。結果は、半分より下だったけど出し切れたと思うので良かったです。三つ目は、ダンボールベッド作りです。

知らない人と一緒にしたけど仲良くなれました。また会えたらいいなとも思いました。もっと交流会が続いてほしかったなと思ってしまいました。いい経験ができて良かったです。

交流大会に参加して

漆下 あい

私は、消防の全国大会で色々な思い出ができました。まずは、午前の部と午後の部の対抗競技です。その競技は、夏休みにたくさん練習をしました。本番は、練習の時よりもタイムが遅かったので残念だったけど、最後まで頑張ることができました。その日の夜には、ダンボールハウスを作りました。そこで、他の県の人達と友達になりました。翌日には、本に住所やメッセージなどを書き合いました。この三日間で楽しい思い出がいっぱいできたし、友達もできたので良かったです。

交流大会に参加して

福田 空

交流大会で、自分はたくさんの思い出を作れました。ホテルについてわたされたＴシャツはすごくかっこよかったです。夜いろいろなクラブの紹介がありました。たくさんの人がいてすごかったです。次の日の大会では、練習どおりの走りはできなかったけれど、一生けん命がんばれました。夜、大阪の人と鹿児島の人といっしょに活動しました。その人達と仲良くすることができました。徳島の思い出を持って帰ることができました。

交流大会に参加して

椎葉 洸樹

少年消防全国大会で徳島へ行きました。人生初の飛行機でした。ホテルについてまず、全国から来た人たちとの交流会がありました。全部で４２チーム位あり、１チームずつ自己紹介がありました。二日目に競技がありました。競技は二つあって午前と午後でそれぞれ行いました。記録はあまりよくありませんでしたが、皆で協力して楽しかったので自分的にはよかったのかなぁと思いました。その後、ダンボールベッドを作りました。作るときは他のチームの男子と協力しました。仲良くなれて良かったです。

交流大会に参加して

田浦 咲弥

２日目の日に、二つの競技に出ました。他の県の人と対戦しました。相手も強かったです。ホースをつないだり、順位はあまり良くなかったけれど、皆で助け合ってできたので本当に良かったです。２日目の夜に、他の県の人とダンボールハウスを作りました。他の県の人とあまりふれ合うことはめったにないので良かったです。ダンボールハウスで、丈夫なイスの作り方を教えてもらったので、それを忘れずにしたいし、もし、被害が起こったら、お年寄りの方にイスを作ってやりたいです。今回勉強したことを、これからの生活にも生かしたいです。

52 赤江中学校消防クラブ

宮崎県宮崎市

全国の仲間達とともに、未来へと続け希望ある宮崎の宝！

赤江中学校消防クラブは、平成２９年に発足し現在、１年生４名、２年生５名、３年生８名の計17名で活動しています。年間を通して、規律訓練や救命講習体験、消防設備取扱訓練や大規模防火対象物施設見学（今年は、高層ホテルに行きました。）等を行っています。今年初めて参加した交流大会では、避難所模擬体験として、ダンボールハウスを一から組み立て、就寝するという非常に貴重な経験が出来ました。参加できなかった後輩たちにしっかり伝えていきます。

いつか来るその日のために

指導者　黒木 義隆

まず初めに、宮崎県を代表して「全国少年消防クラブ交流大会」に、創設３年目のクラブが初出場することができ、選手はもちろんのこと、私達指導者にとりましても貴重な体験をさせていただきましたことに、保護者を初め関係者に深く感謝いたします。

参加したクラブ員は、この夏の良き思い出として、そしていつか来るであろう災害時に、防災リーダーとして地域や学校のために、ここで学んだ知識や経験を生かしてほしいと思います。

全国の絆

指導者　吉村 康晴

今回初めて参加させて頂いたのですが、全国各地にこれだけの仲間がいるのだと実感ができた３日間でした。子供たちも地元消防団や少年消防クラブ員と交流して、地域防災力の必要性や、団結力、協調性といったものを学んでくれたと思います。

今後、この経験を活かして、地域のために自分にできる範囲で活躍してくれることを願っています。

これからの道

藤原 翔樹

交流大会に行くと決まった時に、「自分は本当に自分の仕事をこなせるのか？」と思いました。自分がこれまで感じたことのなかった、舞台上でクラブ紹介の発表をする時のドキドキ、他のチームの人とダンボールハウスで一緒に寝るドキドキ、交流大会のことだけでたくさんドキドキしました。

しかし、自分と前に立つ４人の仲間、共に協力して訓練をした仲間、ダンボールハウスで一緒に寝た全国の消防クラブ員としての仲間。たくさんの仲間に支えられ、たくさんの仲間とふれあいました。他の県の仲間とは会えなくなるけど、これから進む道でまた会えると信じています。今回の交流会により、自分がまた１つ前進することが出来ました。このような事がまた出来たら良いです。

仲間と味わった達成感

米丸 麻央

私の中でたくさんの思い出が出来ましたが、一番はダンボールハウス体験です。全く話をしたことのない人だったのに、一緒の班になった時からすぐに友達になれて、さらに立派なダンボールハウスができて、あの時は楽しいばかりでしたが、今こうやって考えてみると達成感を感じていました。

３日間という短い期間でしたが最高の時間を最高の仲間と過ごせて良かったです。

仲間との思い出

小嶋 涼介

今回の消防クラブの交流大会に参加して、全国の消防クラブのメンバーと話したり、リレーで訓練をしたりと、実際に役に立つことを経験させて頂きました。人と多く接することや、消防での活動はこれからの災害や南海トラフ地震にもとても役に立つと思います。

また、この消防クラブメンバーで交流大会に参加できたことは、心に残るいい思い出になりました。

これから起こるかもしれない災害に対して、今回交流大会で学んだ事や消防クラブで学んだ事を活かして、いろいろな人を守っていけるようになって行きたいです。

交流大会に参加して

黒木 陽奈

私は交流大会に参加して、チームの仲が深まったと思います。初めの頃はお互いに用がなければあまり話すことがありませんでした。皆、部活が忙しかったので週一回の限られた時間の中で練習をしていたので、短い期間でチームの団結力を高めるのは大切でした。競技の結果はあまりいいとは言えないけれど、今までで一番良かったと思います。ダンボールハウスなど、普段なかなか体験できないことを体験して楽しかったし、とてもいい経験になりました。

交流大会から学んだこと

中道 涼華

私が交流大会に参加して思ったことは、とても貴重な経験が出来たし、本当に楽しかったです。最初は緊張して楽しむどころではありませんでした。けど、指導者の方や仲間４人がいてくれたおかげで、緊張もほぐせたし、交流大会を楽しめて、一緒に多くのことが学べました。交流大会でしたことはもちろんですが、一番は「人が集まればすごく大きな力になる。」ということをものすごく実感できたと思います。全国各地の人と力を合わせてダンボールハウスを作る場面で思ったことは、チームワークの重要性です。もし災害にあって、避難をする時は、交流大会で学んだことを活かしていきたいです。

53 田皆少年消防クラブ

鹿児島県知名町

貴重な体験ができた夏の思い出

田皆少年消防クラブは平成３年５月に設立されました。毎年、小学校の運動会の時には、地元消防団と一緒に規律訓練や、ホース展長、放水訓練などの訓練展示を実施しています。また、火災予防週間中、消防団と消防車を使用して防火広報活動に参加しています。

今回、交流会に参加することができて、貴重な体験をすることができました。この経験を忘れることなく、これからの活動に活かしていきたいと思います。

全国少年消防クラブ交流大会

指導者　新納 ノエミ

交流大会でいろんなチームの子どもたちと一緒に段ボールハウスを作りました。

段ボールハウスの中で皆と一緒に遊んだりお話したりしました。とっても楽しかったです。

全国少年消防クラブ大会参加

指導者　白川 泰世

「鹿児島県代表で参加しませんか」とお話を頂いた時、私は単純に息子と旅行が出来ると嬉しく思いました。

しかし、会場に着くと、全国から集まったクラブチームの多さと、自分の消防に対しての認識の甘さに驚き、反省し、気を引き締めました。子どもたちも島を離れ、初めて経験する事も多かったですが、他のチームや引率者の方が声をかけてくださり、楽しくオリエンテーションを終わりました。

いよいよ２日目大会です。子どもたちは、緊張する事なく立派に競技が出来ました。そしてその夜は避難所体験のダンボール小屋作りです。消防署の方が丁寧に教えてくれ、子どもたちも私達もとても勉強になりました。次の日の交流会では色々な地域の災害や地方の特色がわかりました。

２泊３日の短い期間でしたが、とても内容が濃く、良い体験が出来ました。

消防クラブの大会での感想

田畑 倖

徳島県での消防クラブの大会で思ったことは、私は、今年初めて消防のことをして、最初はホースでビン倒しをするのも難しかったです。でも、みんなと協力し合いながら練習してできるようになりました。本番では、今まで練習したことをもっと活かせることができたら、もっと上手にできたと思います。結果は負けてしまったけれど、楽しくできたので嬉しかったです。５年に１度くらいで出場しているので、今度出る人にも頑張ってほしいと思います。

大会での感想

白川 和磨

７月３１日から、８月２日まで消防クラブの全国大会がありました。僕たちは、鹿児島県の代表で沖永良部島から来ました。最初の日は、オリエンテーションがあり、広い会場ですごい人数でのクラブ紹介は、とても緊張しました。その後、阿波踊りはとても凄かったです。大会では、みんなで力を合わせてできました。夜のダンボールハウスは、いろんなことが勉強になりました。全国の友達のお話ができてとても楽しかったです。

今、日本でいろいろな災害がありますが、僕はこの経験したことを、将来活かせたら良いと思いました。

大会に出て思ったこと

新納 綾奈

私は、７月末から、鹿児島県代表として、この大会に出た。私は、アスティ徳島のように大きなホールは生まれて初めてだったので、とても緊張した。緊張したせいか、あまり良い結果は出なかった。大会の中で１番思い出に残ったのは、段ボールハウス作りだ。そこではいろいろな都道府県の友達ができ、みんなと協力しあった。

この大会に出たおかげで、いろいろな体験ができた。災害時に役立つ段ボールハウスや、口内ケアの方法などを活かして、災害が起きたときに実践していきたいと思う。

全国少年消防クラブ交流大会

根釜 美聖

徳島県での消防クラブの大会で思ったことは、私は、今年初めて消防のことをして、最初はホースでビン倒しをするのも難しかったです。でも、みんなと協力し合いながら練習してできるようになりました。本番では、今まで練習したことをもっと活かせることができたら、もっと上手にできたと思います。結果は負けてしまったけれど、楽しくできたので嬉しかったです。５年に１度くらいで出場しているので、今度出る人にも頑張ってほしいと思います。

全国少年消防クラブ交流大会で学んだこと

春日 梓杏

７月３１日から８月２日まで徳島県で行われた全国少年消防クラブ交流大会に鹿児島県代表として参加しました。

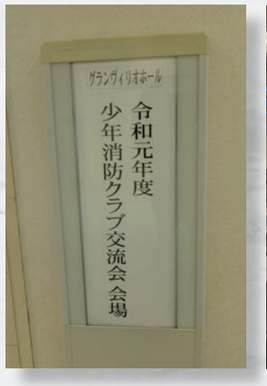
合同訓練では、緊張して練習の成果を十分に出せなかったので、どんな時でも落ち着いて対応できるようにしたいと思った。

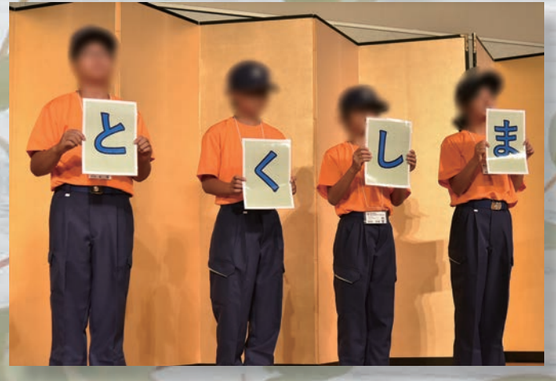
ダンボールハウス作りでは、他のクラブと合同で交流を深めることができました。実際に寝てみると、想像より寝心地は良かったが、明るさ調整や自分のスペースの確保など、大勢の人が避難する場所では、難しいと思った。

万が一の災害に備えて、防災グッズを揃えたり、地域の人に声かけをしたり、避難所では手助けができるように、子ども消防団員として出来ることを頑張りたいと思います。

写真集

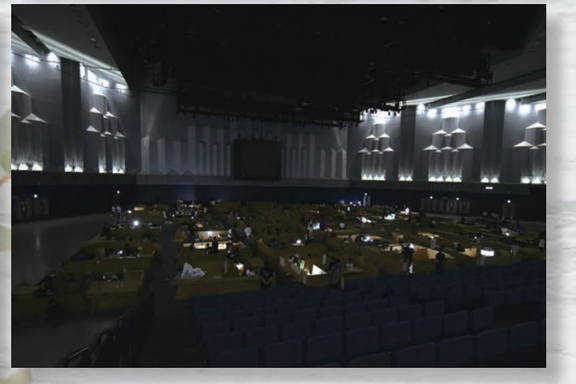
1日目





2日目

2 日目



3 日目

令和元年度
全国少年消防クラブ交流大会の記録

■令和元年 12 月発行

■ 編集・発行：消防庁国民保護・防災部地域防災室
TEL：03-5253-7561 FAX：03-5253-7576